

令和3年度 なら健康長寿基礎調査
報 告 書

令和4年3月
奈 良 県

－ 目 次 －

I	調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の実施要領	1
3	調査票の配付・回収の状況	1
4	集計方法、数値の取り扱いについて	1
II	調査結果の要約	2
1	心身の状態	2
2	生活習慣について	2
3	医療や健診（検診）の受診状況	3
4	歯と口腔の健康	4
5	地域との関わりについて（社会資本・ソーシャルキャピタル）	4
6	新型コロナウイルス感染症流行の影響について	5
III	調査の結果	6
1	回答者の基本属性	6
2	心身の状態	8
3	生活習慣について	16
4	医療や健診（検診）の受診状況	30
5	歯と口腔の健康	43
6	地域との関わりについて（社会資本・ソーシャルキャピタル）	49
7	新型コロナウイルス感染症流行の影響について	56
IV	調査票	62
	(参考)市町村ごとの調査票の配付数及び有効回答数	67

I 調査の実施概要

1 調査の目的

本調査は、県民の健康づくりに関する意識や実態を把握し、県の健康推進施策に反映させるための基礎資料とすることを目的とする。平成22年度から毎年実施され、今年で12回目である。

2 調査の実施要領

- 調査地域：県内全市町村
- 調査対象：令和3年7月1日現在で県内在住の20歳以上の方から無作為抽出した13,200人
標本抽出は、県内39市町村ごとの人口及び年齢構成に応じて設定したが、調査実施必要数に満たない町村は、人口配分より多く抽出している。
- 調査方法：郵送配付・郵送回収。無記名方式。調査期間中に礼状兼催促状を1回送付
- 調査期間：令和3年10月15日～令和3年10月29日
- 調査項目：
 - ・健康的な生活習慣の実施状況
 - ・医療と健診の受診状況
 - ・地域との関わりや地域活動の実践状況
 - ・回答者の属性
 - ・新型コロナウイルス感染症流行の影響

3 調査票の配付・回収の状況

配付件数	回収数・率	有効回答数・率	(参考)	
			過去10回の有効回答率	
13,200件	6,669件・50.5%	6,666件・50.5%	平成23年度：48.4%	平成28年度：51.6%
			平成24年度：56.7%	平成29年度：47.0%
			平成25年度：54.5%	平成30年度：50.8%
			平成26年度：50.8%	令和元年度：52.5%
			平成27年度：55.5%	令和2年度：59.3%

※「回収率」及び「有効回答率」は「配付件数」に対する割合。「有効回答数」は「回収数」から白票など無効票を除外した数。

4 集計方法、数値の取り扱いについて

- 人口比例配分で調査対象数が県平均より多く設定されている町村について、分析に用いるデータ数を調整し、一部除外して集計している（6,666件→5,714件）。
- 集計は百分率（％）によるもので、集計結果は小数第2位を四捨五入して小数第1位までを表記している。
- 単数回答の選択肢の構成比の合計は、端数処理の関係で100.0%にならない場合がある。
- 複数回答の選択肢の構成比の合計は100.0%を超える場合がある。
- 過去の調査結果（平成12年度「健康・生活習慣調査」、平成16年度「県民健康生活調査」、平成22～令和2年度「なら健康長寿基礎調査」）及び「なら健康長寿基本計画（平成25年7月策定-平成30年3月見直し）」の重点健康指標や健康指標との比較は、文中及び図表中にその旨を表記している。
- 図表中の「全体」の値には、性別や年齢の無回答も含む。
- 各設問の回答形式は、設問文の末尾に単一回答を(SA)、複数回答を(MA)、実数を(J)として表記している。

Ⅱ 調査結果の要約

1 心身の状態

■「肥満」と「やせ」の状況 (P. 8)

- 肥満 (BMI 25以上) の割合は、男性の30～64歳代で3割台と高い。
- やせ (BMI 18.5未満) の割合は、女性の20歳代が19.1%と最も高い。

■平日の平均睡眠時間 (P. 9)

- 平日の平均睡眠時間は、男女ともに「6時間以上7時間未満」の割合が最も高い。

■過去1か月間のストレスの状況 (P. 10～P. 14)

- 過去1か月間にストレスを感じたことが「よくある」人の割合は、男性で27.3%、女性で38.4%。女性の20～40歳代で5割強、男性の30～40歳代及び女性の50歳代で4割台と高い。なお、昨年度の調査に比べて、男性は2.7ポイント、女性は4.9ポイント増加している。
- ストレスの内容は、男性の20～64歳では「仕事の問題」、65歳以上では「健康面の問題」の割合が最も高い。また、女性の20歳代では「仕事の問題」、30～69歳では「家族の問題」、70歳以上では「健康面の問題」の割合が最も高い。なお、職業別でみると、男女ともに「会社員」「公務員」では「仕事の問題」の割合が最も高い。
- ストレスがあったときの対処法が「ある」人の割合は、男性が65.7%、女性が70.0%で、女性が男性に比べて高い。

■職場でのメンタルヘルスに関する支援の状況 (P. 15)

- 職場で専門家によるストレス等の相談を「受けられる」人の割合は、男性が41.6%、女性が30.8%で、男性が女性に比べて高い。

2 生活習慣について

■食生活習慣等 (P. 16～P. 18)

- 健康づくりのために取り組んでいることが「ある」人の割合は、男性が38.4%、女性が39.6%。男性の65歳以上、女性の50～79歳で4割台と高い。
- 主食・主菜・副菜を3つそろえて1日に2回以上食べる頻度が「ほぼ毎日」の人の割合は、男性が41.3%、女性が43.1%。女性の75～79歳で56.7%と高い。
- 時間をかけてよく噛んで(ひと口20～30回)「食べている」人の割合は、男性が22.3%、女性が22.6%。また、「肥満」の人は「やせ」「普通」の人と比べ、時間をかけてよく噛んで「食べている」人の割合が低い。

■外出、運動習慣 (P. 19～P. 21)

- 1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上している人の割合は、男性が48.7%、女性が47.2%。男女とも70歳代で6割以上と高い。女性は、昨年度の調査に比べて、2.7ポイント増加している。
- 1日30分以上歩いている人の割合は、男性が65.1%、女性が57.6%。いずれの年代でも男性の方が高い。昨年度の調査に比べて、男女とも2～3ポイント増加している。

■飲酒・喫煙の状況 (P. 22～P. 26)

- アルコール類を「毎日飲酒している」人の割合は、男性が24.5%、女性が6.1%。いずれの年代でも男性が女性に比べて高く、男性65～74歳では3割強となっている。
- 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合は、男性が13.0%、女性が7.8%。いずれの年代でも男性が女性に比べて高く、男性の50歳代で18.6%と最も高い。
- 飲酒量を減らさなければと感じたことが「ある」人の割合は、男性が34.1%、女性が19.7%。80歳以上を除いた年代で男性が女性に比べて高く、男性の40歳代で42.9%と最も高い。
- 家族や友人、医師が、あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことが「ある」人の割合は、男性が26.5%、女性が6.9%。いずれの年代でも男性が女性に比べて高く、男性の40歳代で33.5%と最も高い。
- たばこを「現在吸っている」人の割合は、男性が20.1%、女性が4.8%。たばこを「現在吸っている」人のうち、たばこを「やめたい」人の割合は、男性が44.1%、女性が64.1%。

■受動喫煙の状況、喫煙による影響の理解 (P. 27～P. 29)

- 受動喫煙を経験した人の割合は、全体では「路上」の割合が最も高く、次いで、「職場」「飲食店」「遊技場」「公共交通機関」「家庭」「行政機関」「医療機関」「学校」の順で高い。
- 慢性閉塞性疾患 (COPD) の認知について、男女ともに「知らない」の割合が最も高く、男性では53.1%、女性では44.6%を占めている。また、「内容を知っている」は男女ともに1割台、「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」は男女ともに3割前後となっている。

3 医療や健診（検診）の受診状況

■健康状態 (P. 30～P. 32)

- 現在の健康状態について、男女ともに「ふつう」が最も高く、男性が46.1%、女性が46.6%。「よい」または「まあよい」と回答した人の割合は、男性が34.4%、女性が35.5%。
- 健康上の問題による日常生活への影響が「ある」人の割合は、男性が17.7%、女性が17.5%。男女ともに年代が上がるにつれ、「ある」の割合が高くなる傾向。

■医療機関への受診状況 (P. 33～P. 36)

- 現在「医科」を受診している人の割合は、男性が56.2%、女性が53.8%。現在「歯科」を受診している人の割合は、男性が18.9%、女性が20.8%。
- 過去1年間に内科的な健康診断を受診した人の割合は、男性が76.8%、女性が73.2%。昨年度の調査に比べて、男性は横ばいだが、女性は3.5ポイント増加している。また、職業別にみると、年代に関係なく「会社員、公務員」の割合が最も高い。

■がん検診の受診状況 (P. 37～P. 42)

- 過去1年間にがん検診を受診した人の割合は、男性が43.7%、女性が46.7%。20～50歳代では女性が高く、60～79歳では男女差があまりなく、80歳以上では男性が高い。昨年度の調査に比べて、男女とも3ポイント程度増加している。
- 性別と種類別でみたがん検診の受診率は、過去1年間では、男性は「胃がん」、女性は「大腸がん」の受診率が最も高く、過去1年間の「胃がん」「肺がん」「大腸がん」の受診率はいずれも男性が女性に比べて高い。また、昨年度の調査に比べて、過去1年間の受診率は、いずれも増加している。
- 年代と職業からみたがん検診の受診率は、いずれの年代でも「会社員、公務員」の割合が最も高い。

- 受診したがん検診の実施主体は、男性では「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」の割合が50.3%で最も高く、女性では「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」の割合が36.7%、「市町村の検診」の割合が32.3%となっている。また、職業別にみると、「会社員」や「公務員」、「パート、アルバイト」では「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」が最も高く、「自営業」、「農林水産業」、「無職」及び「学生」では「市町村の検診」が最も高い。
- がん検診を受診しなかった理由は、男性は「健康なので必要ないと思うから」「病気で医師にかかっているから」「面倒だから」の割合が高く、女性は「時間的な余裕がないから」「健康なので必要ないと思うから」「病気で医師にかかっているから」の割合が高い。

4 歯と口腔の健康

■歯と口腔の状態（P. 43～P. 45）

- 「6024達成者」の割合は、県全体が80.3%、男性が75.6%、女性が83.8%を占めている。男性はこれまでの調査のうち最も高く、女性は昨年度調査に比べてわずかに減少した。
- 「8020達成者」の割合は、県全体が49.6%、男性が52.6%、女性が47.3%を占めている。男性はこれまでの調査のうち最も高く、初めて5割を超えたが、女性は昨年度調査に比べて減少した。
- 歯ぐきの腫れがある人の割合は、男性が11.5%、女性が10.7%。歯をみがいたときに出血がある人の割合は、男性が21.5%、女性が16.6%。

■歯と口腔の健康づくり（P. 46～P. 48）

- 1日に3回以上歯みがきする人の割合は、男性が17.9%、女性が33.5%で、いずれの年代も女性が男性に比べて高い。
- 定期的に歯科検診を受診している人の割合は、男性が44.0%、女性が54.0%。いずれの年代でも女性が男性に比べて高い。昨年度の調査に比べて、男女ともに増加している
- 何でも噛んで食べることができる人の割合は、男性が72.9%、女性が75.7%。女性の80歳以上で5割台と低くなっている。

5 地域との関わりについて（社会資本・ソーシャルキャピタル）

■社会参加の状況（P. 49～P. 54）

- 地域や組織での活動に「参加している」人の割合は、男性が43.4%、女性が40.0%。男女とも、60～70歳代で参加率が高くなっている。県全体の割合は、平成25年度以降で最も低い。
- 参加している組織や会の活動内容は、男女ともに「町内会」が最も高く、男性が68.8%、女性が55.9%。
- 会や組織での活動に健康づくりを目的としたものが含まれている割合は、男性が14.3%、女性が15.6%で、女性が男性に比べてやや高い。県全体の割合は、調査開始以降、最も低い。
- 会や組織での活動への参加姿勢は、「非常に自主的」と「やや自主的」を合計した割合は、男性が46.9%、女性が51.7%で、女性が男性に比べて高い。

■つきあい・交流、信頼の状況（P. 55）

- 近所で信頼して相談できる人が「いる」人の割合は、男性が37.1%、女性が48.8%。いずれの年代でも女性が男性に比べて高い。

6 新型コロナ感染症流行の影響について

■感染拡大前後の変化 (P. 56~P. 61)

- 感染拡大前は、男女とも5項目全て「8点」の割合が最も高く、感染影響下は「体調の満足度」を除く4項目（「仕事の満足度」「社会とのつながりの満足度」「生活の楽しさ・おもしろさの満足度」「生活全体の満足度」）で「5点」の割合が最も高い。
- 男女とも感染拡大前より感染影響下の方が平均点が低い。
- 男女とも「コロナ以外の要因あり」の方が「コロナ以外の要因なし」と比較して平均点の低下が大きい。
- 全数の平均点の低下幅は、男女とも大きい順に「生活の楽しさ・おもしろさの満足度」（男性：1.96ポイント（以下「▲」で表記）、女性：▲2.45）、「社会とのつながりの満足度」（男性：▲1.82、女性：▲2.17）、「生活全体の満足度」（男性：▲1.61、女性：▲1.95）、「仕事の満足度」（男性：▲1.31、女性：▲1.29）、「体調の満足度」（男性：▲0.93、女性：▲1.13）となっており、この順序はコロナ以外の要因の有無にかかわらず同様。

Ⅲ 調査の結果

1 回答者の基本属性

(1) 回答者の性・年代

- 有効回答5,714件のうち、男性が2,484人（43.5%）、女性が3,215人（56.3%）となっている。【図表1-1】
- 年代別の回答者構成比は、県人口構成比に比べると、20～40歳代および75歳以上の回答率は実際の県人口構成比より低く、50～74歳の回答率は実際の県人口構成比より高い。【図表1-1】

【図表1-1】 回答者の性・年代

問27. あなたの性別についてお答えください。(SA)

問28. あなたは、令和3年7月1日現在の時点でいくつですか。(J)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	無回答	合計	
											人数	構成比
男性(人)	160	212	328	425	271	344	455	183	102	4	2,484	43.5%
女性(人)	225	319	514	654	314	363	487	217	116	6	3,215	56.3%
無回答(人)	0	0	2	1	4	2	0	4	2	0	15	0.3%
合計(人)	385	531	844	1080	589	709	942	404	220	10	5,714	100.0%
回答者構成比	6.7%	9.3%	14.8%	18.9%	10.3%	12.4%	16.5%	7.1%	3.9%	0.2%	100.0%	
(参考) 県人口構成比	10.9%	11.5%	16.4%	15.8%	7.3%	8.4%	9.9%	7.9%	11.8%		100.0%	

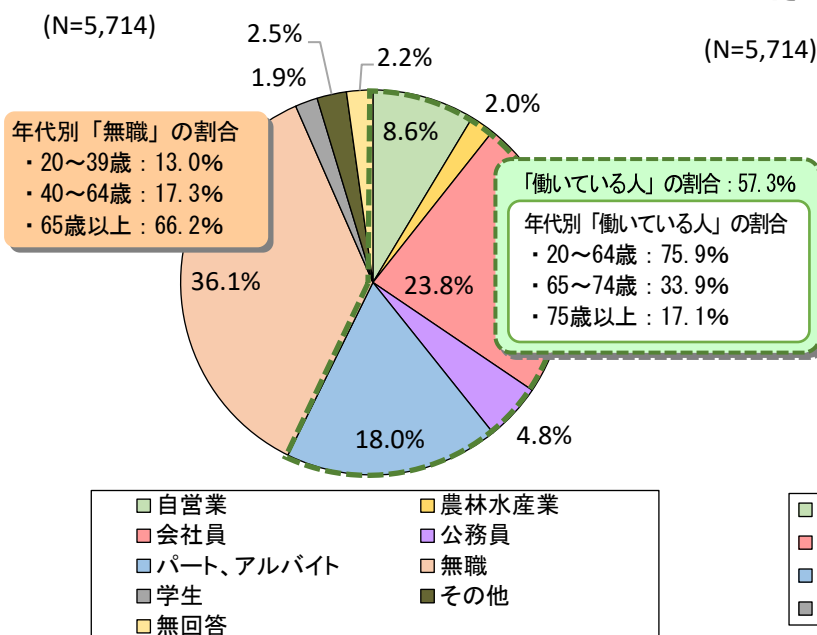
※「(参考) 県人口構成比」は20歳以上県人口の年代別構成比。県人口は「年齢階級市町村別人口」(令和2年10月1日現在)による。県人口：1,322,970人／20歳以上：1,093,087人・20歳以上男性：505,049人（46.2%）・20歳以上女性：588,038人（53.8%）

(2) 回答者の職業、加入医療保険

- 回答者の職業は、「自営業」「農林水産業」「会社員」「公務員」「パート、アルバイト」を合計した「働いている人」の割合は57.3%を占めている。さらに、20～64歳では75.9%、65～74歳では33.9%を占めている。一方、65歳以上では約6割半の人が「無職」となっている。【図表1-2】
- 回答者の加入医療保険は、「国民健康保険」が34.3%と最も多く、「会社の健康保険組合」が26.5%、「協会けんぽ」が18.1%、「後期高齢者医療制度」が11.5%、「共済組合」が7.5%と続いている。【図表1-3】

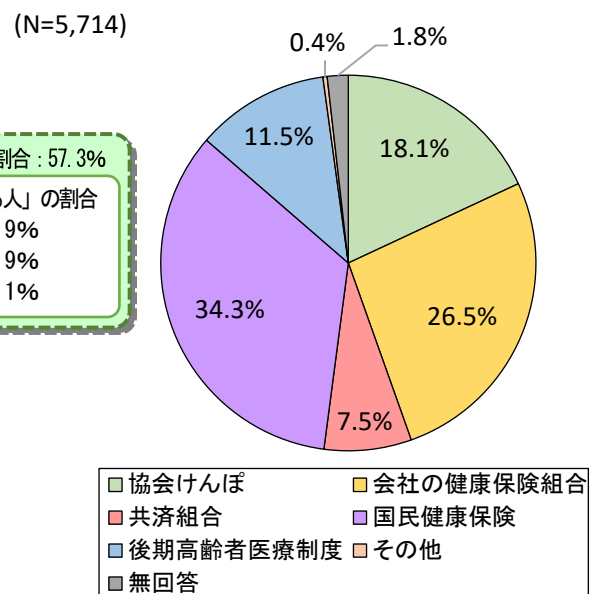
【図表1-2】 回答者の職業

問31. あなたの職業をお答えください。(SA)



【図表1-3】 回答者の加入医療保険

問32. 現在、あなたが加入されている医療保険をお答えください。(保険証で確認してください。)(SA)

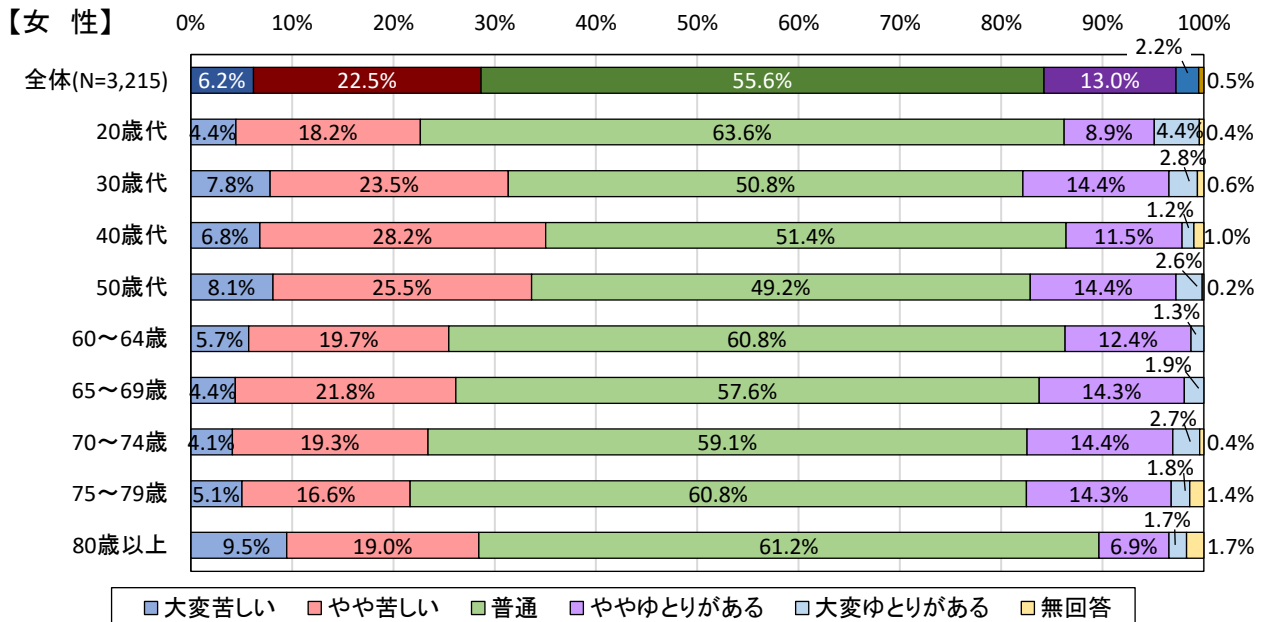
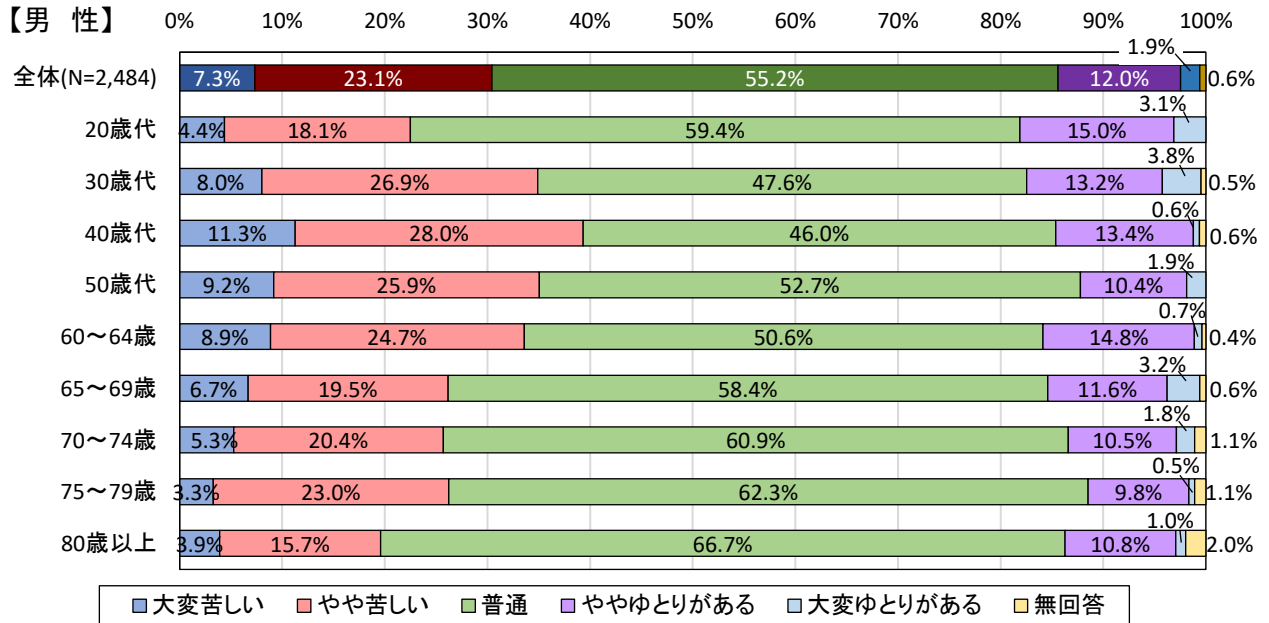


(3) 回答者の現在の暮らしの状況

○ 回答者の現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合計した割合は、男女とも40歳代が最も高く、男性で39.3%、女性で35.0%となっている。男性は30歳代、50歳代でも約35%となっている。
【図表1-4】

【図表1-4】 回答者の現在の暮らしの状況

問34. あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(SA)



2 心身の状態

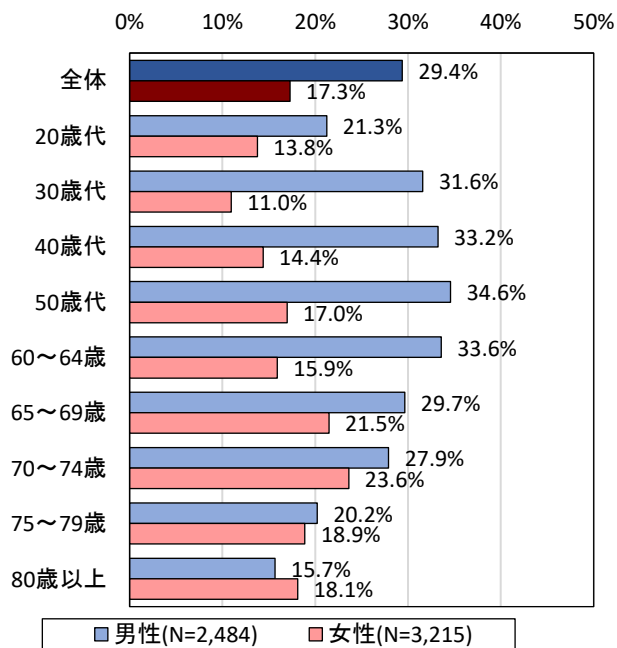
(1) 「肥満」と「やせ」の状況

- 肥満の人の割合は、男性が29.4%、女性が17.3%で、男性が高い。男性の50歳代が34.6%と最も高く、男性の30～64歳はいずれも3割を超えている。【図表2-1】
- やせの人の割合は、男性が4.2%、女性が12.4%で、女性が高い。女性の20歳代が19.1%と最も高い。なお、男性はこれまでの調査の中で最も低い。【図表2-2】

※肥満度 (BMI) は、「体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)」で算出した値で、18.5未満が「やせ」、18.5以上25未満が「普通」、25以上が「肥満」とされている。

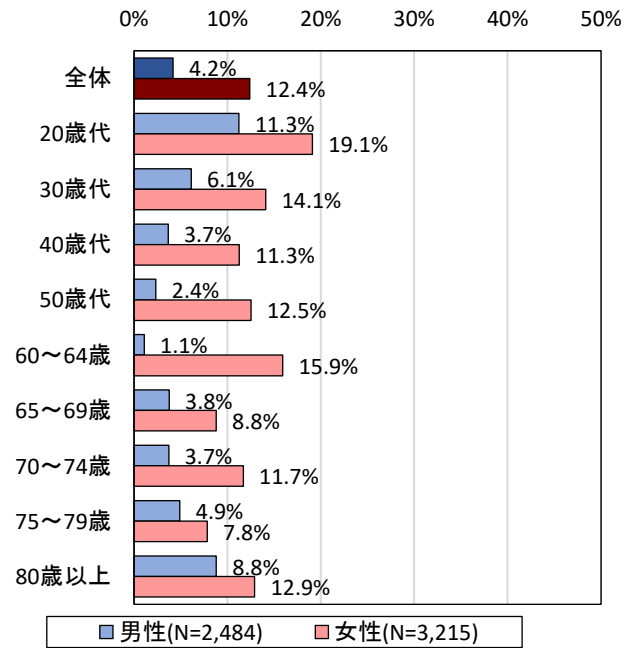
【図表 2-1】 肥満 (BMI 25 以上) の人の割合

問33. あなたの身長と体重をお答えください。
(小数点以下は四捨五入してください。)(J)

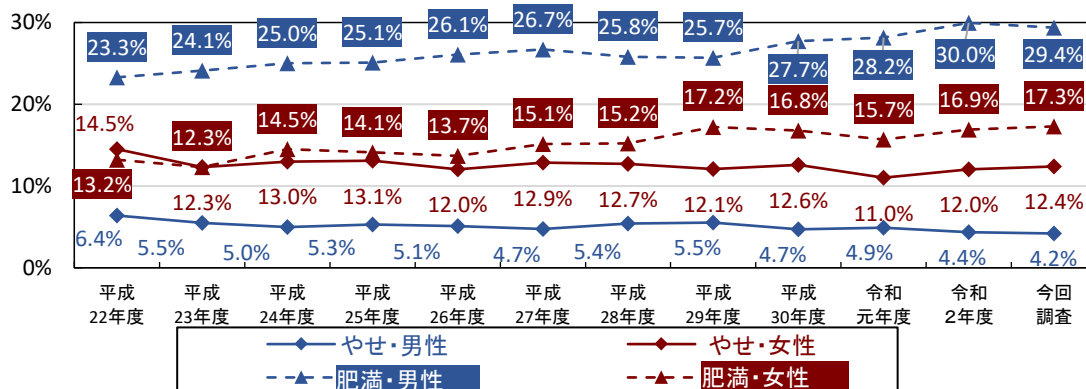


【図表 2-2】 やせ (BMI 18.5 未満) の人の割合

問33. あなたの身長と体重をお答えください。
(小数点以下は四捨五入してください。)(J)



《過去の調査との比較》



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

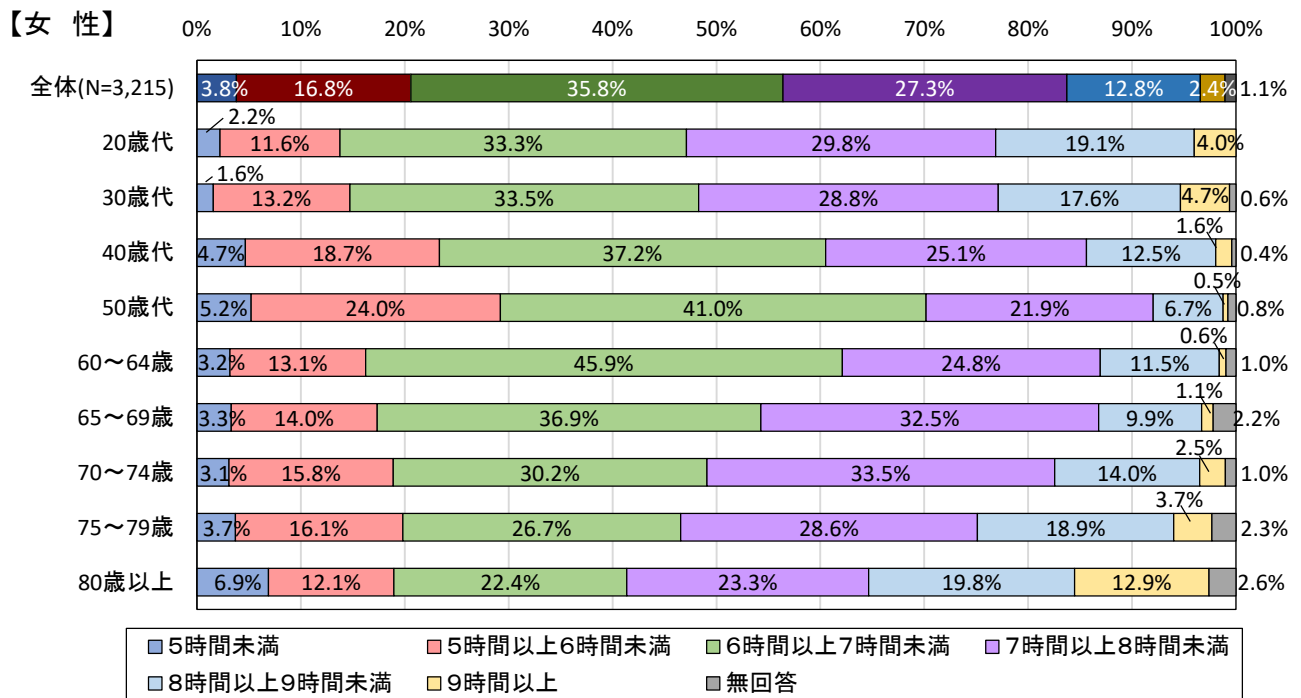
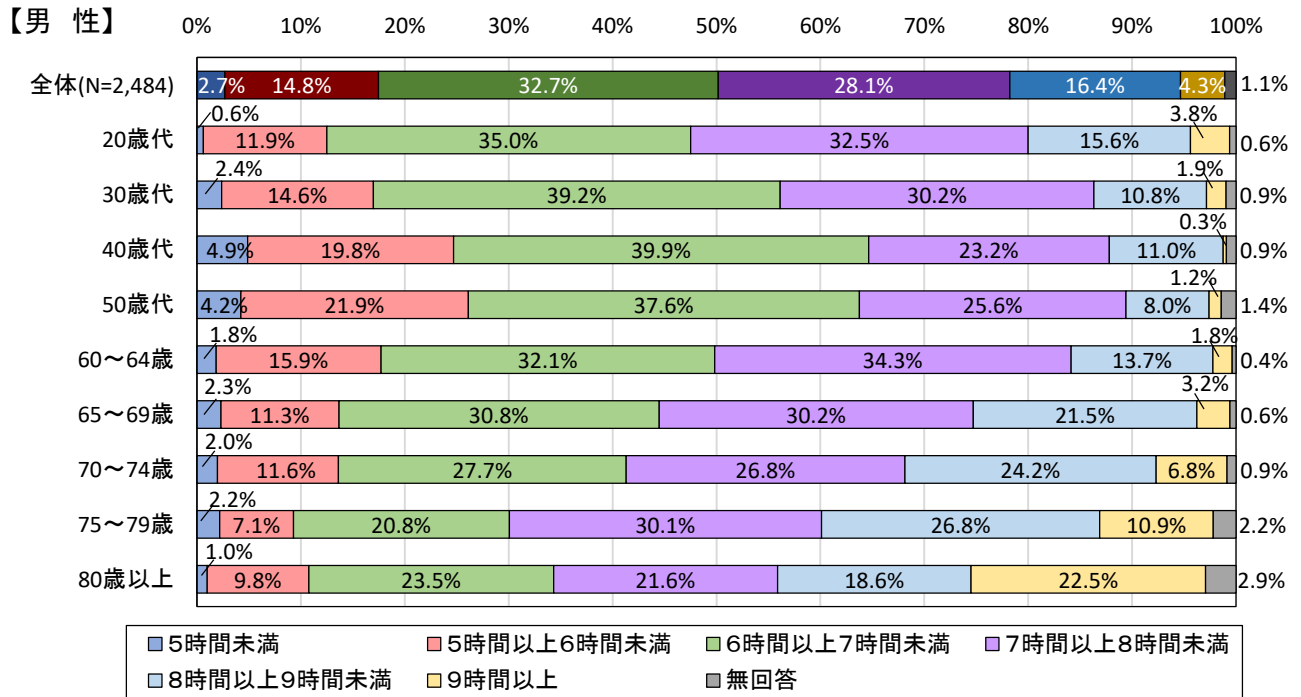
- 肥満者の割合…20～60歳代男性：31.6%〈目標値：26.0%〉
40～60歳代女性：17.0%〈目標値：14.0%〉
- 20歳代女性のやせの割合…19.1%〈目標値：20.0%〉
- 低栄養傾向 (BMI 20以下) の高齢者 (65歳以上) の割合…18.5%〈目標値：22.0%(現状維持)〉

(2) 平日の平均睡眠時間

○ 平日の平均睡眠時間は、男女ともに「6時間以上7時間未満」の割合が3割台で最も高い。男性では20歳代と65歳以上、女性では20～30歳代と75歳以上で、「7時間以上」が過半数を占めており、特に男性75歳以上では6割を超えている。【図表2-3】

【図表2-3】 平日の平均睡眠時間

問14. あなたの平日の睡眠時間は、平均何時間くらいですか。(J)



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

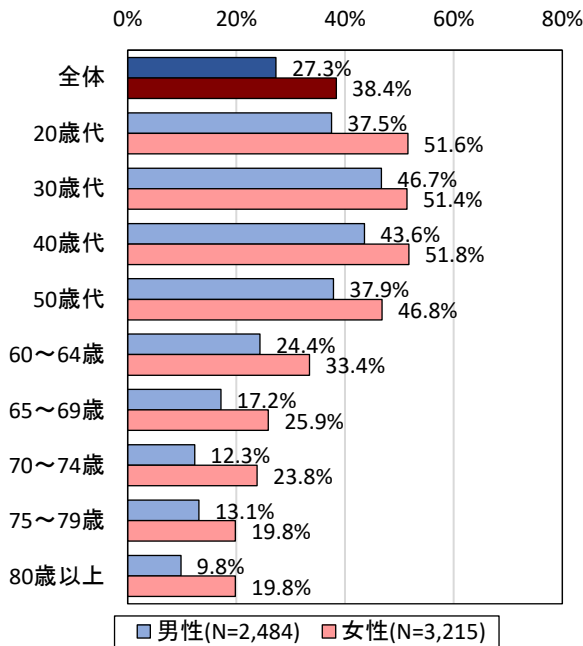
● 7時間睡眠の人の割合…20～59歳全体：39.1%〈目標値：38.4%〉

(3) 過去1か月間のストレスの状況

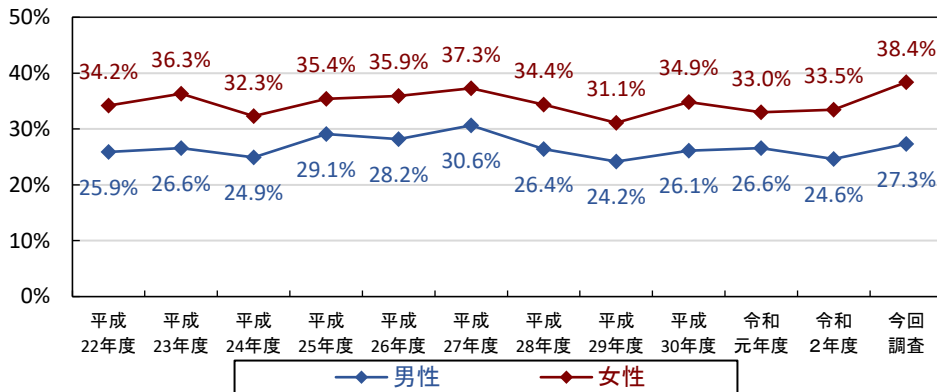
○ 過去1か月間にストレスを感じたことが「よくある」人の割合は、男性が27.3%、女性が38.4%で、女性が高い。また、女性は20～40歳代で5割強と高く、男性30～40歳代、女性50歳代でも4割台と高い。いずれの年代でも、女性が男性より高いが、特に65歳以上で差が大きい。なお、昨年度の調査と比べると、女性は4.9ポイント、男性は2.7ポイント増加している。【図表2-4】

【図表2-4】 過去1か月間にストレスを感じたことが「よくある」人の割合

問15-①. 過去1ヶ月間にストレスを感じたことがありますか。(SA)



《過去の調査との比較》

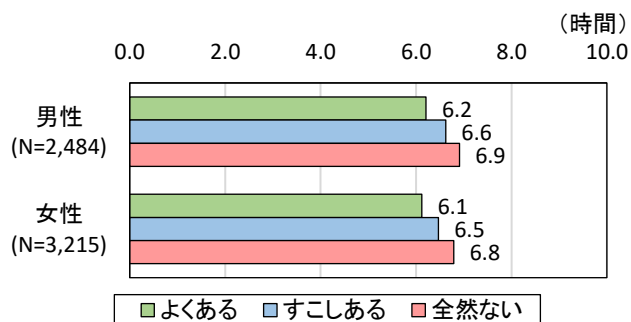


○ ストレスを感じたことが「よくある」人は、そうでない人に比べて男女ともに平均睡眠時間が短い。
【図表2-5】

【図表2-5】 ストレスの程度からみた平均睡眠時間

問15-①. 過去1ヶ月間にストレスを感じたことがありますか。(SA)

問14. あなたの平日の睡眠時間は、平均何時間くらいですか。(J)



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

● ストレスを感じたことがある人※の割合…男性：82.2%〈目標値：67.1%〉

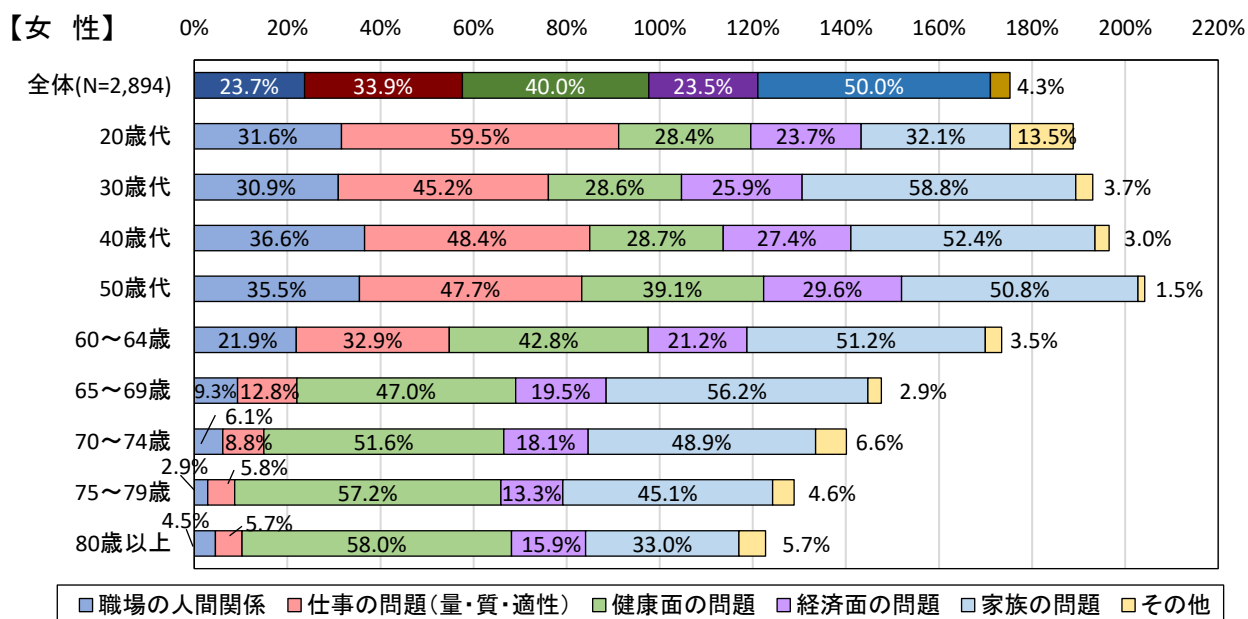
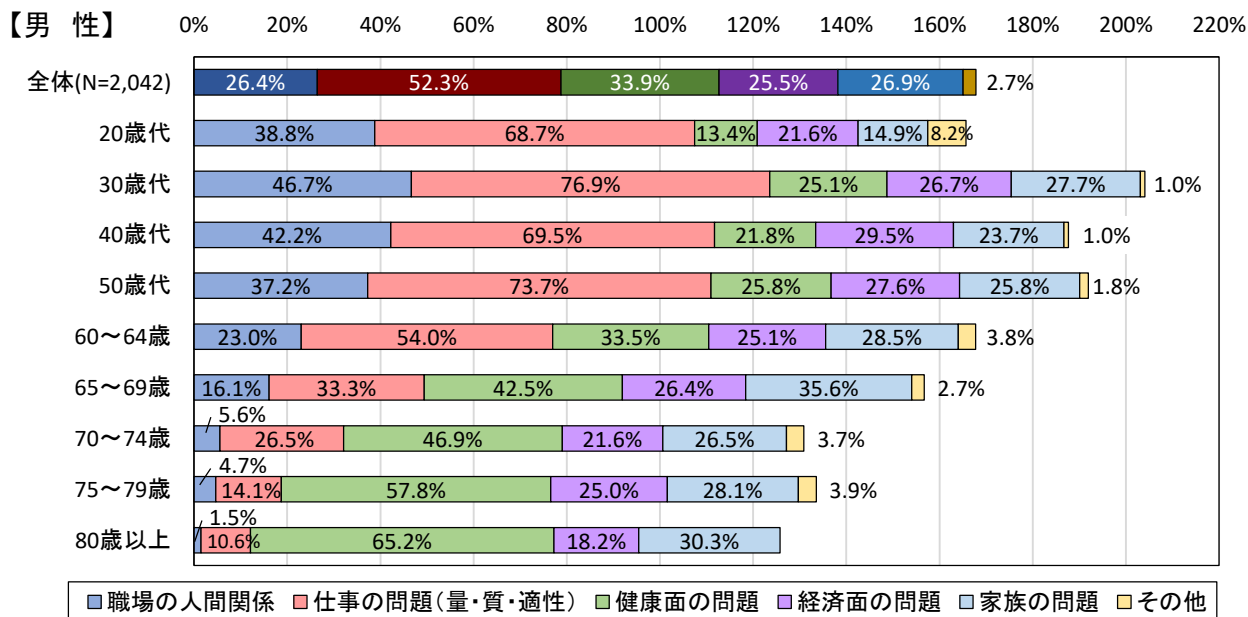
女性：90.0%〈目標値：74.6%〉

※過去1か月間にストレスを感じたことが「よくある」と「すこしある」の合計

- 過去1か月間に感じたストレスの内容は、男性では「仕事の問題」の割合が52.3%と最も高く、女性では「家族の問題」の割合が50.0%と最も高い。【図表2-6】
- 男性の20～64歳では「仕事の問題」の割合が最も高く、特に30歳代と50歳代では7割台と高い。65歳以上では「健康面の問題」の割合が最も高い。【図表2-6】
- 女性の20歳代では「仕事の問題」の割合が最も高く、30～69歳では「家族の問題」の割合が最も高い。70歳以上では「健康面の問題」の割合が最も高い。【図表2-6】

【図表2-6】 過去1か月間にストレスを感じたことがある人が感じたストレスの内容（複数回答）

問15-①-1. ストレスを感じる内容はどれですか。(MA)



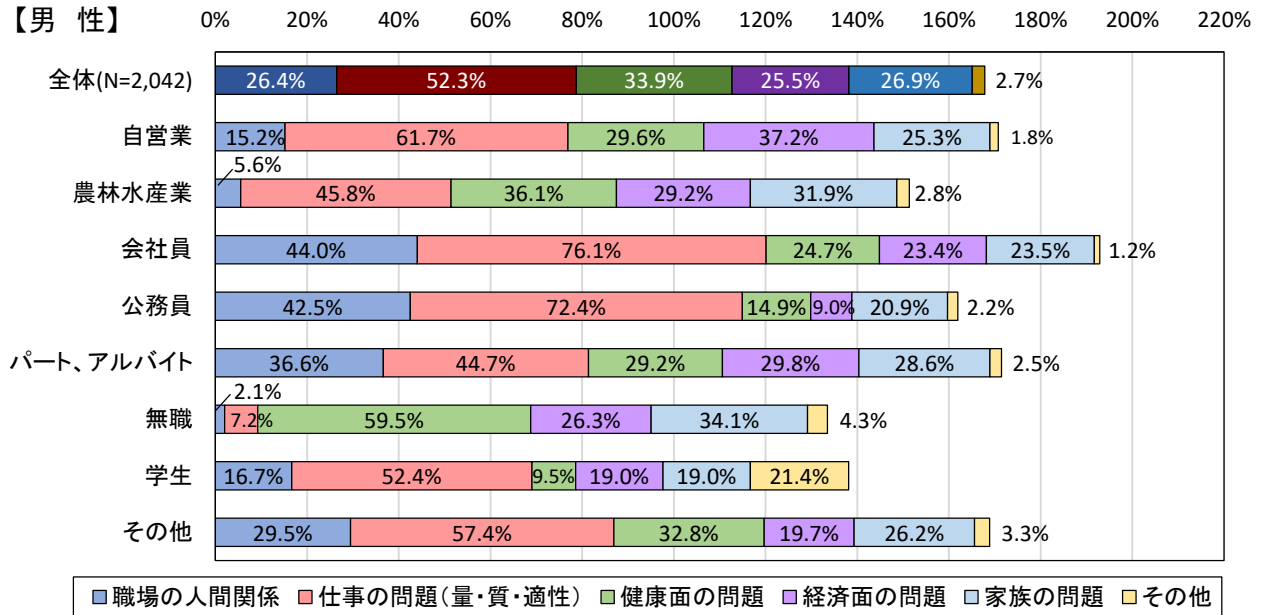
- 職業からみた過去1か月間に感じたストレスの内容は、「会社員」「公務員」では、男女ともに「仕事の問題」の割合が最も高い。【図表2-7】
- 男性では「無職」以外では「仕事の問題」の割合が最も高く、「無職」では「健康面の問題」の割合が最も高い。【図表2-7】
- 女性では「自営業」「農林水産業」「パート、アルバイト」および「無職」では、「家族の問題」の割合が最も高い。【図表2-7】

【図表2-7】 職業からみた過去1か月間にストレスを感じたことがある人が感じたストレスの内容（複数回答）

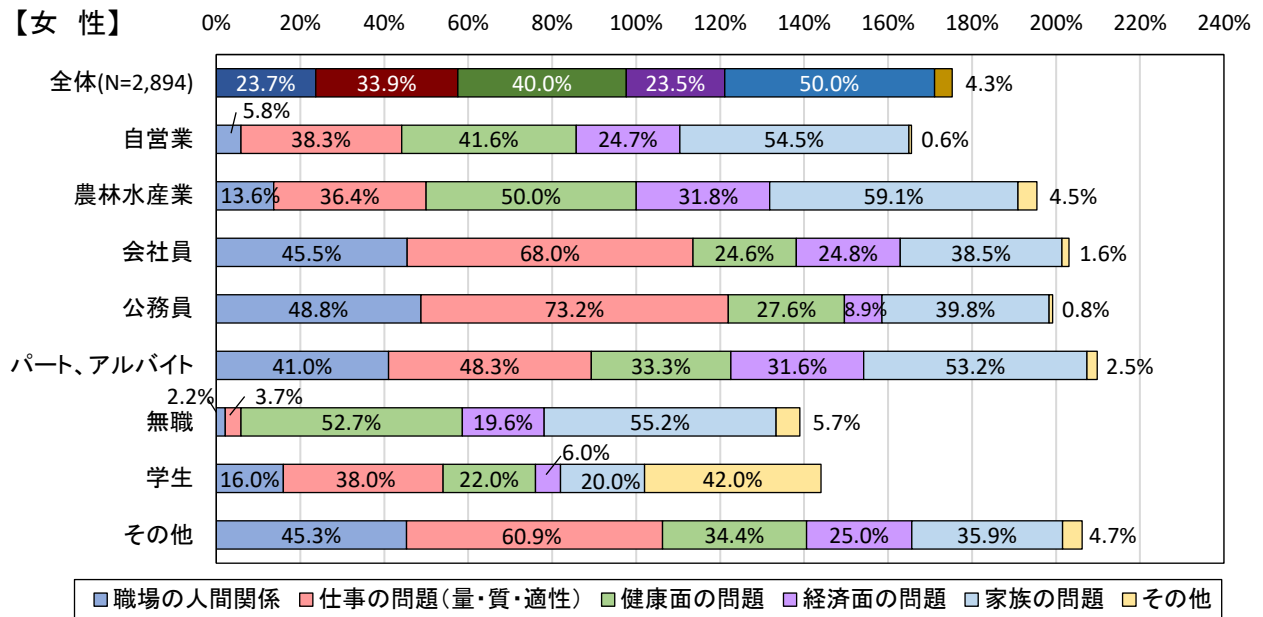
問15-①-1. ストレスを感じる内容はどれですか。(MA)

問31. あなたの職業をお答えください。(SA)

【男性】



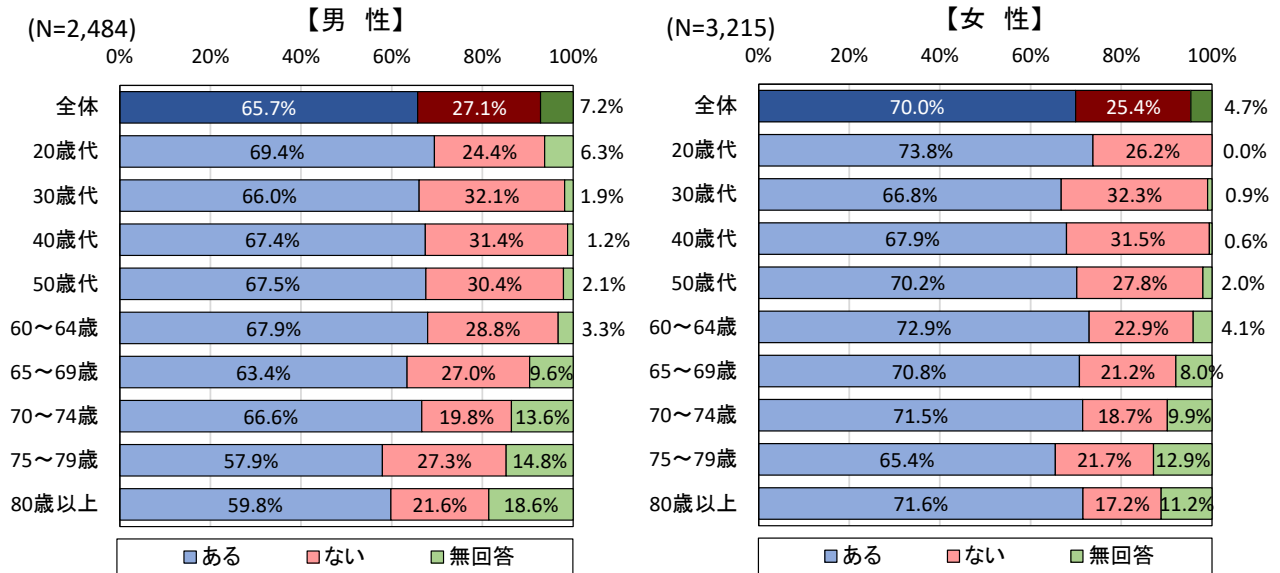
【女性】



○ ストレスがあったときの対処法が「ある」人の割合は、男性が65.7%、女性が70.0%で、女性が高い。女性では、20歳代が73.8%と最も高く、50～74歳及び80歳以上ではいずれも7割を超えている。男性では、20歳代が69.4%と最も高く、75歳以上で6割未満と低い。【図表2-8】

【図表2-8】 ストレスがあったときの対処法が「ある」人の割合（複数回答）

問15-②. ストレスがあったときの対処法は次のうちどれですか。(MA)



※ストレスがあったときの対処法で「特にない」「我慢して耐える」を回答した人以外の割合

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

- 自分なりのストレス対処法をもっている人※の割合…男性：65.7%〈目標値：85.0%〉
女性：70.0%〈目標値：87.2%〉

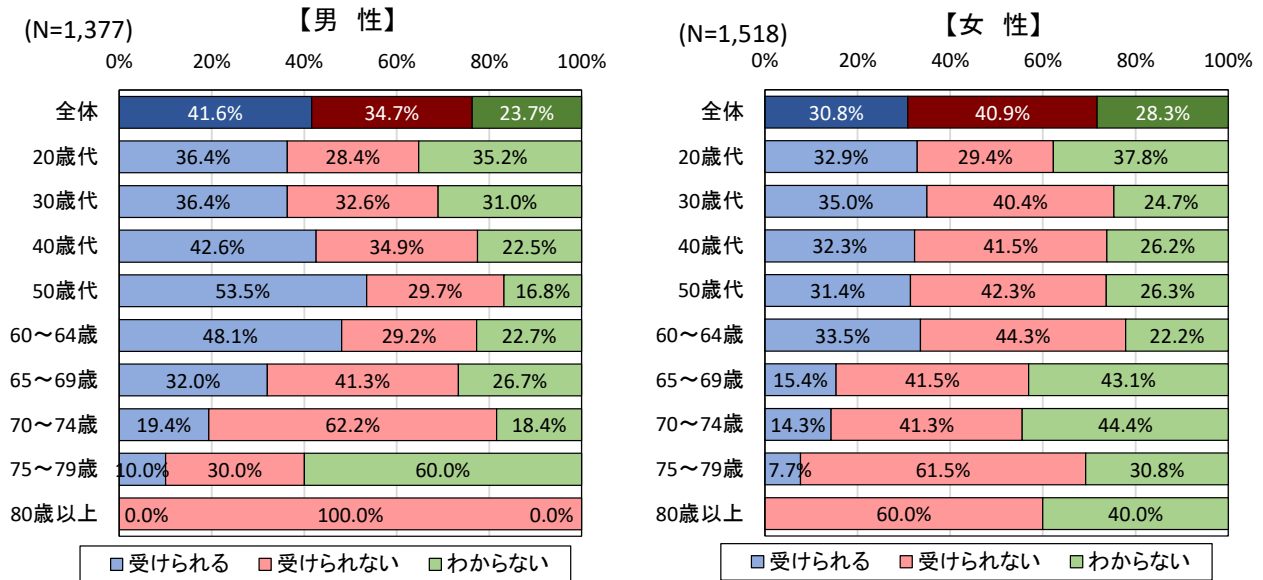
※ストレスがあったときの対処法で「特にない」「我慢して耐える」を回答した人以外の割合

(4) 職場でのメンタルヘルスに関する支援の状況

- 職場で専門家によるストレス等の相談を「受けられる」人の割合は、男性が41.6%、女性が30.8%で、男性が高い。また、男性では50歳代で53.5%と最も高く、40歳代及び60～64歳も4割台と高い。【図表2-9】
- 職業からみた職場で専門家によるストレス等の相談を「受けられる」人の割合は、「公務員」の割合が71.7%で最も高く、次いで「会社員」の割合が44.8%となっている。【図表2-10】

【図表2-9】 職場で専門家によるストレス等の相談を「受けられる」人の割合

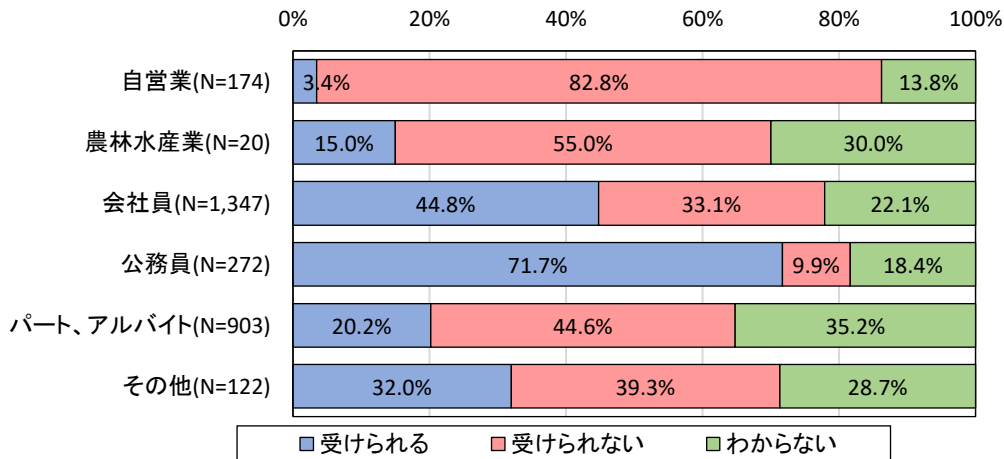
問16. あなたの会社では、専門家によるストレスなどの相談が受けられますか。(SA)



【図表2-10】 職業からみた職場で専門家によるストレス等の相談を「受けられる」人の割合

問16. あなたの会社では、専門家によるストレスなどの相談が受けられますか。(SA)

問31. あなたの職業をお答えください。(SA)



※いずれも「会社に勤めていない」と「無回答」を除いて集計

※いずれも職業「学生」と「無職」を除いて集計

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

- 職場で専門家によるストレス等の相談を「受けられる」人の割合…男性：41.6%〈目標値：37.5%〉
女性：30.8%〈目標値：28.9%〉

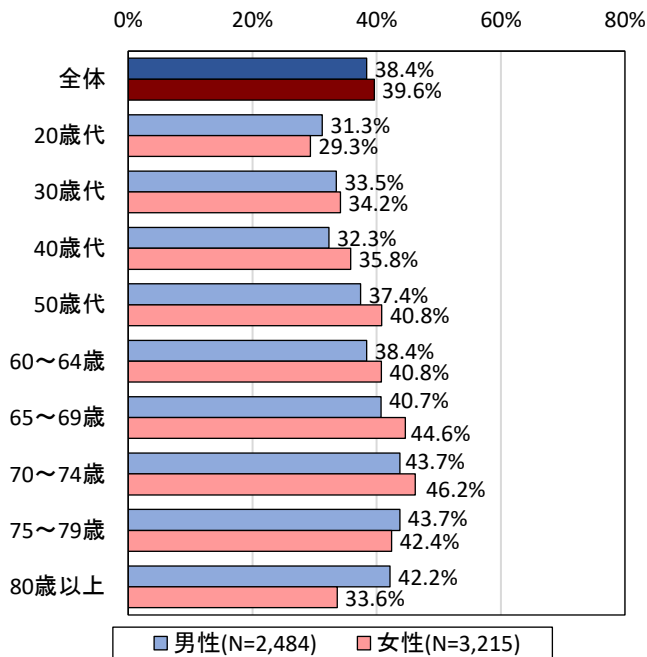
3 生活習慣について

(1) 食生活習慣等

○ 健康づくりのために取り組んでいることが「ある」人の割合は、男性が38.4%、女性が39.6%と、女性がわずかに高い。男性は70～74歳及び75～79歳が43.7%で最も高く、女性は70～74歳が46.2%で最も高い。【図表3-1】

【図表3-1】 健康づくりのために取り組んでいることが「ある」人の割合

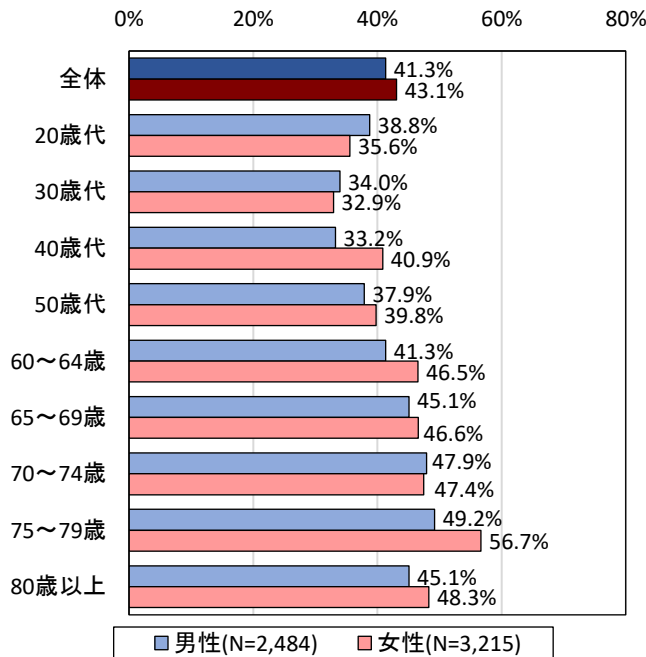
問17. あなたは、健康づくりのために、取り組んでいることがありますか。(SA)



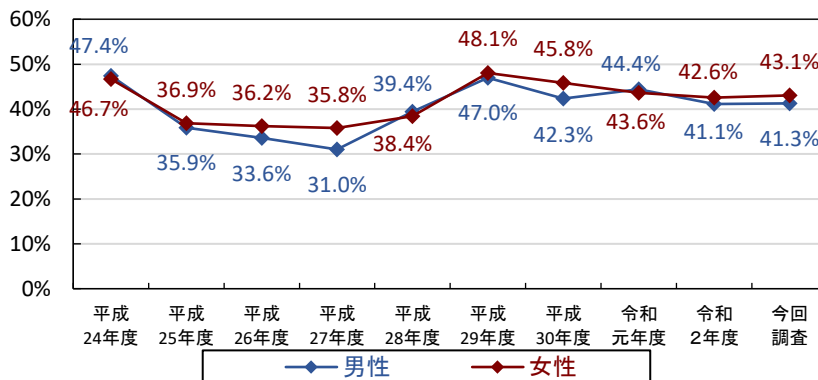
○ 主食・主菜・副菜を3つそろえて1日に2回以上食べる頻度が「ほぼ毎日」の人の割合は、男性が41.3%、女性が43.1%で、女性がやや高い。男女とも75～79歳が最も高く、特に女性75～79歳で56.7%と高い（男性75～79歳では49.2%）。また、男性は40歳代、女性は30歳代が最も低い。20歳代、30歳代及び70～74歳以外では女性の方が高くなっている。なお、昨年度の調査と比べると、男女ともほぼ横ばいである。【図表3-2】

【図表3-2】 主食・主菜・副菜を3つそろえて1日に2回以上食べる頻度が「ほぼ毎日」の人の割合

問2. 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（SA）



《過去の調査との比較》



※平成28年度までは、日本型食生活を「ほぼ毎日としている」人の割合。平成29年度以降は、主食・主菜・副菜を3つそろえて1日に2回以上食べる頻度が「ほぼ毎日」の人の割合。

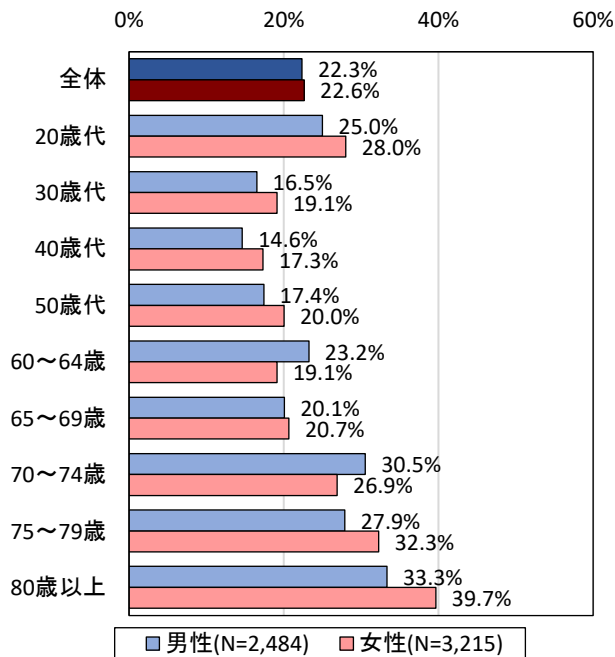
《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上毎日食べている人の割合
 …全体：42.4% 〈目標値：70%以上〉

- 時間をかけてよく噛んで（ひと口20～30回）「食べている」人の割合は、男性が22.3%、女性が22.6%で、ほとんど変わらない。男女とも40歳代の割合が最も低い。【図表3-3】
- 「肥満」の人は「やせ」「普通」の人と比べ、時間をかけてよく噛んで「食べている」人の割合が低い。【図表3-4】

【図表3-3】時間をかけてよく噛んで「食べている」人の割合

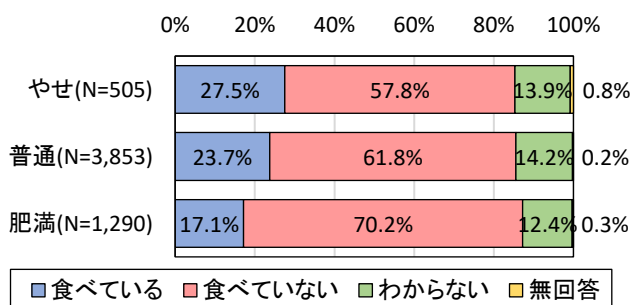
問3. あなたは、時間をかけてよく噛んで（ひと口20～30回）食べていますか。(SA)



【図表3-4】体型からみた時間をかけてよく噛んで「食べている」人の割合

問3. あなたは、時間をかけてよく噛んで（ひと口20～30回）食べていますか。(SA)

問33. あなたの身長と体重をお答えください。(小数点以下は四捨五入してください。)(J)

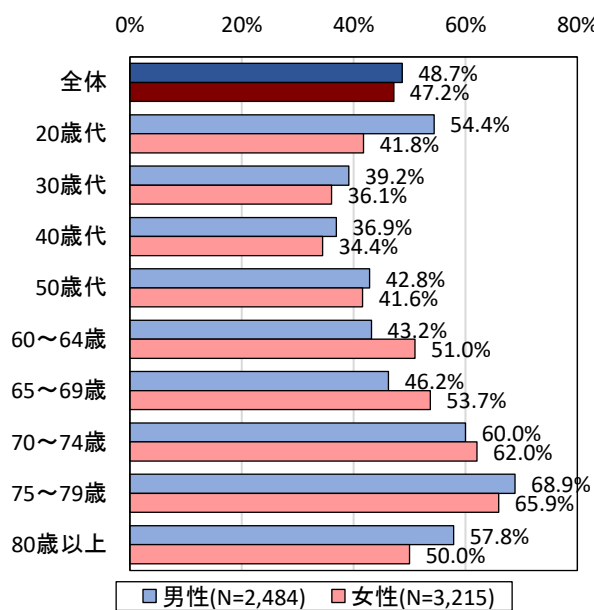


(2) 外出、運動習慣

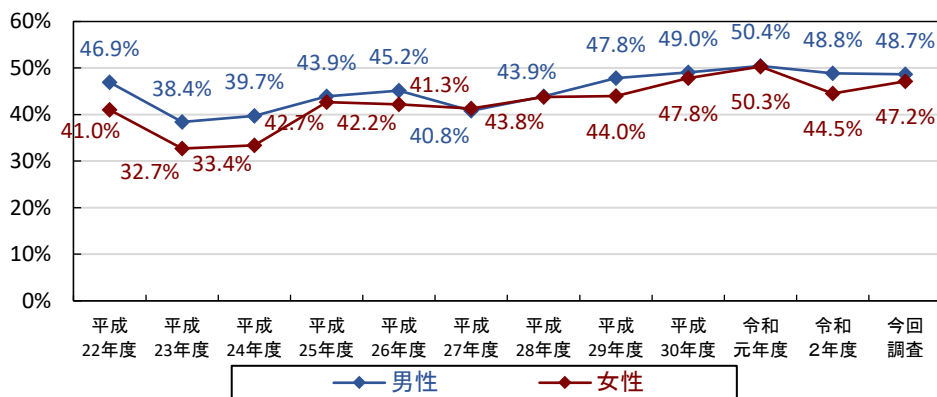
- 1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上している人の割合は、男性が48.7%、女性が47.2%で、男性が高い。男女とも75～79歳が最も高く、男性で68.9%、女性で65.9%となっている。最も低いのは、男女とも40歳代となっている。なお、昨年度の調査に比べると、男性は横ばいだが、女性は2.7ポイント増加している。【図表3-5】

【図表3-5】 1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上している人の割合

問4-①. あなたは、1日合計30分以上の運動・スポーツをどれくらいの頻度でしていますか。(SA)



《過去の調査との比較》



※平成22年度は「1日30分以上、週2日以上体を動かしている人」、平成23年度は「30分以上の運動を週2日以上している人」、平成24年度は「仕事以外で1日30分以上の運動を週2日以上している人」、平成25年度以降は「日常生活の中で意識して行う「散歩」、「階段の利用」、「徒歩・自転車通勤」など身体を動かすこと全般を含む運動を1日30分以上、週2日以上している人」の割合

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

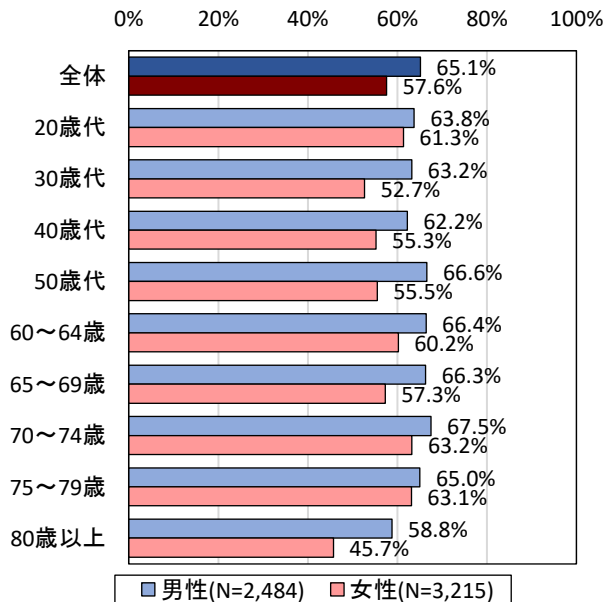
●運動習慣者（1日30分以上の運動を週2日以上）の割合

- …20～64歳男性：42.3%〈目標値：42.0%〉、20～64歳女性：40.4%〈目標値：39.0%〉
- …65歳以上男性：56.9%〈目標値：62.0%〉、65歳以上女性：59.0%〈目標値：50.0%〉

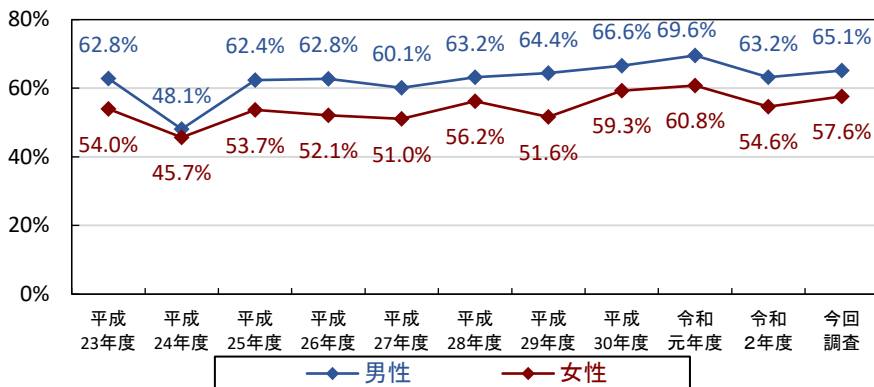
○ 1日30分以上歩いている人の割合は、男性が65.1%、女性が57.6%で、男性が高い。いずれの年代でも、男性の方が高くなっている。男性では、80歳以上以外では、いずれの年代でも6割台となっているが、女性では20歳代、60～64歳及び70歳代でのみ6割台となっている。なお、男女ともに、昨年度の調査に比べて増加している。【図表3-6】

【図表3-6】 1日30分以上歩いている人の割合

問4-②. あなたは、1日平均何分くらい歩いていますか。(J)



《過去の調査との比較》

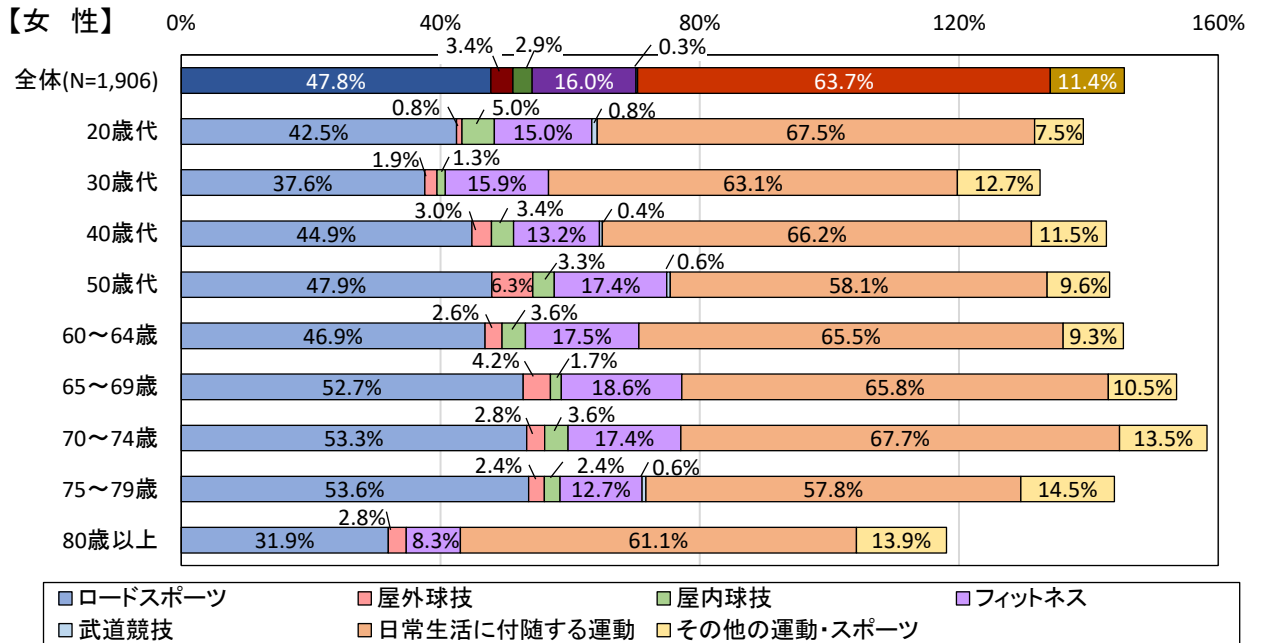
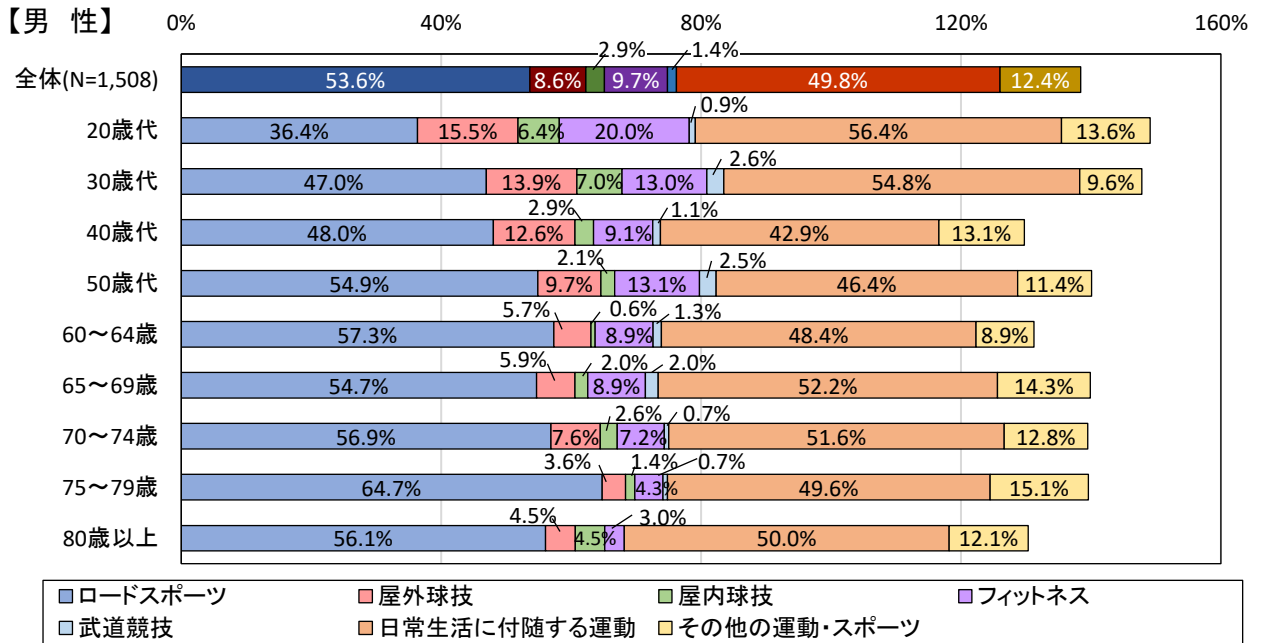


※平成24年度は「仕事以外で1日30分以上歩いている人」、それ以外の年度は「1日平均30分以上歩いている人」の割合

- 1日合計30分以上取り組んでいる運動・スポーツの内容は、男性は「ロードスポーツ」が53.6%、女性は「日常生活に付随する運動」が63.7%で最も高い。【図表3-7】
- 男性では、40歳以上では「ロードスポーツ」の割合が最も高い。20～30歳代では「日常生活に付随する運動」の割合が最も高い。【図表3-7】
- 女性は、いずれの年代でも「日常生活に付随する運動」の割合が最も高い。【図表3-7】

【図表3-7】 1日合計30分以上取り組んでいる運動・スポーツの内容（複数回答）

問4①-1. また、その内容はどのようなものですか。(MA)



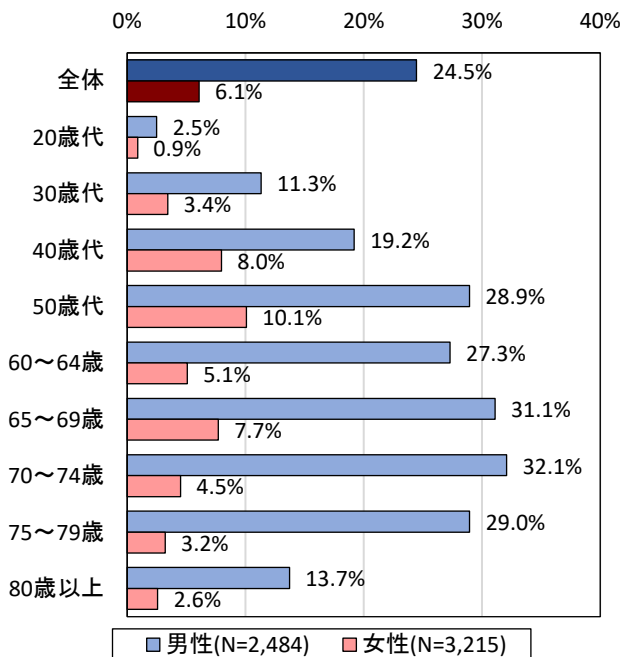
※ 「ロードスポーツ」：ウォーキング・ジョギング・サイクリング・散歩など、「屋外球技」：野球・サッカー・テニスなど、「屋内球技」：バスケットボール・バレーボールなど、「フィットネス」：エアロビクス等の体操・水泳・スポーツジムなど、「武道競技」：柔道・剣道・弓道・空手など、「日常生活に付随する運動」：通勤・農作業・運搬作業・買い物など

(3) 飲酒・喫煙の状況

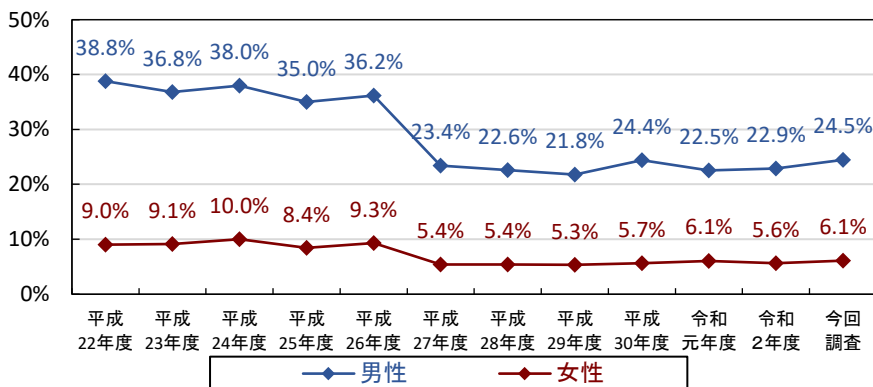
○ アルコール類を「毎日飲酒している」人の割合は、男性が24.5%、女性が6.1%で、男性が高い。いずれの年代でも、男性が女性に比べて高くなっている。男性では65～74歳で3割台と高く、女性では50歳代で10.1%と最も高い。なお、昨年度の調査と比べると、男性は増加、女性はほぼ横ばいとなっている。【図表3-8】

【図表3-8】 アルコール類を「毎日飲酒している」人の割合

問5-1. 週のうち、アルコール類を飲む日は何日くらいですか。(J)



《過去の調査との比較》



※平成26年度までは「ほとんど毎日飲んでいる人」、平成27年度以降は「週に7日飲んでいる人」の割合

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

● 毎日飲酒をしている人の割合

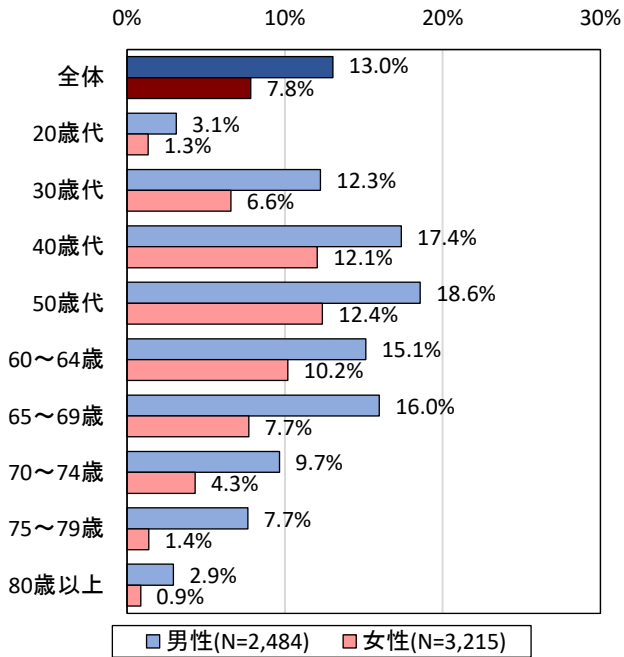
…男性：24.5%〈目標値：20.3%〉、女性：6.1%〈目標値：4.9%〉

○ 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合は、男性が13.0%、女性が7.8%で、男性が高い。いずれの年代でも、男性が女性に比べて高く、男性の50歳代が18.6%と高い。【図表3-9】

【図表3-9】生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合

問5-1. 週のうち、アルコール類を飲む日は何日くらいですか。(J)

問5-2. お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。(SA)



※「生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人」に該当する者とは、アルコールを「週1日以上飲む」人のうち、下記①～④のいずれかに該当する者

【男性】純アルコール換算で摂取量が280g以上/週の者

- ①週1～2日飲酒で、1回あたり「5合以上」
- ②週3日飲酒で、1回あたり「4合以上」
- ③週4日飲酒で、1回あたり「3合以上」
- ④週5～7日飲酒で、1回あたり「2合以上」

【女性】純アルコール換算で摂取量が140g以上/週の者

- ①週1日飲酒で、1回あたり「5合以上」
- ②週2日飲酒で、1回あたり「3合以上」
- ③週3日飲酒で、1回あたり「2合以上」
- ④週4～7日飲酒で、1回あたり「1合以上」

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

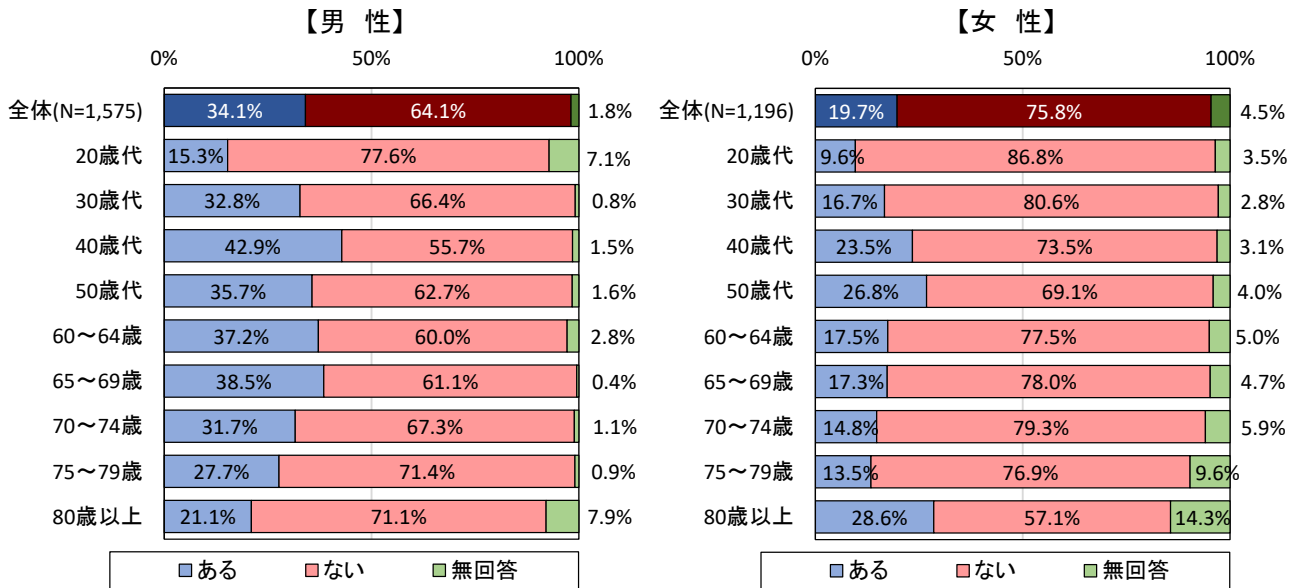
● 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者

…男性：13.0%〈目標値：9.5%〉、女性：7.8%〈目標値：4.9%〉

- 飲酒量を減らさなければと感じたことが「ある」人の割合は、男性が34.1%、女性が19.7%で、男性が高い。80歳以上以外では、男性が女性に比べて高く、男性は40歳代が42.9%、女性は80歳以上が28.6%で最も高くなっている。【図表3-10】
- 家族や友人、医師が、あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことが「ある」人の割合は、男性が26.5%、女性が6.9%で、男性が高い。いずれの年代でも、男性が女性に比べて高く、男性は40歳代が33.5%、女性も40歳代が10.6%で最も高くなっている。【図表3-11】

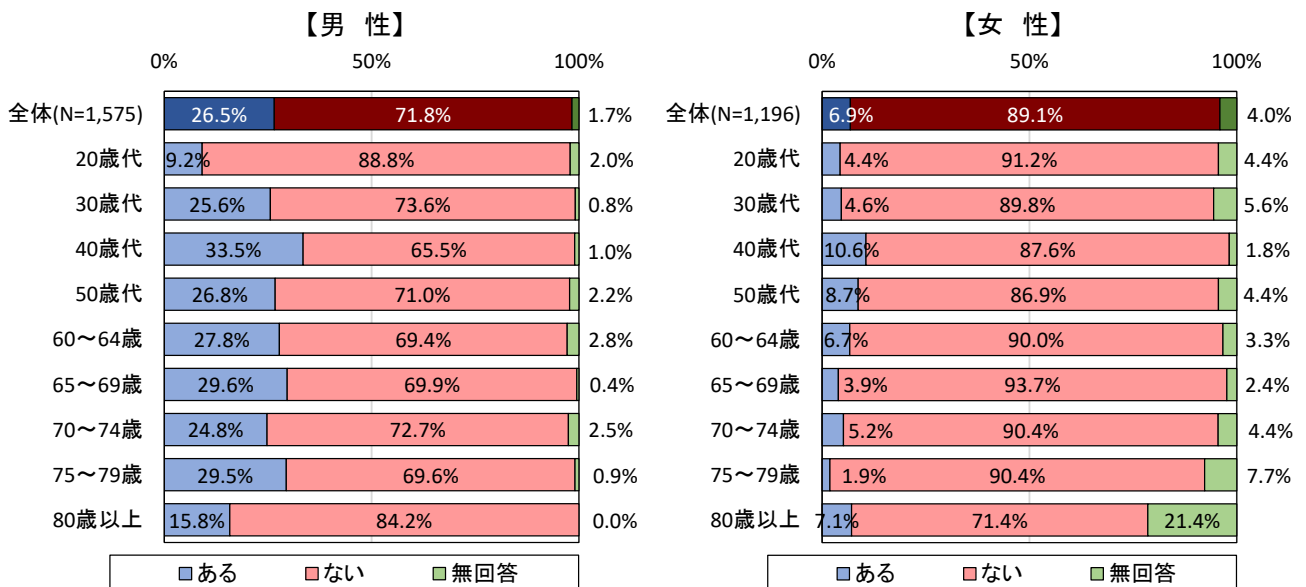
【図表3-10】 飲酒量を減らさなければと感じたことが「ある」人の割合

問5-3. 飲酒量を減らさなければと感じたことはありますか。(SA)



【図表3-11】 あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことが「ある」人の割合

問5-4. 家族や友人、医師が、あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことがありますか。(SA)

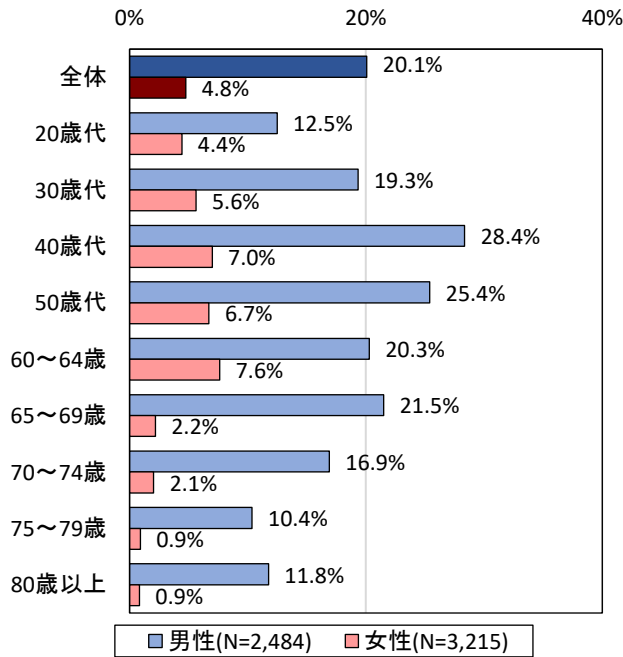


※いずれもアルコール類を「週1日以上飲む」または「たま(週1日未満)に飲む」と答えた人について集計

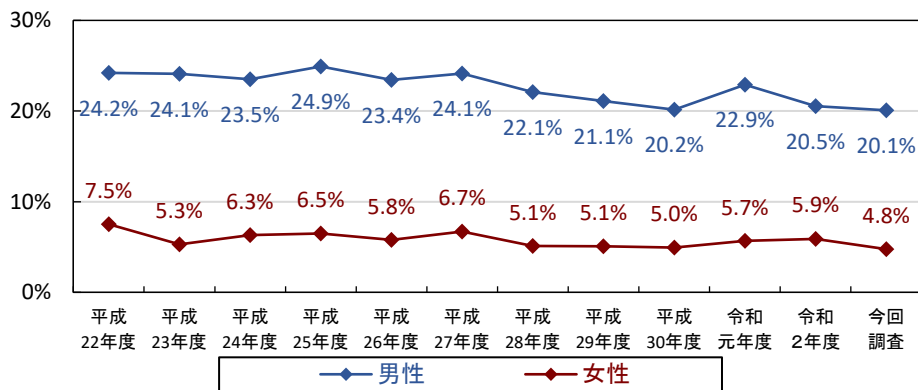
○ たばこを「現在吸っている」人の割合は、男性が20.1%、女性が4.8%で、男性が高い。いずれの年代でも男性が女性に比べて高い。男性は40歳代が28.4%で最も高く、女性は60～64歳が7.6%で最も高いが、40～50歳代も約7%で高い。なお、昨年度の調査と比べると、男女ともわずかに減少している。【図表3-12】

【図表3-12】 たばこを「現在吸っている」人の割合

問6. あなたは、たばこを吸っていますか。(SA)



《過去の調査との比較》



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

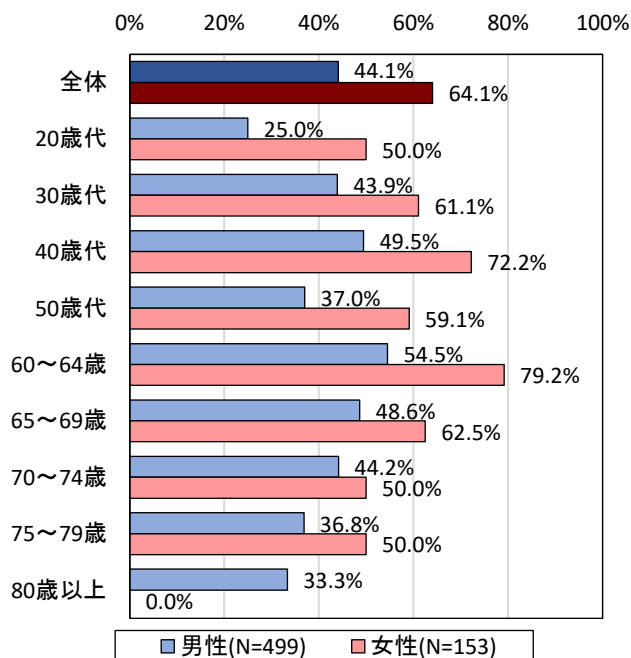
●成人の喫煙率

…全体：11.4%〈目標値：9.9%〉、男性：20.1%〈目標値：18.0%〉、女性：4.8%〈目標値：2.8%〉

○ たばこを「現在吸っている」人のうち、たばこを「やめたい」人の割合は、男性が44.1%、女性が64.1%で、女性が高い。80歳以上を除く全ての年代で女性が男性に比べて高く、特に女性の60～64歳が79.2%で最も高い。【図表3-13】

【図表3-13】 たばこを「やめたい」人の割合

問6-1. あなたは、たばこをやめたいですか。(SA)

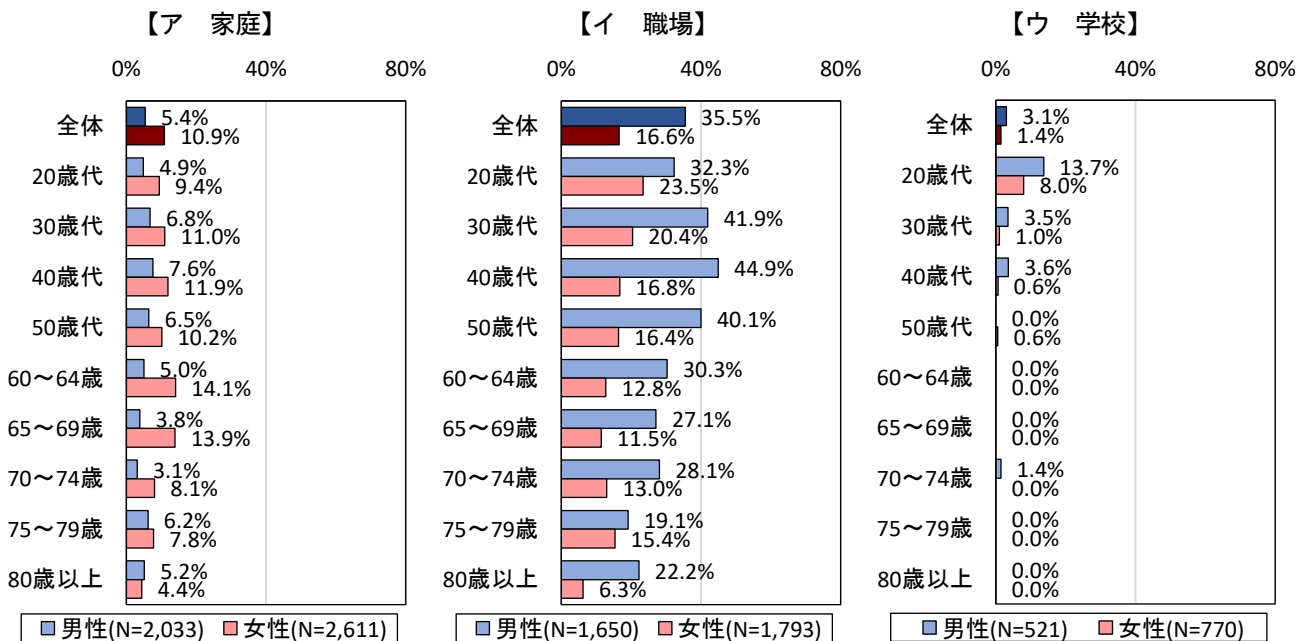


(4) 受動喫煙の状況、喫煙による影響の理解

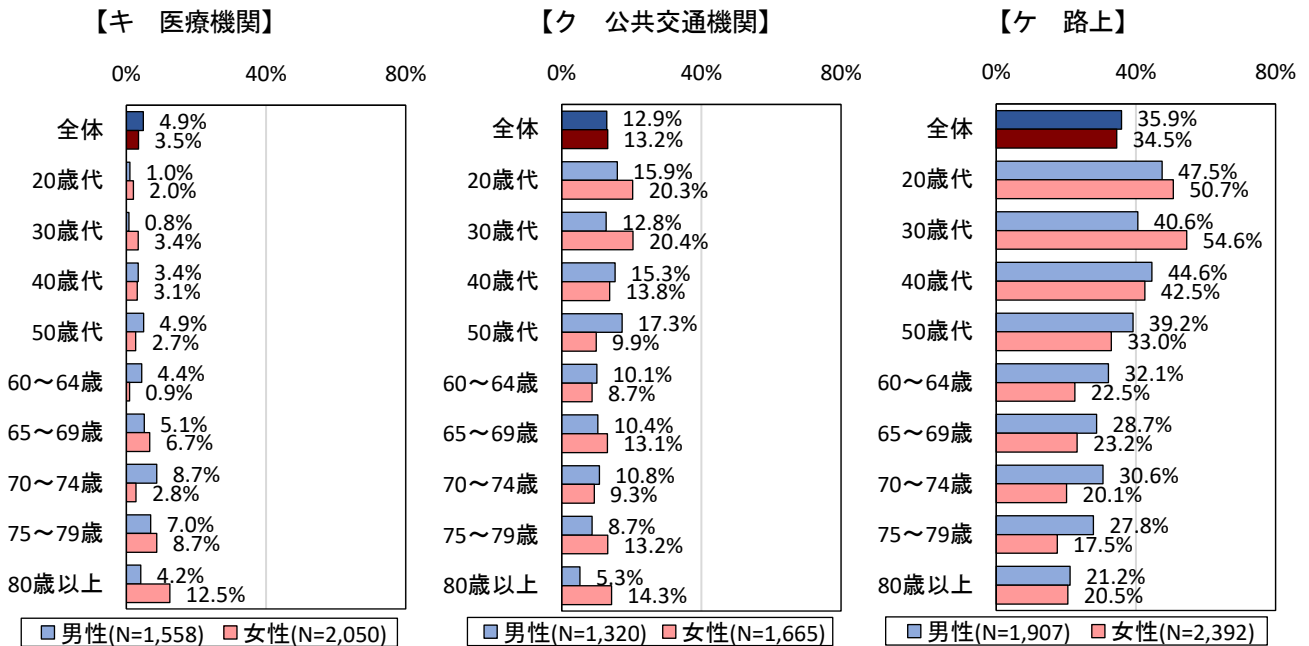
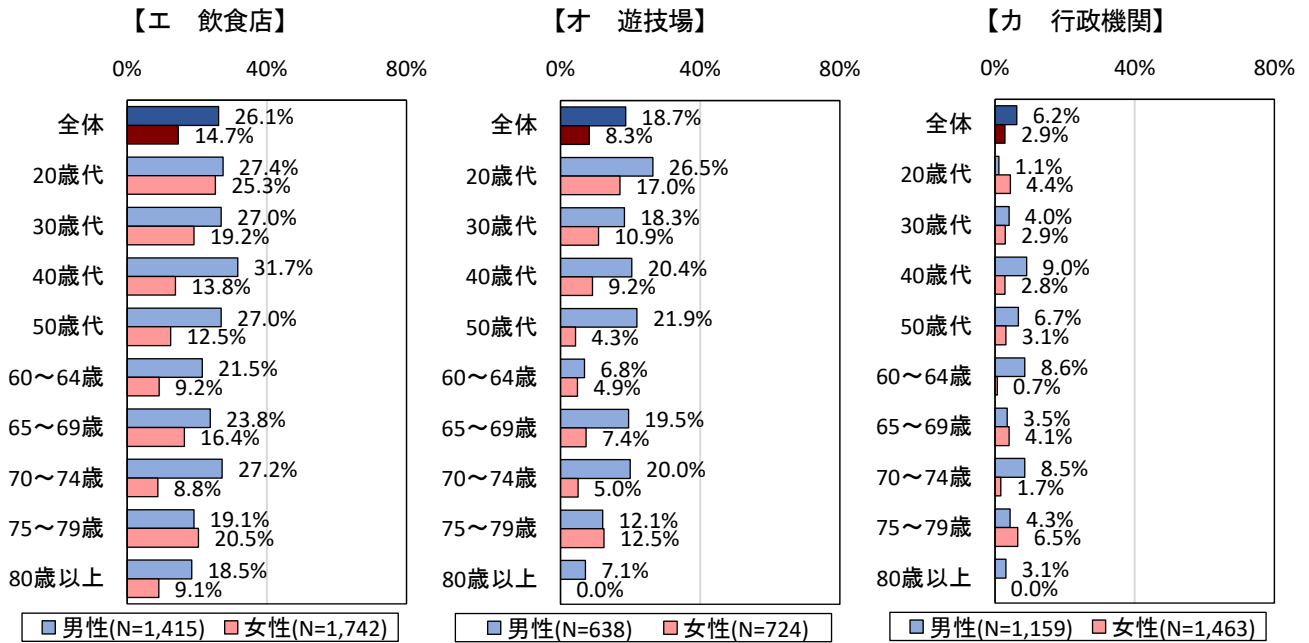
- 過去1か月間にア～ケの9つの場面で受動喫煙を経験した人の状況は、以下のとおりである。
- 「ア 家庭」では、男性が5.4%、女性が10.9%で、女性が高い。80歳以上を除き、女性が男性に比べて高い。【図表3-14-ア】
- 「イ 職場」では、男性が35.5%、女性が16.6%で、男性が高い。いずれの年代でも男性が女性に比べて高く、男性の30～50歳代が4割台で高い。【図表3-14-イ】
- 「ウ 学校」では、男性が3.1%、女性が1.4%で、男性が高い。男女とも20歳代が最も高い。【図表3-14-ウ】
- 「エ 飲食店」では、男性が26.1%、女性が14.7%で、男性が高い。75～79歳を除き男性が女性に比べて高く、特に男性の40歳代が31.7%で最も高い。【図表3-14-エ】
- 「オ 遊技場」では、男性が18.7%、女性が8.3%で、男性が高い。75～79歳以外では男性が女性に比べて高く、特に男性20歳代で26.5%と高い。【図表3-14-オ】
- 「カ 行政機関」では、男性が6.2%、女性が2.9%で、男性が高い。男性40歳代で9.0%と最も高くなっている。【図表3-14-カ】
- 「キ 医療機関」では、男性が4.9%、女性が3.5%で、男性が高い。女性80歳以上では12.5%と1割を超えている。【図表3-14-キ】
- 「ク 公共交通機関」では、男性が12.9%、女性が13.2%で、男女差はみられない。女性20～30歳代では約2割と高くなっている。【図表3-14-ク】
- 「ケ 路上」では、男性が35.9%、女性が34.5%で、男性がわずかに高い。20～30歳代を除き、いずれの年代でも男性が女性に比べて高い。また、女性20～30歳代で5割台と高い。【図表3-14-ケ】

【図表3-14】 過去1か月間に受動喫煙を経験した人の割合

問7. あなたは、過去1か月間に、自分以外の方が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。次の「ア」から「ケ」それぞれについてお答えください。(SA)



※「ア 家庭」は「ほぼ毎日」の割合、その他は「ほぼ毎日」「週に数回程度」「週に1回程度」「月に1回程度」の合計の割合。
集計母数は「ほぼ毎日」「週に数回程度」「週に1回程度」「月に1回程度」「全くなかった」の合計



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●日常生活で受動喫煙の機会を有する人*の割合

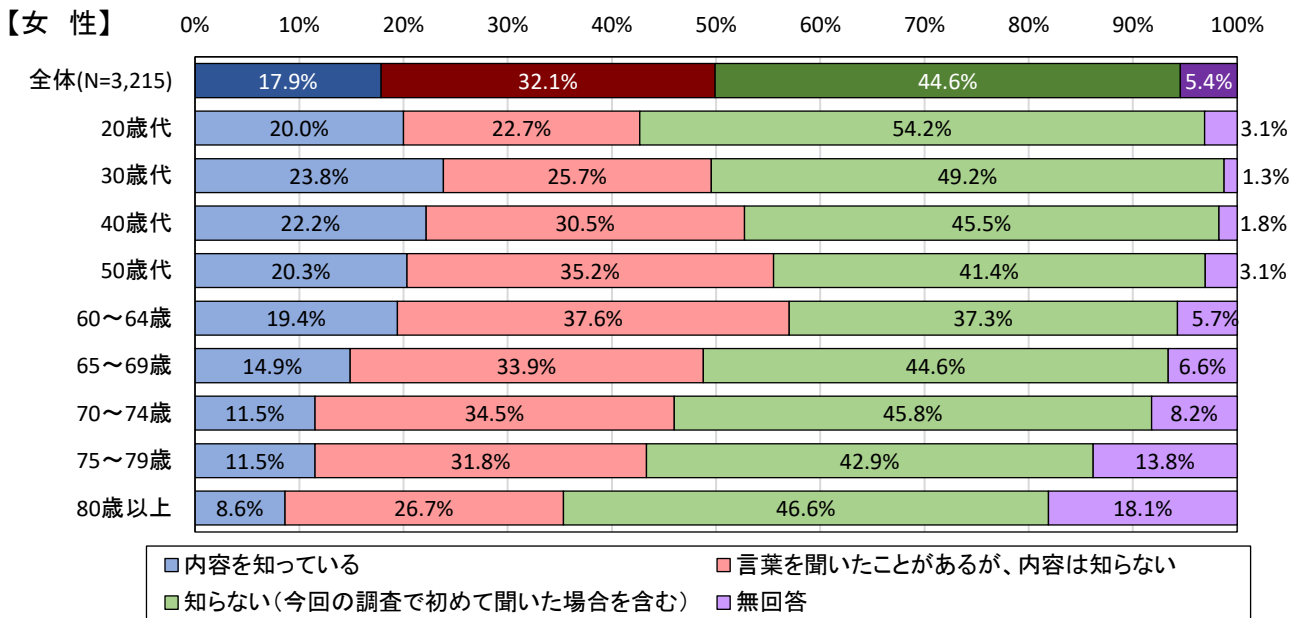
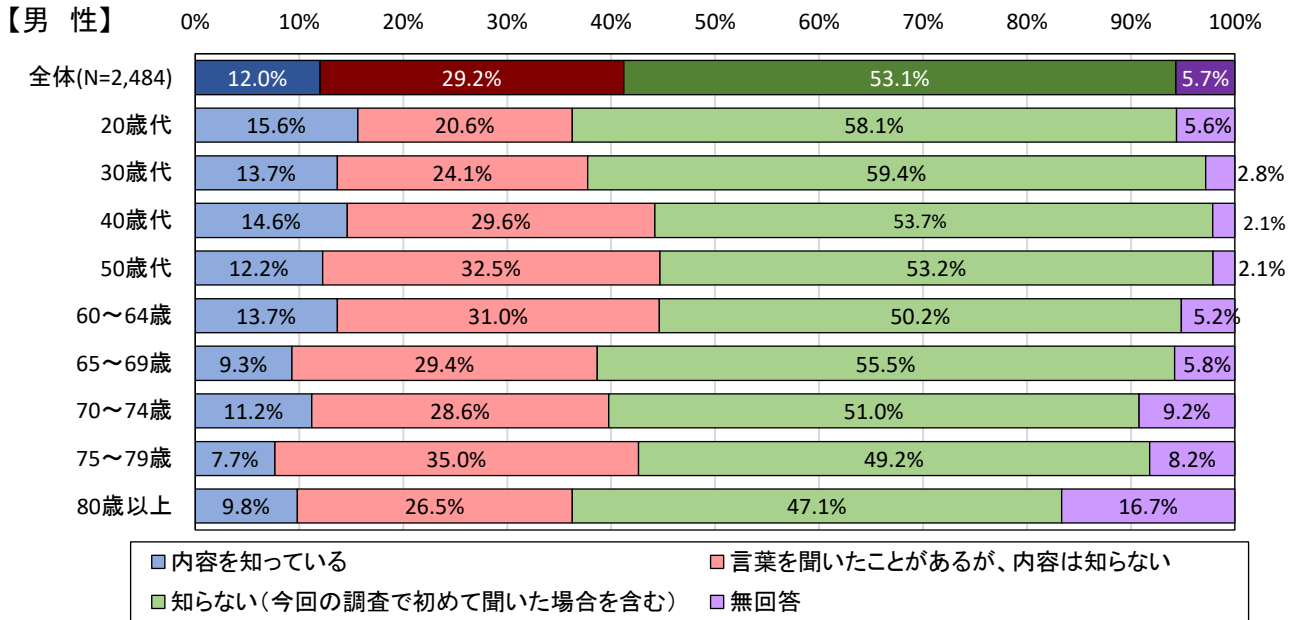
- ・家庭…全体：6.3% <目標値：2.6%>
- ・飲食店…全体：17.9% <目標値：14.8%>
- ・医療機関…全体：3.9% <目標値：0.0%>
- ・職場…全体：20.4% <目標値：12.4%>
- ・行政機関…全体：4.0% <目標値：0.0%>

*現在喫煙者を除いて集計

○ 慢性閉塞性疾患（COPD）の認知について、男女ともに「知らない」の割合が最も高く、男性では53.1%、女性では44.6%を占めている。また、「内容を知っている」は男女ともに1割台、「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」は男女ともに3割前後となっている。【図表3-15】

【図表3-15】慢性閉塞性疾患（COPD）の認知

問8. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）とは、どのような病気か知っていますか。（SA）



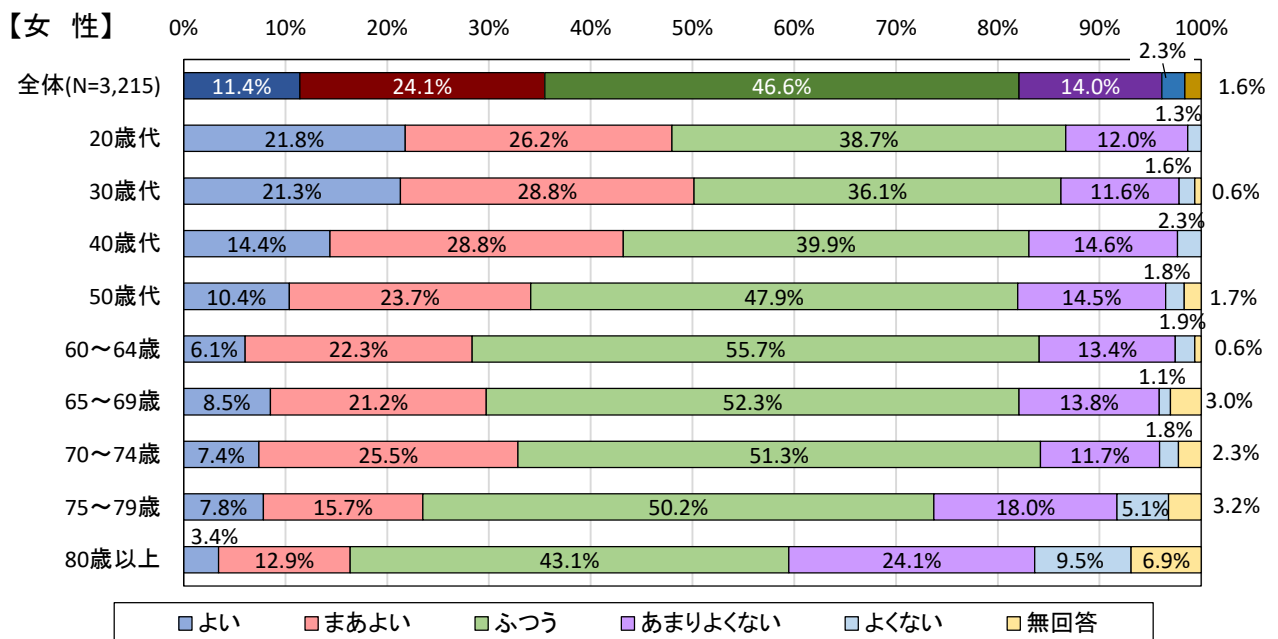
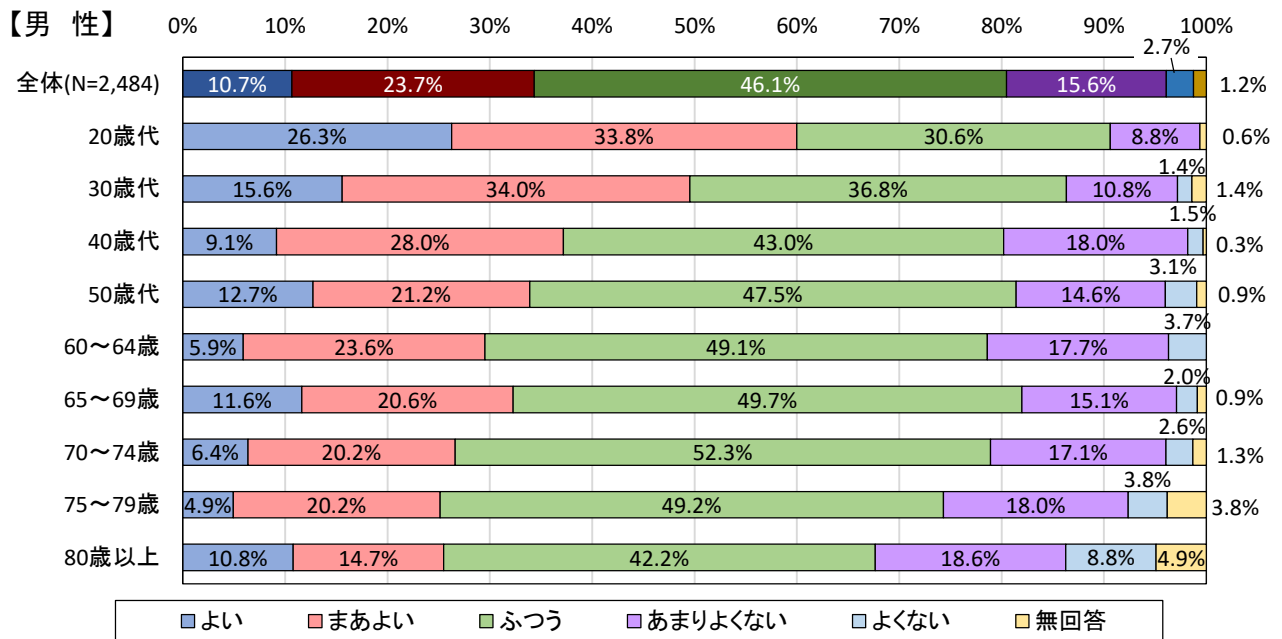
4 医療や健診（検診）の受診状況

(1) 健康状態

- 現在の健康状態について、男女ともに「ふつう」が最も高く、男性では46.1%、女性では46.6%を占めている。【図表4-1】
- 「よい」または「まあよい」と回答した人の割合は、男性が34.4%、女性が35.5%で、女性がやや高い。男性では20歳代が60.1%で最も高く、女性では30歳代が50.1%で最も高くなっている。男女とも年代が上がるほど、「よい」あるいは「まあよい」と回答する人の割合は概ね低くなる傾向。【図表4-1】

【図表4-1】現在の健康状態

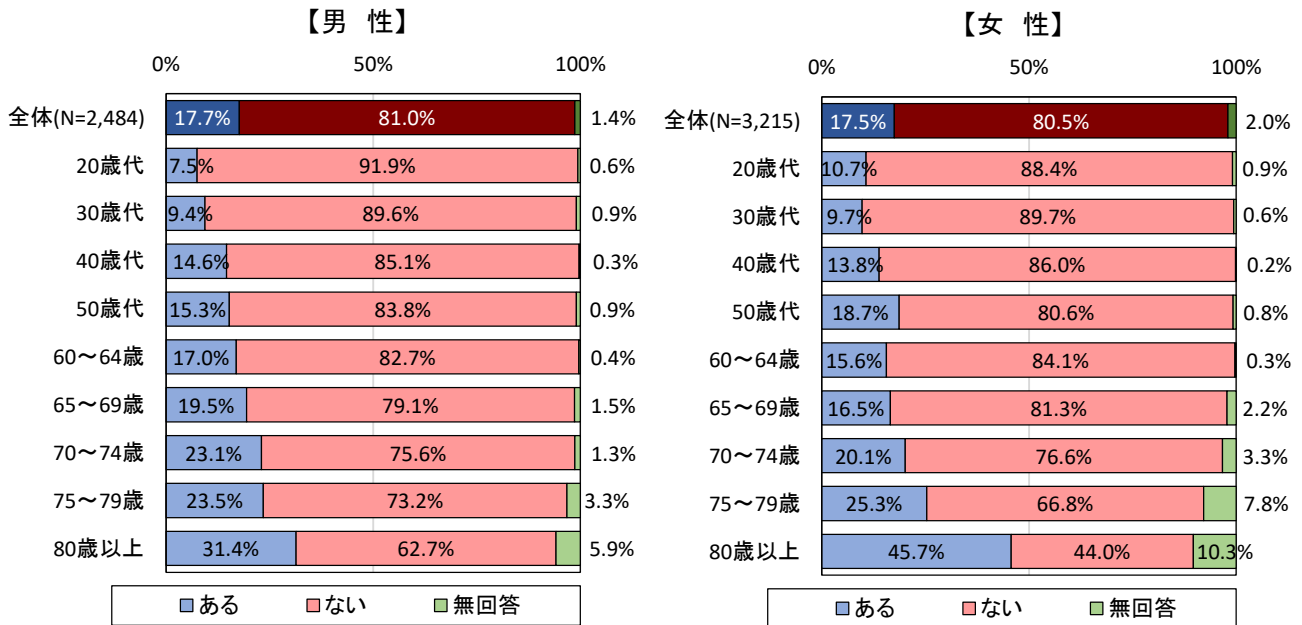
問18. あなたの現在の健康状態はいかがですか。(SA)



- 健康上の問題による日常生活への影響が「ある」人の割合は、男性が17.7%、女性が17.5%と、差はみられない。【図表4-2】
- 男女ともに年代が上がるにつれ、健康上の問題による日常生活への影響が「ある」人の割合が高くなる傾向で、80歳以上では男性で31.4%、女性で45.7%を占めている。【図表4-2】

【図表4-2】健康上の問題による日常生活への影響の有無

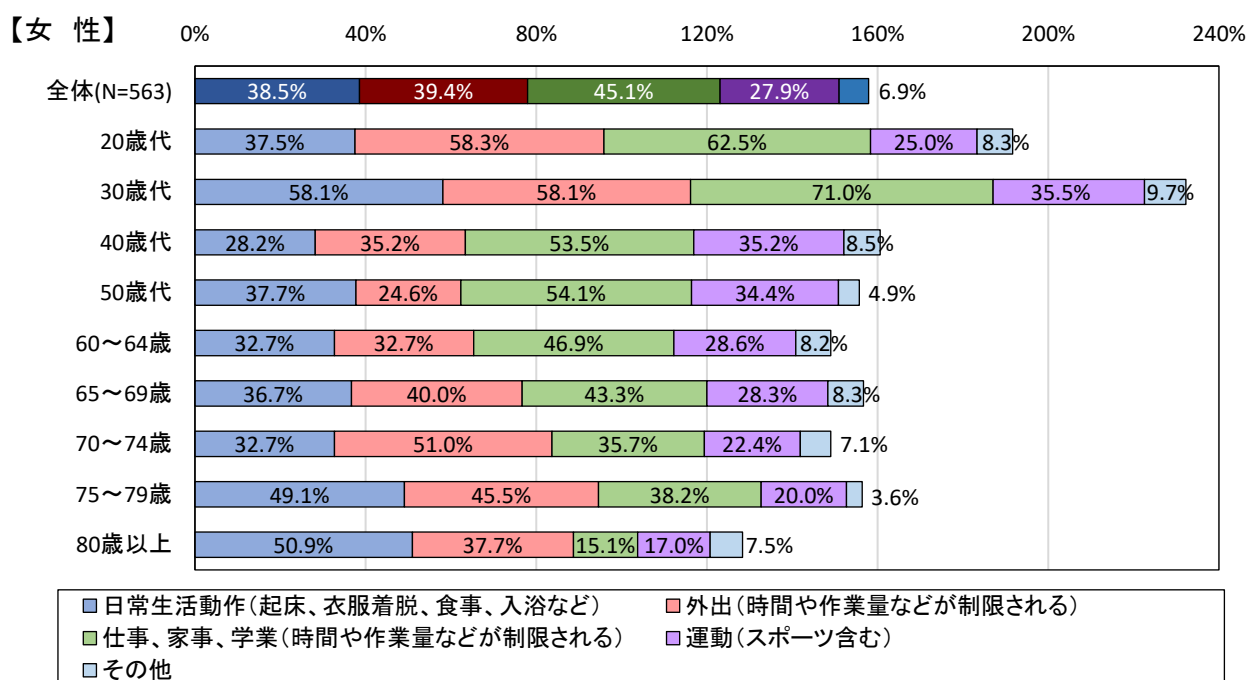
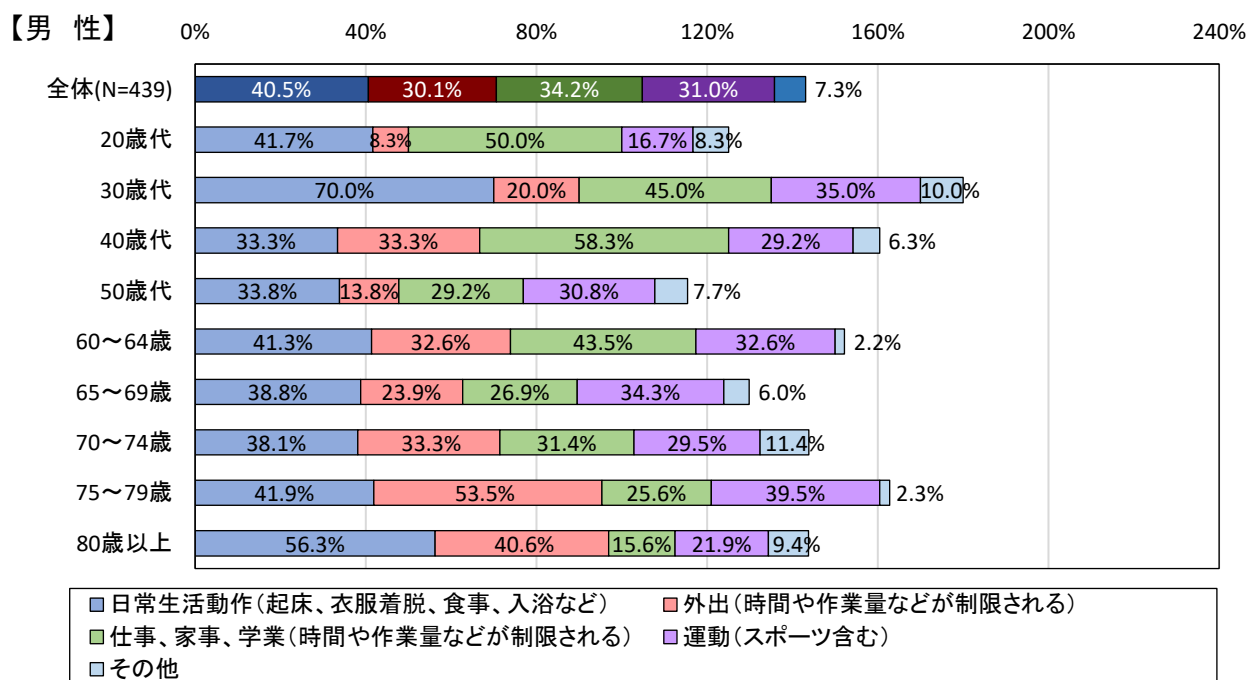
問19. あなたは、現在健康上の問題で、日常生活に何か影響がありますか。(SA)



- 日常生活への影響内容について、男性は「日常生活動作」が40.5%で最も高く、女性は「仕事、家事、学業」が45.1%で最も高い。【図表4-3】
- 男性は、20歳代、40歳代、60～64歳は「仕事、家事、学業」、30歳代、50歳代、65～74歳、80歳以上は「日常生活動作」、75～79歳は「外出」が最も高い。女性は、69歳以下は「仕事、家事、学業」、70～74歳は「外出」、75歳以上は「日常生活動作」が最も高い。【図表4-3】

【図表4-3】日常生活への影響内容（複数回答）

問19-1. それはどのようなことに影響がありますか。(MA)

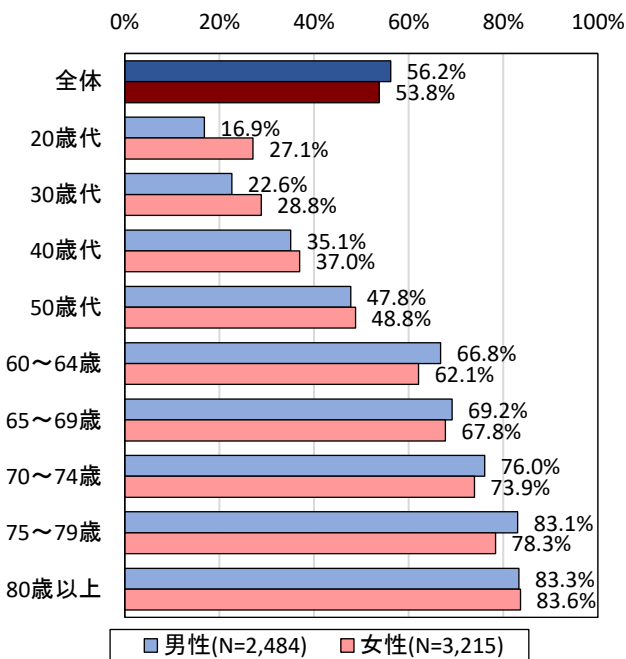


(2) 医療機関への受診状況

- 現在、「医科」を受診している人の割合は、男性が56.2%、女性が53.8%で、男性が高い。男女ともに年代が上がるにつれ受診している人の割合が高くなる傾向で、60歳代で6割台、70歳以上で7割以上を占めている。なお、男女ともに昨年度の調査に比べてわずかに増加している。【図表4-4】
- 現在「歯科」を受診している人の割合は、男性が18.9%、女性が20.8%で、女性がやや高い。男性65歳以上、女性50歳以上で2割以上、女性75歳以上では3割強を占めている。なお、昨年度の調査に比べて、男女ともわずかに増加している。【図表4-5】

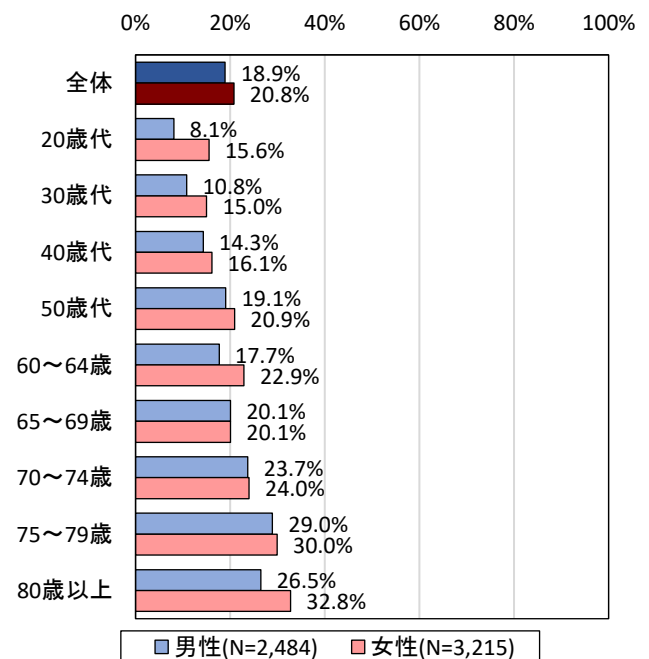
【図表 4-4】 現在「医科」を受診している人の割合

問20. あなたは、現在、医療機関（病院、診療所）にかかっていますか。（SA）

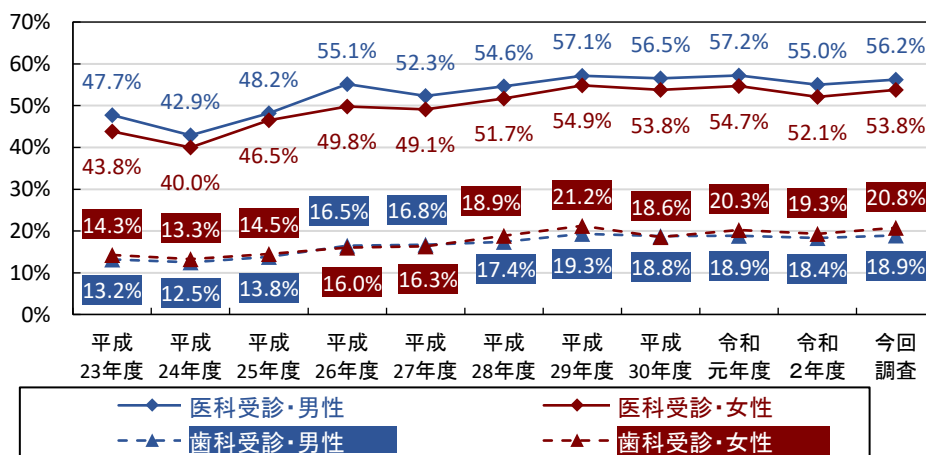


【図表 4-5】 現在「歯科」を受診している人の割合

問20. あなたは、現在、医療機関（病院、診療所）にかかっていますか。（SA）



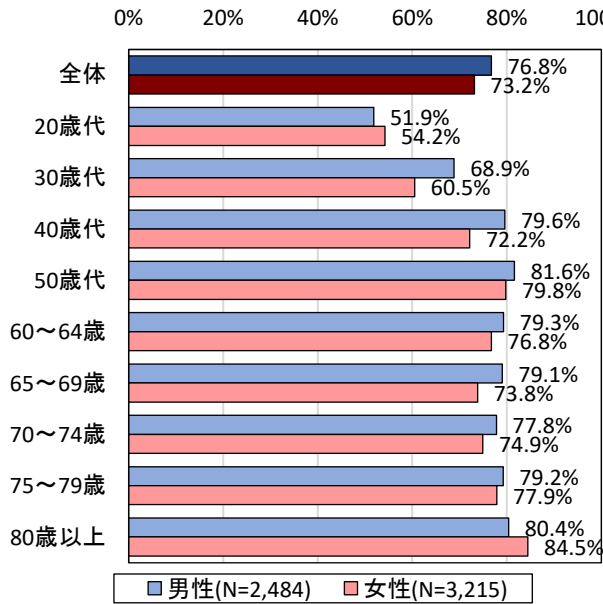
《過去の調査との比較》



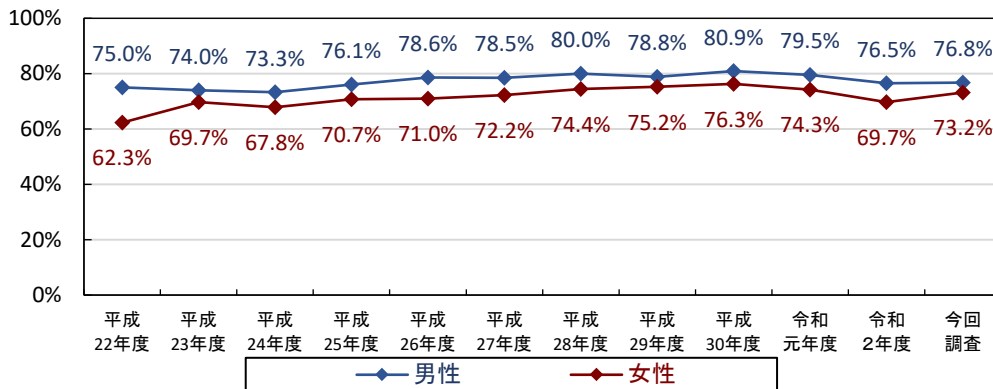
○ 過去1年間に内科的な健康診断を受診した人の割合は、男性が76.8%、女性が73.2%で、男性が高い。男女とも20歳代が5割台と低く、30歳代が6割台、40歳以上では7割以上となっている。なお、昨年度の調査に比べて、男性は横ばい、女性は増加している。【図表4-6】

【図表4-6】 過去1年間に内科的な健康診断を受診した人の割合

問21. あなたは、過去1年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っている内科的な健康診断（血液検査、尿検査、血圧測定を実施するもの・人間ドックを含む）を受診しましたか。（SA）



《過去の調査との比較》



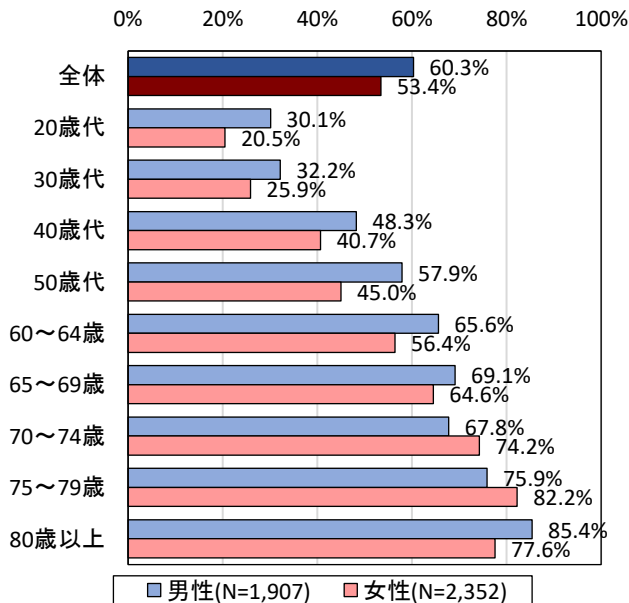
《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

● 過去1年間に内科的健康診断を受けた人の割合
 …20歳以上全体：74.7% 〈目標値：77.4%〉

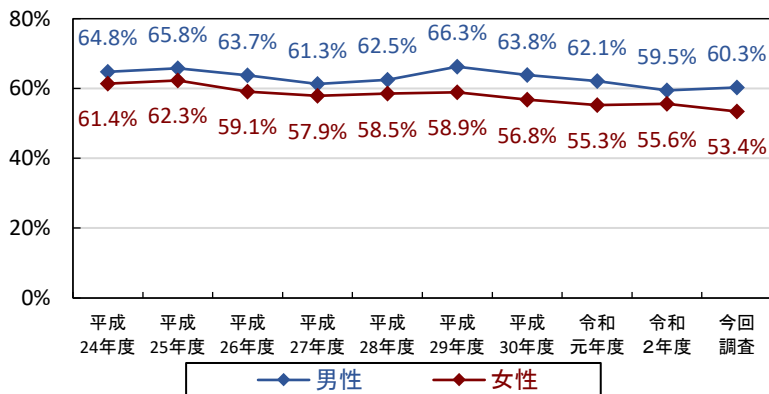
○ 内科的な健康診断を受診し、専門家から結果説明や生活習慣指導を受けた人の割合は、男性が60.3%、女性が53.4%で、男性が高い。男女ともに年代が上がるにつれ、指導を受けた人の割合が高くなる傾向で、男性では75歳以上、女性では70歳以上で7割以上と高い。なお、昨年度の調査に比べ、男性はわずかに増加だが、女性は減少している。【図表4-7】

【図表4-7】 内科的な健康診断を受診し、専門家から結果説明や生活習慣指導を受けた人の割合

問21-1. 専門家からの結果説明や生活習慣指導を受けましたか。(SA)



《過去の調査との比較》



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

● 健診後指導実施者の割合

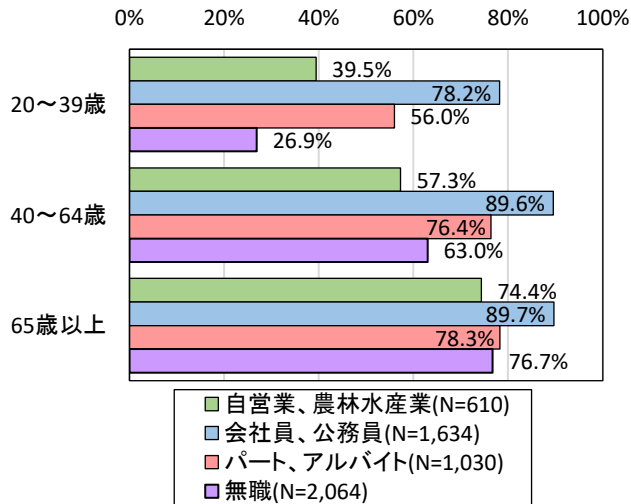
…20歳以上全体：56.6%〈目標値：69.1%〉

○ 年代と職業からみた内科的な健康診断の受診率は、年代に関係なく「会社員、公務員」の割合が最も高いが、特に20～39歳でその差が顕著。65歳以上では、職業に関わらず7割以上となっている。【図表4-8】

【図表4-8】年代と職業からみた内科的な健康診断の受診率

問21. あなたは、過去1年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っている内科的な健康診断（血液検査、尿検査、血圧測定を実施するもの・人間ドックを含む）を受診しましたか。（SA）

問31. あなたの職業をお答えください。（SA）

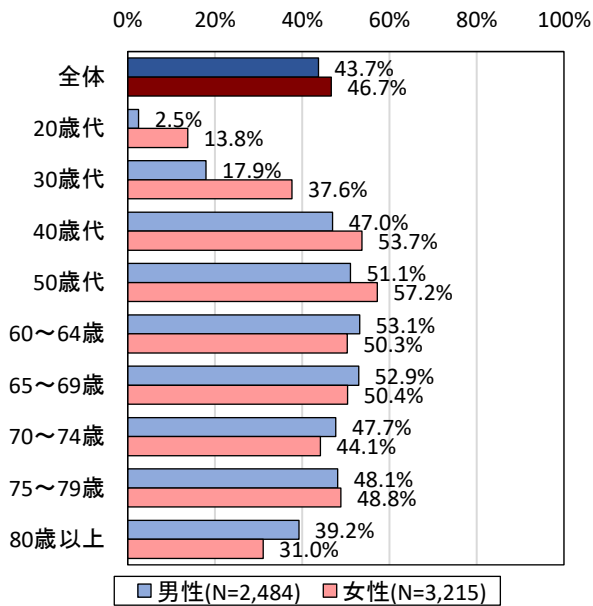


(3) がん検診の受診状況

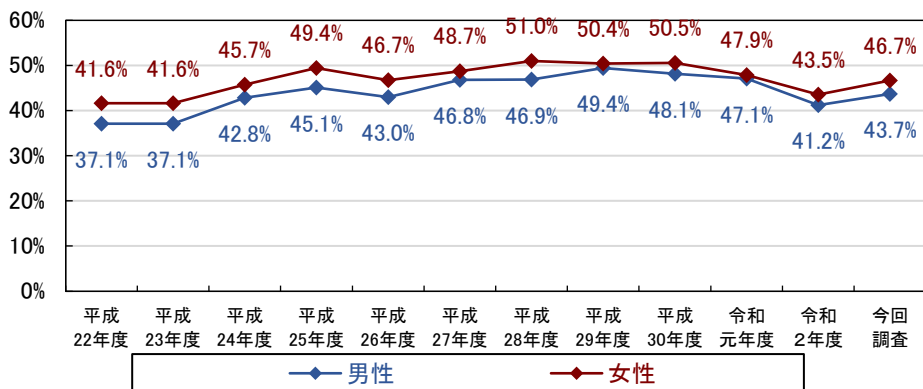
○ 過去1年間にがん検診を受診した人の割合は、男性が43.7%、女性が46.7%で、女性が高い。20～50歳代では女性が高く、60～79歳代では男女差があまりなく、80歳以上では男性が高い。なお、昨年度の調査に比べて男女ともに増加している。【図表4-9】

【図表4-9】 過去1年間にがん検診を受診した人の割合

問22. あなたは、過去1年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っているがん検診（人間ドックを含む）を受診しましたか。（SA）



《過去の調査との比較》



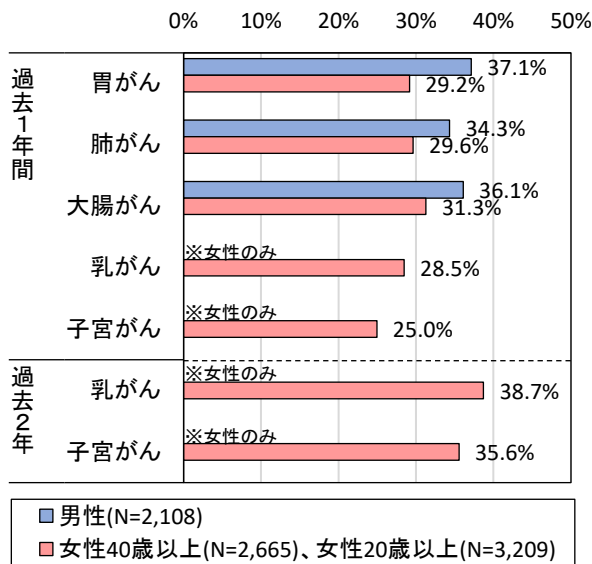
- 性別と種類別でみたがん検診の受診率は、過去1年間では、男性では「胃がん」、女性では「大腸がん」の受診率が最も高く、「胃がん」「肺がん」「大腸がん」の受診率はいずれも男性が女性に比べて高い。なお、「胃がん」「肺がん」「大腸がん」の受診率は、いずれも昨年度の調査に比べて増加している。

【図表4-10】

- 「乳がん」「子宮がん」の受診率は、過去1年間では2割台、過去2年間では3割台。昨年度の調査と比べると、「乳がん」の過去2年間の受診率は横ばいだが、その他はいずれも増加している。【図表4-10】

【図表4-10】 性別と種類別でみたがん検診の受診率

問22-1. どんながん検診を受けましたか。(MA)

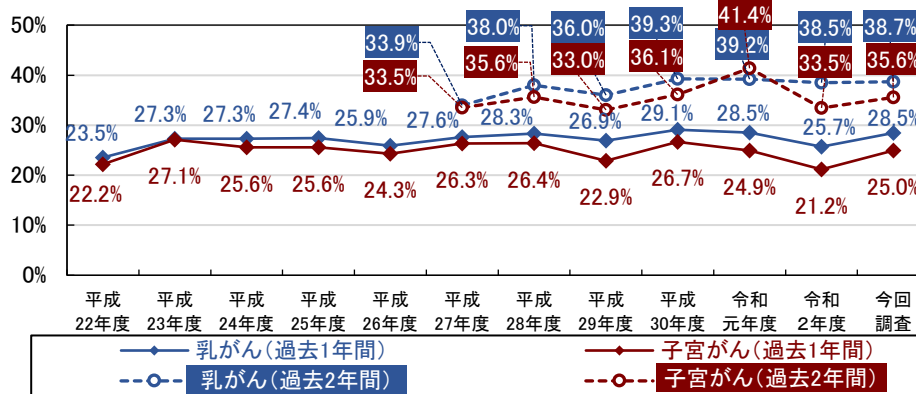
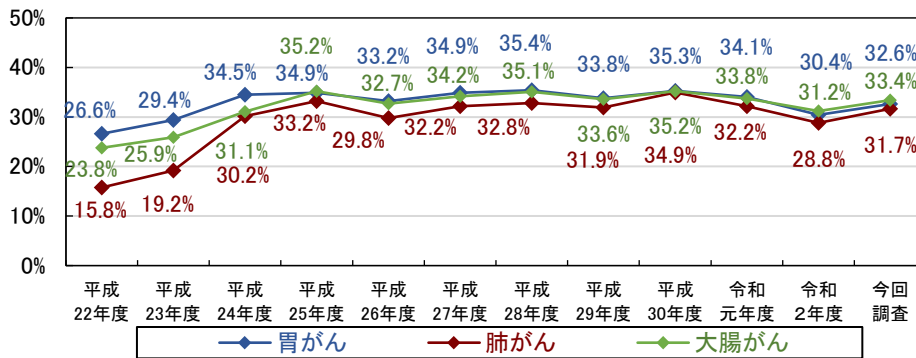


※集計母数は、子宮がんは20歳以上、それ以外は40歳以上とし、年齢の無回答・不明は含まない。

※乳がんと子宮がんは女性のみ。

※乳がんと子宮がん検診に関しては、原則として2年に1回の受診のため、平成27年度調査から過去2年間の受診率も併記した。

《過去の調査との比較》

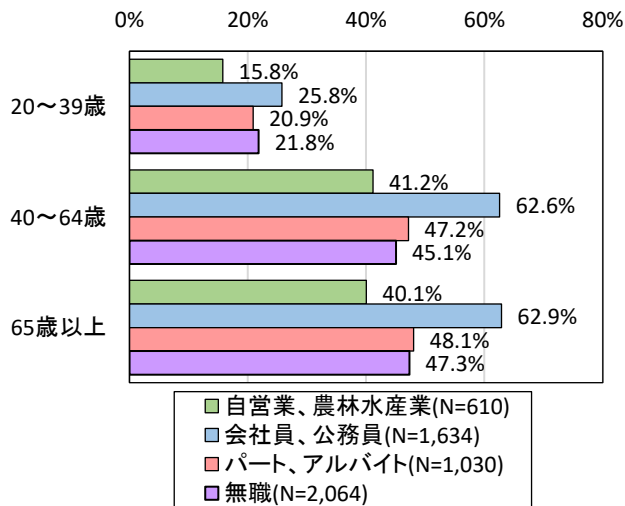


○ 年代と職業からみたがん検診の受診率は、いずれの年代でも「会社員、公務員」の割合が最も高い。特に、40歳以上で顕著。【図表4-11】

【図表4-11】年代と職業からみたがん検診の受診率

問22. あなたは、過去1年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っているがん検診（人間ドックを含む）を受診しましたか。（SA）

問31. あなたの職業をお答えください。（SA）



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●がん検診の受診率

【過去1年間】

- ・胃がん…40～69歳 全体：35.2% 〈目標値：50.0%〉
- ・肺がん…40～69歳 全体：33.7% 〈目標値：50.0%〉
- ・大腸がん…40～69歳 全体：34.8% 〈目標値：50.0%〉
- ・乳がん…40～69歳 女性：34.0% 〈目標値：50.0%〉
- ・子宮がん…20～69歳 女性：29.6% 〈目標値：50.0%〉

【過去2年間】

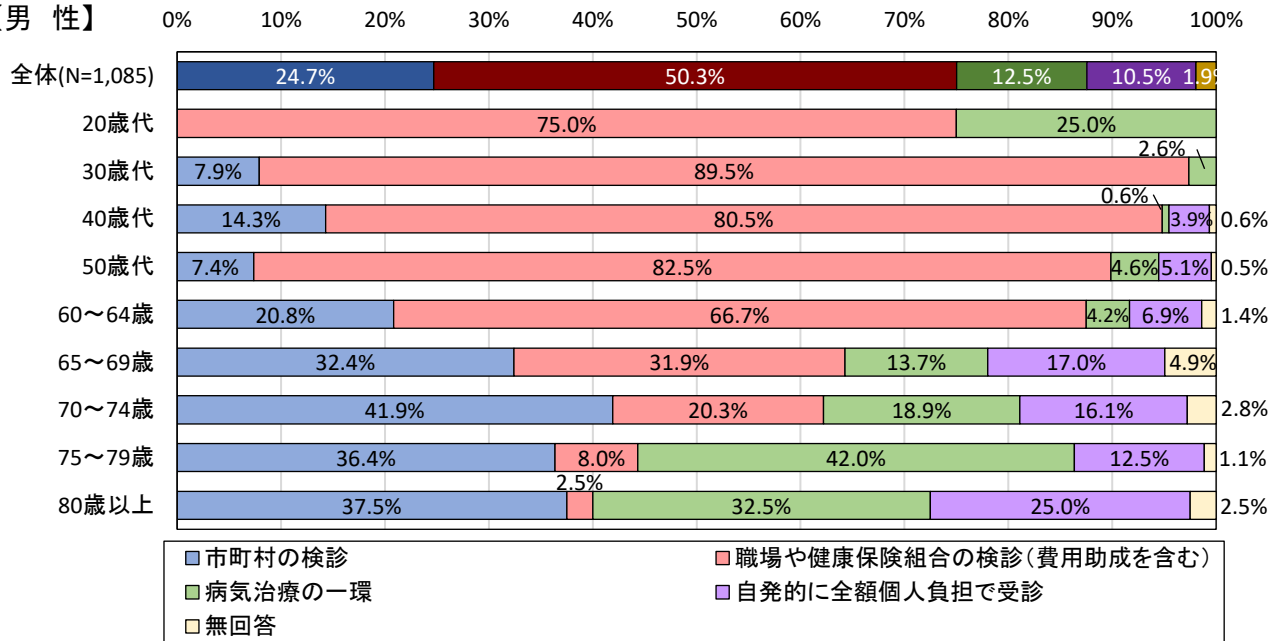
- ・乳がん…40～69歳 女性：45.5% 〈目標値：50.0%〉
- ・子宮がん…20～69歳 女性：41.9% 〈目標値：50.0%〉

- 受診したがん検診の実施主体は、男性では「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」の割合が50.3%で最も高く、女性では「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」が36.7%、「市町村の検診」が32.3%となっている。【図表4-12】
- 男女とも20～64歳では「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」の割合が最も高く、男性の65～74歳および80歳以上、女性の65～79歳では「市町村の検診」が最も高い。男性の75～79歳と女性の80歳以上では、「病気治療の一環」が最も高い。【図表4-12】

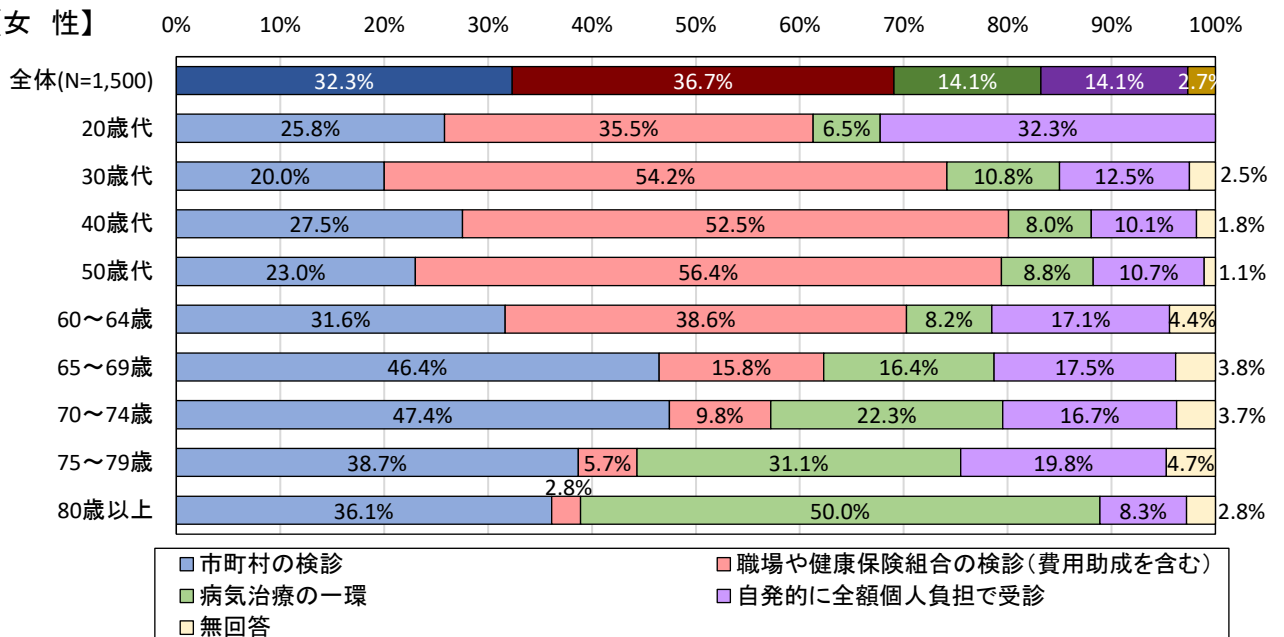
【図表4-12】 受診したがん検診の実施主体

問22-2. 主にどのがん検診を受診しましたか。(SA)

【男性】



【女性】

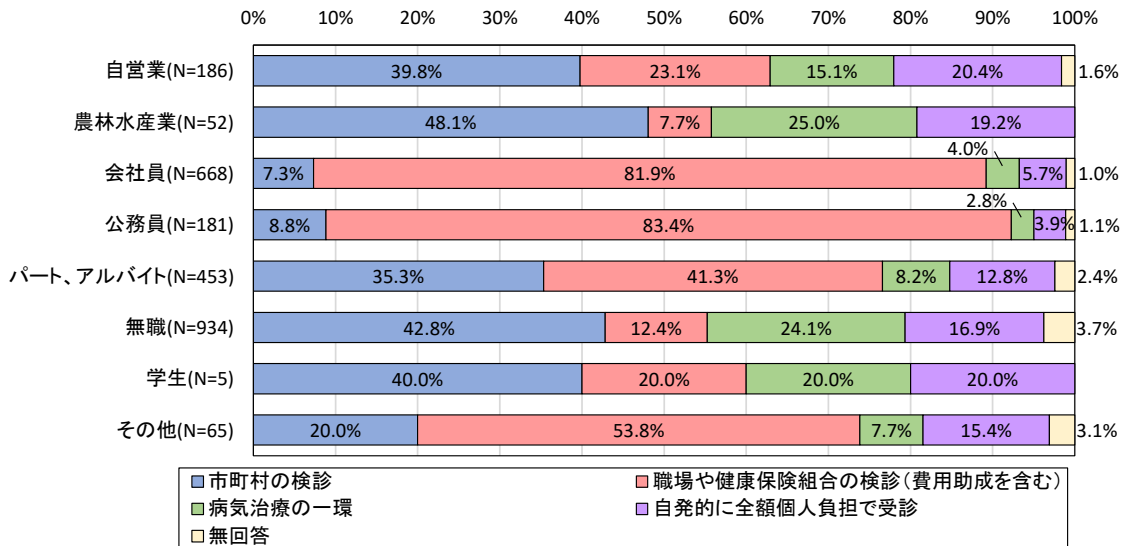


○ 職業からみた受診したがん検診の実施主体は、「会社員」「公務員」では「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」が8割台で最も高い。「パート・アルバイト」でも「職場や健康保険組合の検診（費用助成を含む）」が41.3%で最も高いが、「市町村の検診」も35.3%みられる。「自営業」「農林水産業」「無職」「学生」では「市町村の検診」が4割弱～4割台で最も高い。【図表4-13】

【図表4-13】 職業からみた受診したがん検診の実施主体

問22-2. 主にどのがん検診を受診しましたか。(SA)

問31. あなたの職業をお答えください。(SA)



- がん検診を受診しなかった理由は、男性は「健康なので必要ないと思うから」「病気で医師にかかっているから」「面倒だから」の割合が高く、女性は「時間的な余裕がないから」「健康なので必要ないと思うから」「病気で医師にかかっているから」の割合が高い。加えて、年代別でみると、男性の30～64歳では「時間的な余裕がないから」、女性の40～79歳では「面倒だから」、男性の20歳代および80歳以上、女性の20～40歳代では「費用がかかるから」の割合も高い。【図表4-14】
- 受診勧奨があった人のうち、がん検診を受診した人は約半数である一方、受診勧奨がなかった人のうち、がん検診を受診した人は約3割半にとどまっている。【図表4-15】

【図表4-14】 がん検診を受診しなかった理由（複数回答）

問22-3. あなたが、がん検診を受けなかった理由は何ですか。(MA)

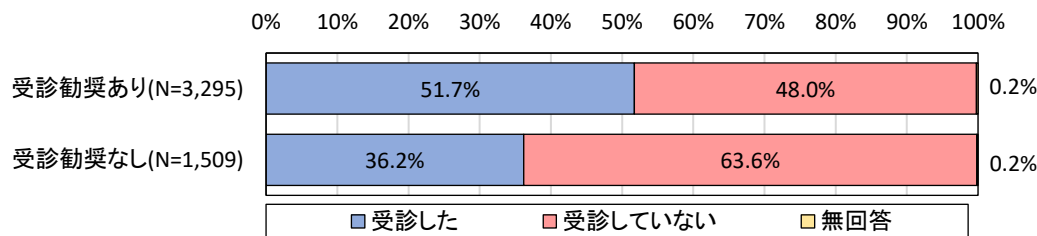
		健康診断・検診があることを知らなかったから	受診方法(場所・時間など)が分からなかったから	病気で医師にかかっているから	健康なので必要ないと思うから	結果を信用していないから	時間的な余裕がないから	面倒だから	費用がかかるから	結果を知るのが怖いから	職場で受けられないから	その他
男性	全体	6.6%	6.4%	20.3%	25.7%	0.7%	16.4%	18.8%	13.2%	5.0%	8.3%	6.0%
	20歳代	18.0%	7.3%	0.7%	41.3%	0.0%	12.0%	12.0%	14.0%	1.3%	12.0%	5.3%
	30歳代	11.4%	10.8%	4.2%	28.3%	0.6%	19.9%	16.9%	19.3%	3.6%	21.7%	6.0%
	40歳代	8.9%	13.0%	5.3%	27.8%	1.8%	38.5%	26.0%	20.1%	5.3%	8.3%	3.0%
	50歳代	5.0%	6.0%	14.5%	18.0%	0.0%	23.0%	23.0%	14.0%	3.0%	13.0%	5.5%
	60～64歳	4.1%	4.9%	22.1%	18.0%	1.6%	19.7%	23.0%	13.9%	6.6%	4.9%	4.9%
	65～69歳	2.0%	3.3%	28.8%	22.9%	1.3%	13.1%	17.0%	10.5%	3.9%	4.6%	9.2%
	70～74歳	2.3%	4.5%	36.7%	24.4%	0.0%	3.2%	19.9%	9.5%	10.4%	1.4%	8.6%
	75～79歳	3.5%	1.2%	47.1%	23.5%	1.2%	2.4%	14.1%	2.4%	5.9%	0.0%	4.7%
80歳以上	0.0%	0.0%	54.4%	29.8%	0.0%	3.5%	5.3%	5.3%	1.8%	0.0%	5.3%	
女性	全体	4.4%	5.0%	18.5%	19.6%	1.1%	22.1%	17.7%	13.0%	7.2%	6.1%	10.7%
	20歳代	18.9%	13.2%	2.1%	31.6%	0.0%	21.6%	18.4%	22.6%	3.2%	12.6%	6.8%
	30歳代	8.2%	11.3%	3.6%	21.0%	0.0%	28.7%	15.4%	24.6%	4.1%	14.4%	10.8%
	40歳代	3.4%	4.3%	6.0%	13.2%	1.3%	41.7%	25.1%	17.4%	8.5%	6.4%	14.0%
	50歳代	3.0%	3.8%	12.0%	16.2%	1.9%	29.3%	17.3%	12.4%	9.0%	6.8%	13.5%
	60～64歳	0.0%	2.0%	28.0%	16.7%	1.3%	29.3%	18.7%	8.7%	8.0%	7.3%	9.3%
	65～69歳	0.0%	2.3%	26.7%	18.2%	1.1%	11.9%	21.6%	9.1%	9.1%	1.7%	14.2%
	70～74歳	0.0%	1.2%	33.6%	22.4%	1.9%	7.3%	15.8%	5.8%	9.7%	0.8%	8.9%
	75～79歳	1.0%	2.9%	41.7%	19.4%	1.0%	5.8%	14.6%	3.9%	4.9%	0.0%	7.8%
80歳以上	3.9%	2.6%	37.7%	18.2%	0.0%	2.6%	1.3%	1.3%	3.9%	0.0%	5.2%	

※網かけは、各年代の上位3項目を示している。

【図表4-15】 がん検診の受診勧奨の有無からみたがん検診の受診状況

問22. あなたは、過去1年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っているがん検診（人間ドックを含む）を受診しましたか。(SA)

問24. あなたは、過去1年間に、市町村や職場などから、がん検診受診を勧める通知が届きましたか。(SA)



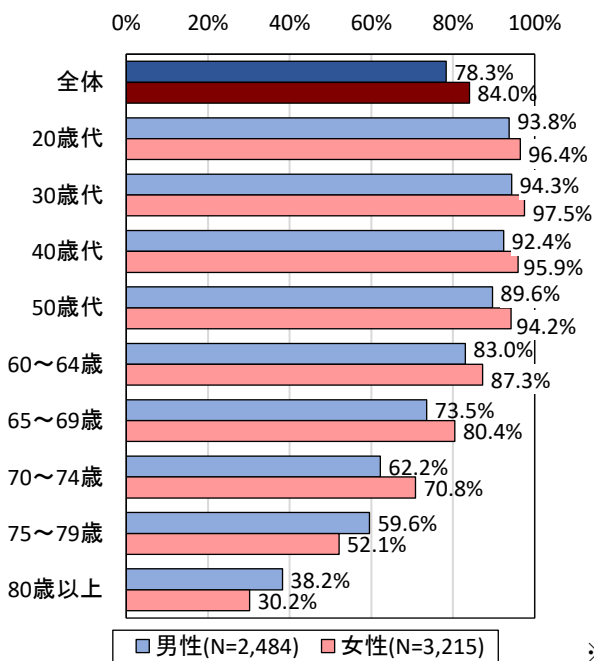
5 歯と口腔の健康

(1) 歯と口腔の状態

- 自分の歯が20本以上ある人の割合は、男性が78.3%、女性が84.0%で、女性が高い。男女とも60歳代から年代が上がるにつれ、自分の歯が20本以上ある人の割合が低くなり、80歳以上では3割台である。なお、自分の歯が20本以上ある人の割合は、男女ともこれまでの調査のうち最も高い。【図表5-1】
- 「6024達成者」の割合は、県全体が80.3%、男性が75.6%、女性が83.8%を占めている。男性はこれまでの調査のうち最も高く、女性は昨年度調査に比べてわずかに減少している。【図表5-1】
- 「8020達成者」の割合は、県全体が49.6%、男性が52.6%、女性が47.3%を占めている。男性はこれまでの調査のうち最も高く、初めて5割を超えた。女性は昨年度調査に比べて減少している。【図表5-1】

【図表5-1】 自分の歯が20本以上ある人の割合

問9. あなたの歯は何本ありますか。(J)



◆60歳（55～64歳）で自分の歯が24本以上ある「6024達成者」の割合

全体：80.3% 男性：75.6% 女性：83.8%

◆80歳（75～84歳）で自分の歯が20本以上ある「8020達成者」の割合

全体：49.6% 男性：52.6% 女性：47.3%

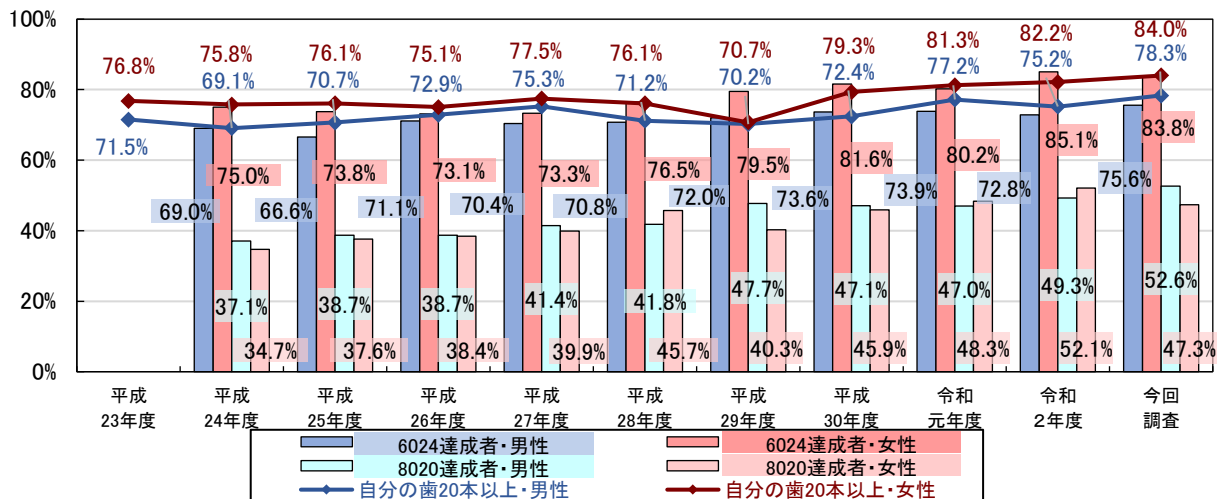
《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

- 60歳で24本以上の自分の歯がある人の割合
…全体：80.3% <目標値：76.5%
- 80歳で20本以上の自分の歯がある人の割合
…全体：49.6% <目標値：55.0%

※本調査は、「6024達成者」は55～64歳全体、「8020達成者」は75～84歳全体の値

※「自分の歯」には、治療してかぶせた歯やさし歯は含むが、入れ歯は含まない。

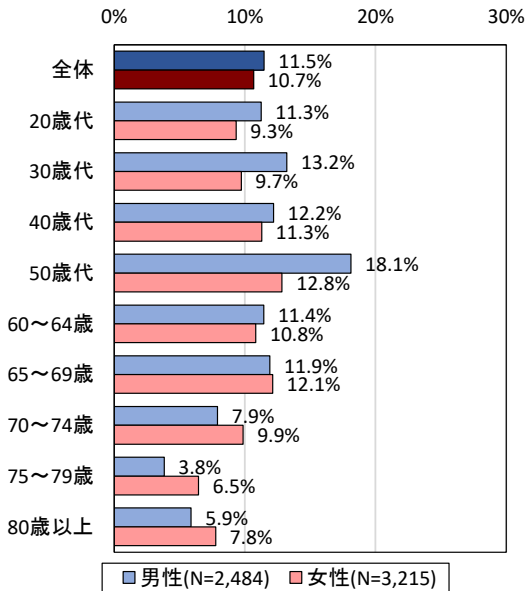
《過去の調査との比較》



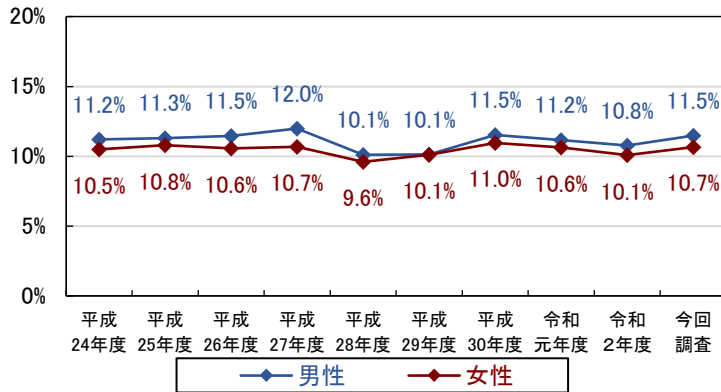
- 歯ぐきの腫れがある人の割合は、男性が11.5%、女性が10.7%で、あまり差がない。男性50歳代で18.1%と高くなっている。男女とも20～50歳代では男性の方が高く、60歳代では男女差がなく、70歳以上では女性の方が高くなっている。なお、男女ともに昨年度の調査に比べ、微増となっている。【図表5-2】
- 定期的な歯科検診の受診状況からみた歯ぐきの腫れの状況は、歯科検診の受診状況による大差はない。【図表5-3】

【図表5-2】 歯ぐきの腫れがある人の割合

問11-①. 歯ぐきが腫れていますか。(SA)



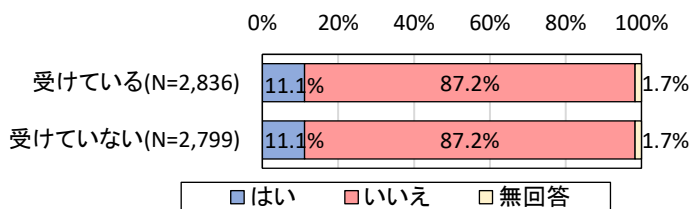
《過去の調査との比較》



【図表5-3】 定期的な歯科検診の受診状況からみた歯ぐきの腫れの状況

問11-①. 歯ぐきが腫れていますか。(SA)

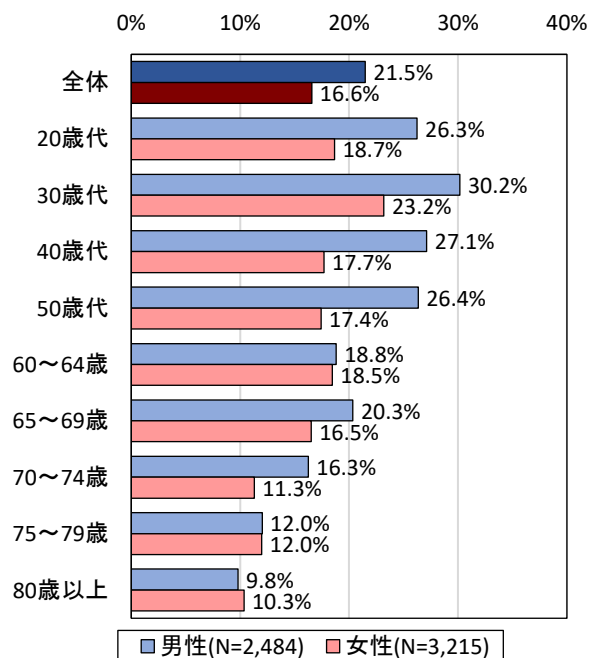
問12. あなたは、定期的（1年に1回以上）に歯の検診を受けていますか。(SA)



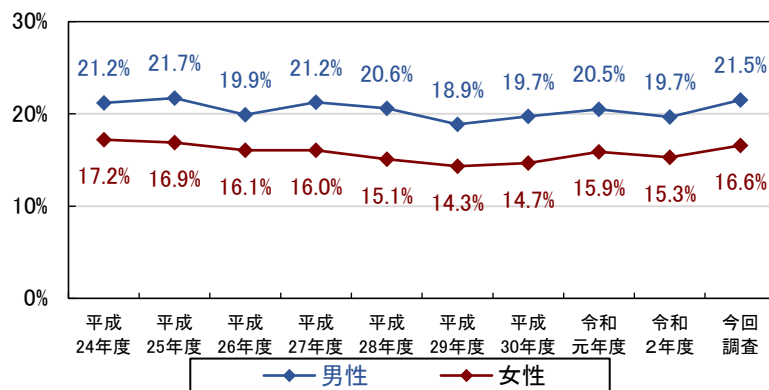
○ 歯をみがいたときに出血がある人の割合は、男性が21.5%、女性が16.6%で、男性が高い。20～74歳では、男性が女性に比べて高いが、60～64歳では差がほとんどない。なお、男女ともに昨年度の調査に比べて、わずかに増加している。【図表5-4】

【図表5-4】 歯をみがいたときに出血する人の割合

問11-②. 歯をみがいたときに血が出ますか (SA)



《過去の調査との比較》



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●20歳代で歯肉に炎症所見がある人の割合…24.9% (目標値: 21.0%)

※本調査は、20歳代で歯ぐきに腫れがある人又は歯みがき時に出血がある人の合計

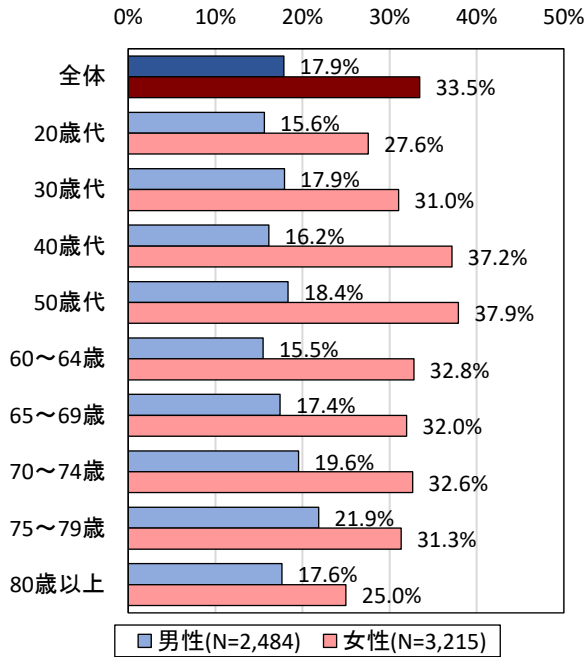
(2) 歯と口腔の健康づくり

- 1日に3回以上歯みがきする人の割合は、男性が17.9%、女性が33.5%で、女性が高い。いずれの年代も女性が男性に比べて高い。なお、昨年度の調査に比べて、男女ともわずかに増加している。

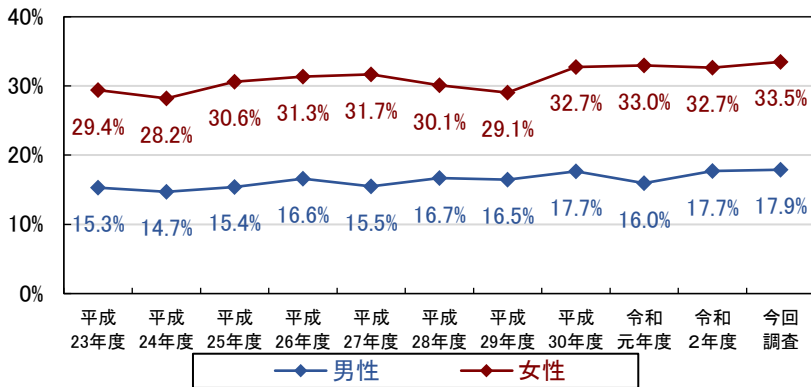
【図表5-5】

【図表5-5】 1日に3回以上歯みがきする人の割合

問10. あなたは、1日に何回歯をみがきますか。(J)



《過去の調査との比較》



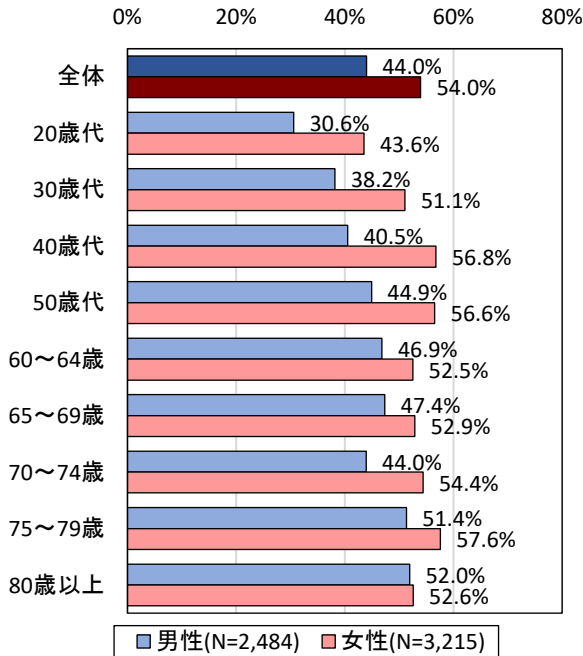
《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

- 1日2回以上歯みがきを行い、毎年歯科医師によるチェックを受けている人の割合
 …65歳以上全体：43.0%〈目標値：41.9%〉

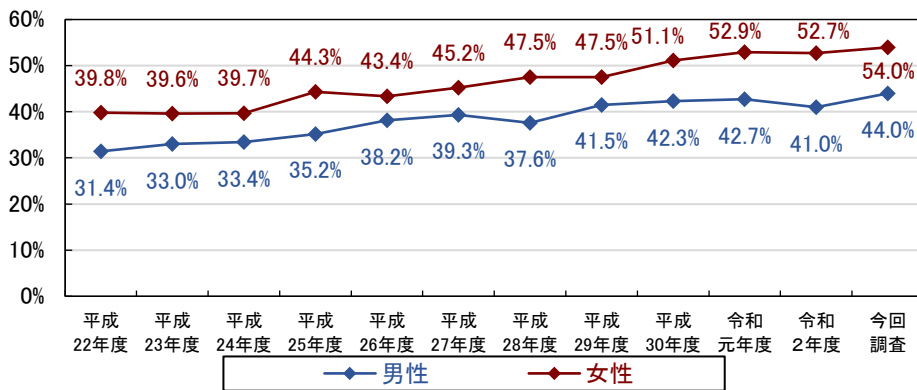
○ 定期的に歯科検診を受診している人の割合は、男性が44.0%、女性が54.0%で、女性が高い。いずれの年代も、女性が男性に比べて高いが、80歳以上ではほとんど差がない。なお、昨年度の調査に比べて、男女ともに増加した。【図表5-6】

【図表5-6】定期的に（1年に1回以上）歯科検診を受診している人の割合

問12. あなたは、定期的（1年に1回以上）に歯の検診を受けていますか。(SA)



《過去の調査との比較》



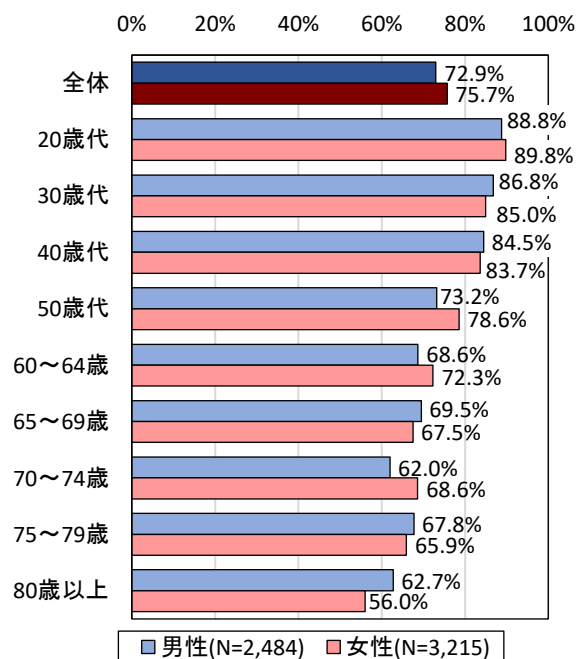
《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

- 歯科医師による定期的なチェック（1年に1回）を受けている人の割合
 - …20歳以上男性：44.0%〈目標値：50.0%〉
 - …20歳以上女性：54.0%〈目標値：50.0%〉

○ 何でも嚙んで食べることができる人の割合は、男性が72.9%、女性が75.7%で、女性が高い。また、男女ともに20～40歳代までは8割台、男性50歳代と女性50～64歳では7割台となっている。女性80歳以上で5割台と低くなっている。【図表5-7】

【図表5-7】 何でも嚙んで食べることができる人の割合

問13. 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(SA)



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●60歳代で咀嚼が良好な人の割合 … 69.5% <目標値 : 71.2%>

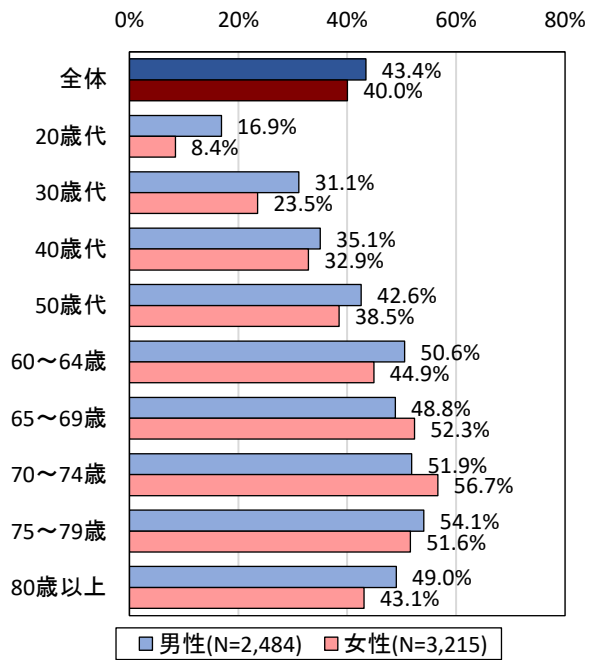
6 地域との関わりについて（社会資本・ソーシャルキャピタル）

（1）社会参加の状況

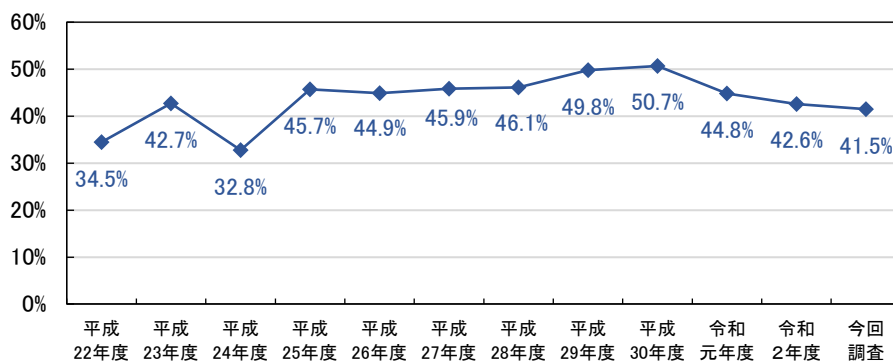
- 地域や組織での活動に「参加している」人の割合は、男性が43.4%、女性が40.0%で、男性が高い。65～74歳では女性の方が高くなっているが、その他の年代では男性の方が高い。また、男女とも60～70歳代での参加率が高く、5割前後となっている。なお、県全体の割合は、平成30年度以降減少傾向が続いており、平成25年度以降で最も低い。【図表6-1】

【図表6-1】 地域や組織での活動に「参加している」人の割合

問25. あなたは、地域や組織での活動に参加していますか。(SA)



《過去の調査との比較》



※各年度とも県全体の値

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

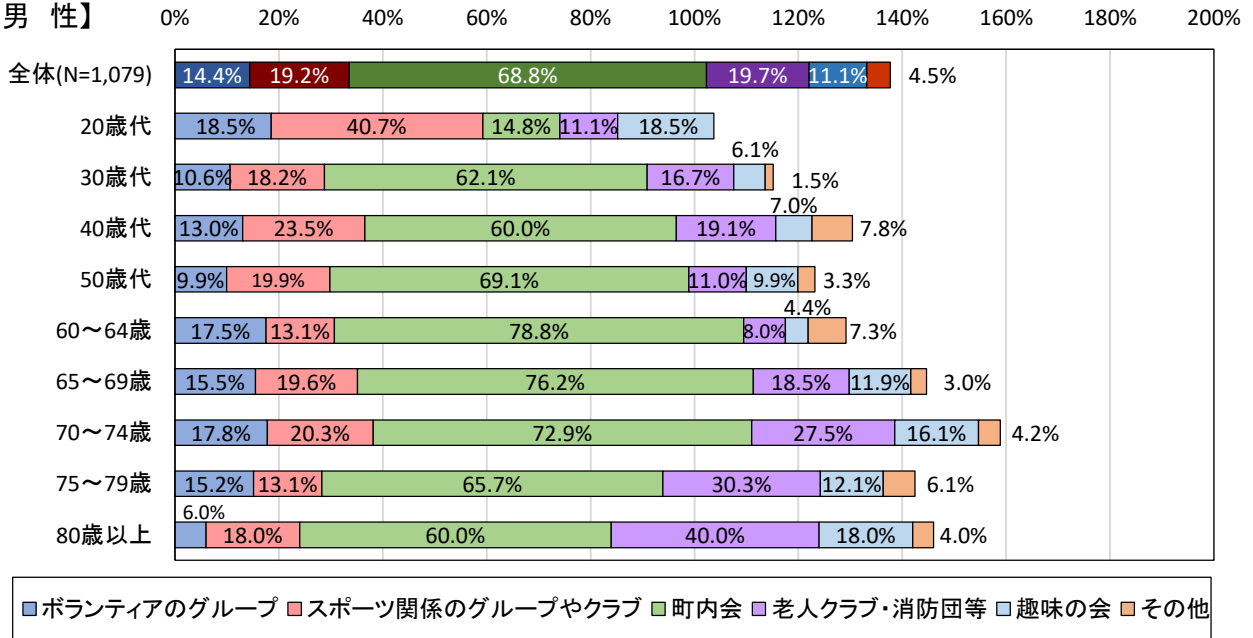
- 地域活動参加率…全体 : 41.5% (目標値 : 54.8%)

○ 参加している組織や会の活動内容は、男女ともに「町内会」が最も高く、男性が68.8%、女性が55.9%を占めている。男性20歳代では「スポーツ関係のグループやクラブ」、女性80歳以上では「老人クラブ・消防団等」が最も高いが、その他の年代ではいずれも「町内会」が最も高い。【図表6-2】

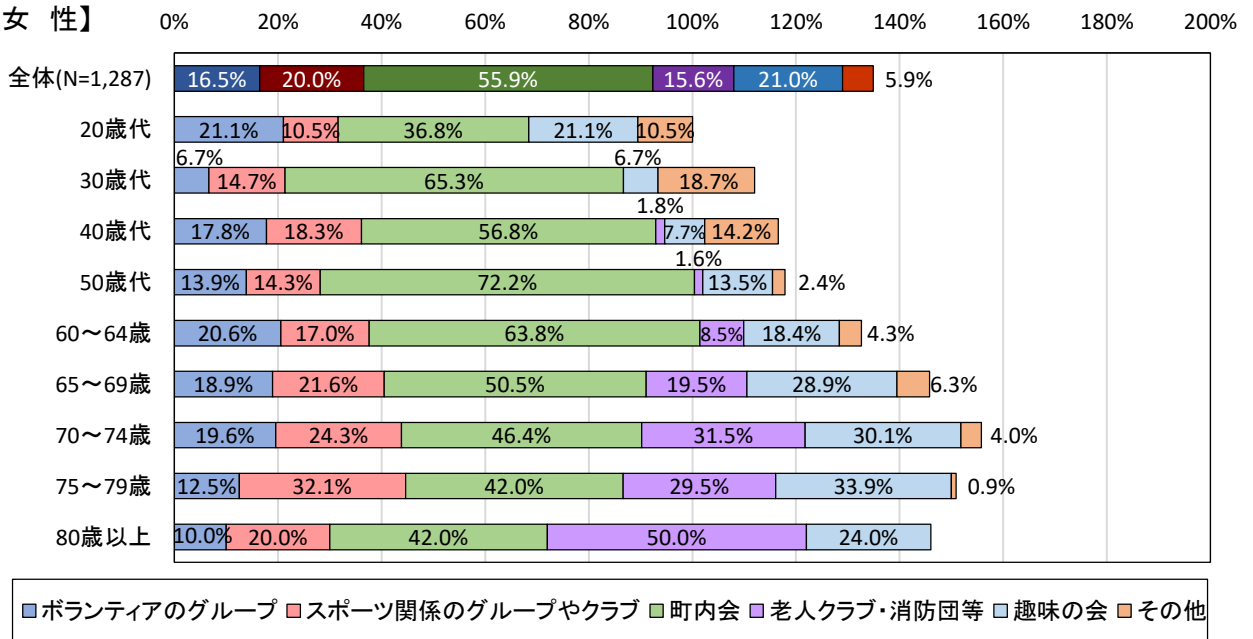
【図表6-2】 参加している組織や会の活動内容（複数回答）

問25-1. あなたは、どういう組織や会に入っていますか。（MA）

【男性】



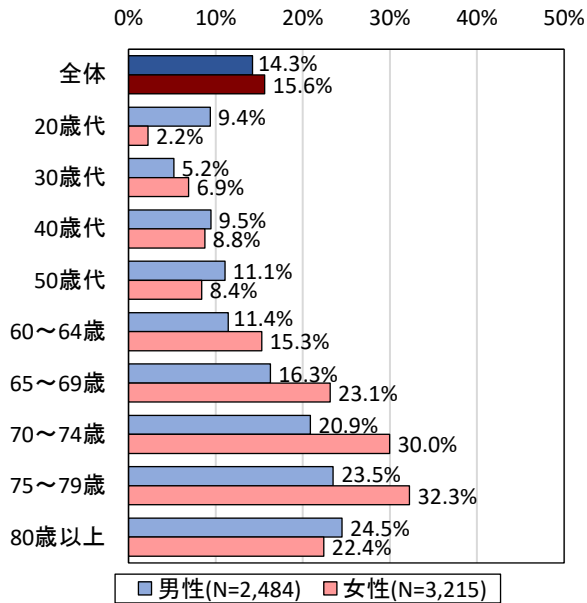
【女性】



○ 会や組織での活動に健康づくりを目的としたものが含まれている割合は、男性が14.3%、女性が15.6%で、女性が男性に比べてやや高い。男性20歳代を除いて、20歳代から79歳までは、年代が上がるにつれて、参加率が高くなる傾向にある。30歳代と60～79歳では、女性の参加率が男性より高い。なお、県全体の割合は、平成29年度以降減少傾向が続いており、調査開始以降、最も低い。【図表6-3】

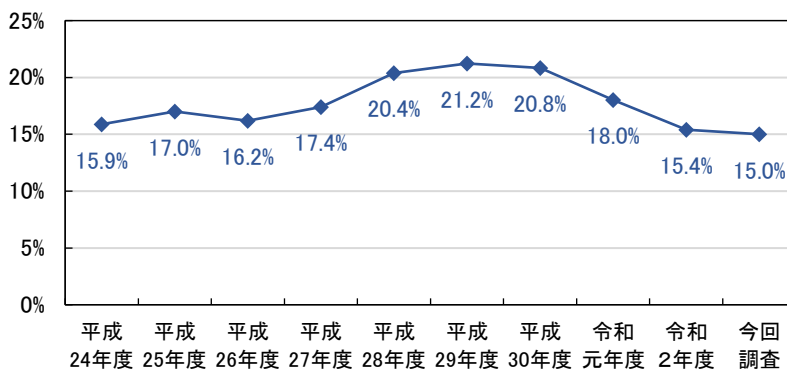
【図表6-3】 会や組織での活動に健康づくりを目的としたものが含まれる割合

問25-5. これらの活動には、健康づくりを目的としたものが含まれますか。(SA)



※集計母数は、本調査全体の集計母数とした。

《過去の調査との比較》



※各年度とも県全体の値

※集計母数は、本調査全体の集計母数とした。

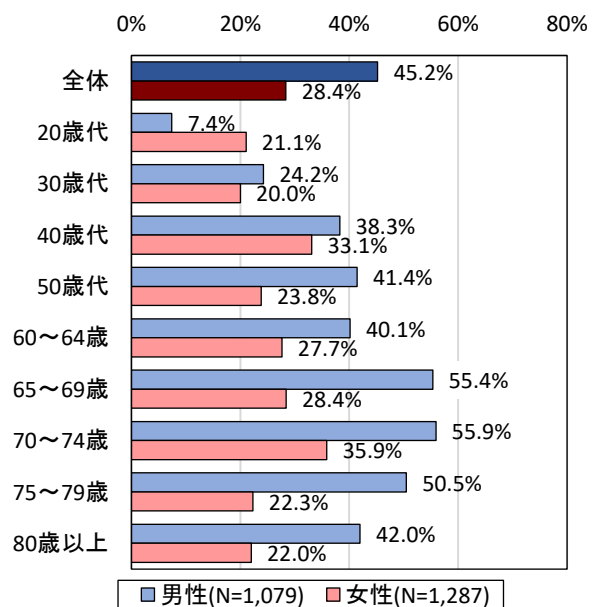
《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている人の割合…全体：15.0%〈目標値：23.3%〉

○ 会や組織での活動で役員を務めている人の割合は、男性が45.2%、女性が28.4%で、男性が高い。20歳代以外は男性が高くなっており、特に50歳以上で男女差が大きい。男性65～79歳で5割台と高くなっている。【図表6-4】

【図表6-4】 会や組織での活動で役員を務めている人の割合

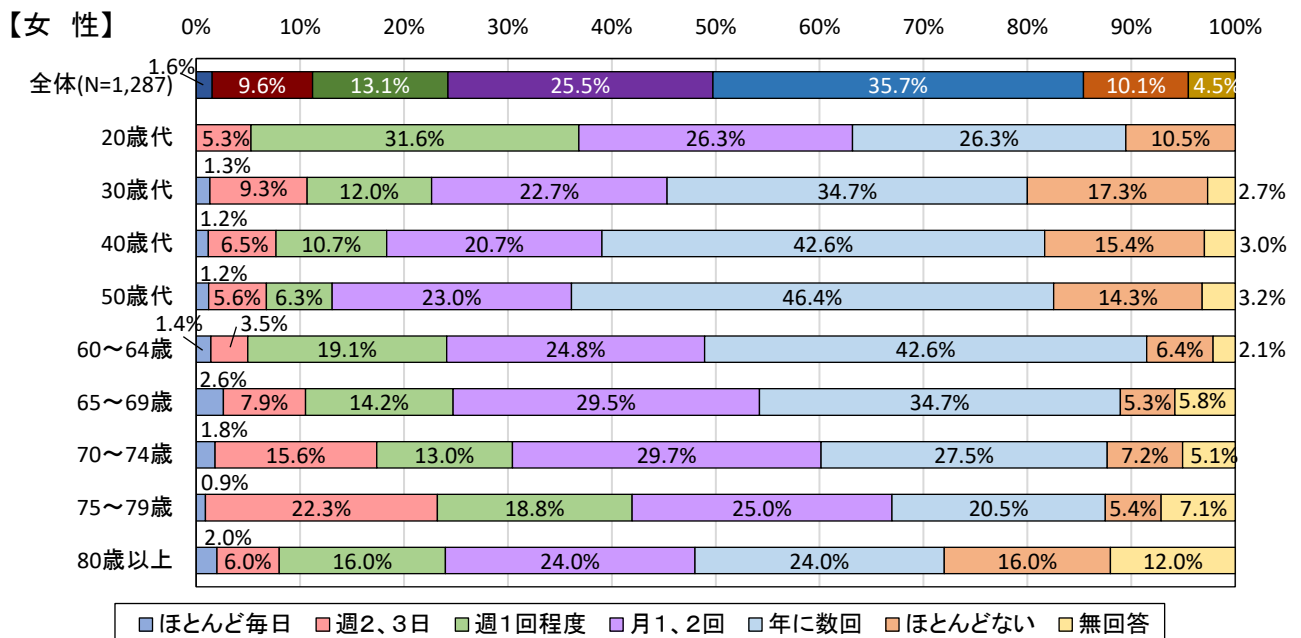
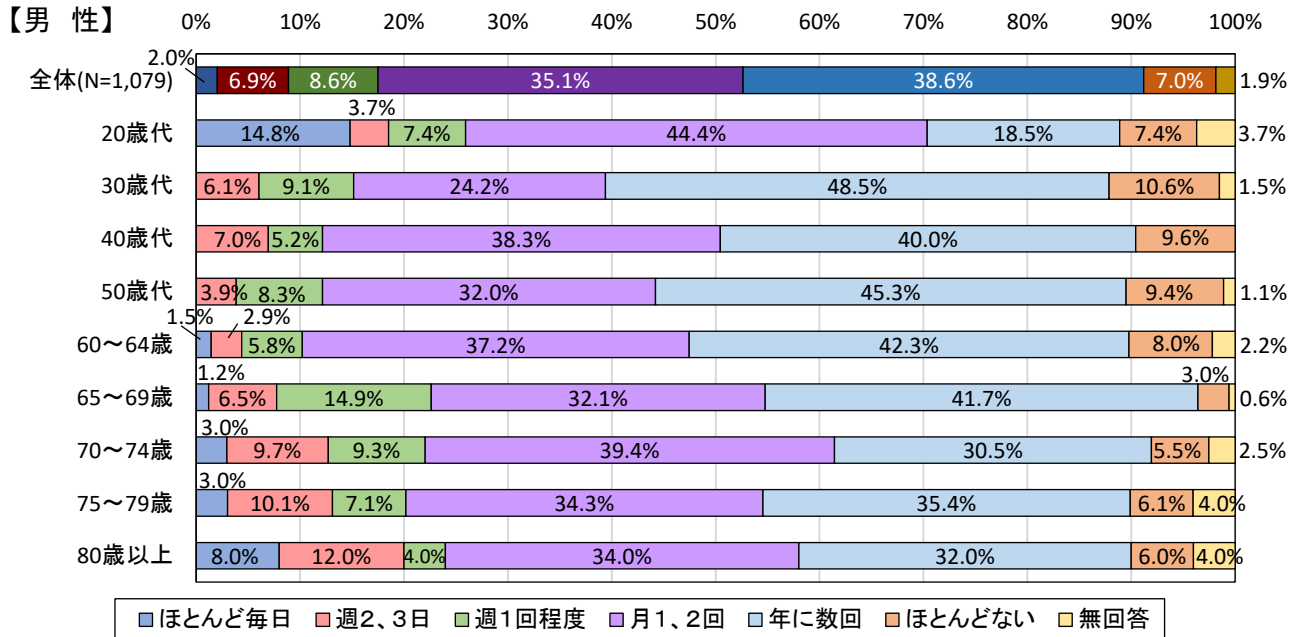
問25-2. これらの活動で、会長・世話役・会計係などの役員をしていますか。(SA)



- 会や組織での活動への出席頻度は、男女とも「年に数回」の割合が最も高く、男性で38.6%、女性で35.7%となっている。男性では、「月1、2回」も35.1%と高い。【図表6-5】
- 男女20歳代、男性70～74歳、女性は70～79歳で、月に1回以上出席している割合が約6～7割となり、他の年代より高くなっている。【図表6-5】

【図表6-5】 会や組織での活動への出席頻度

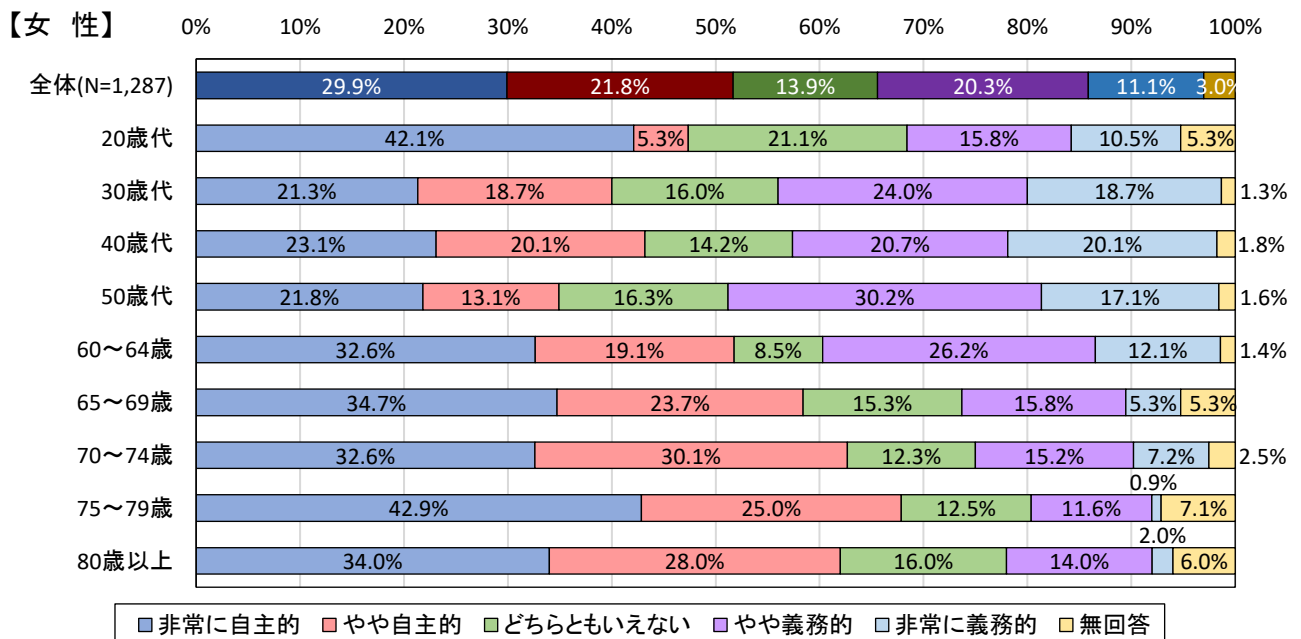
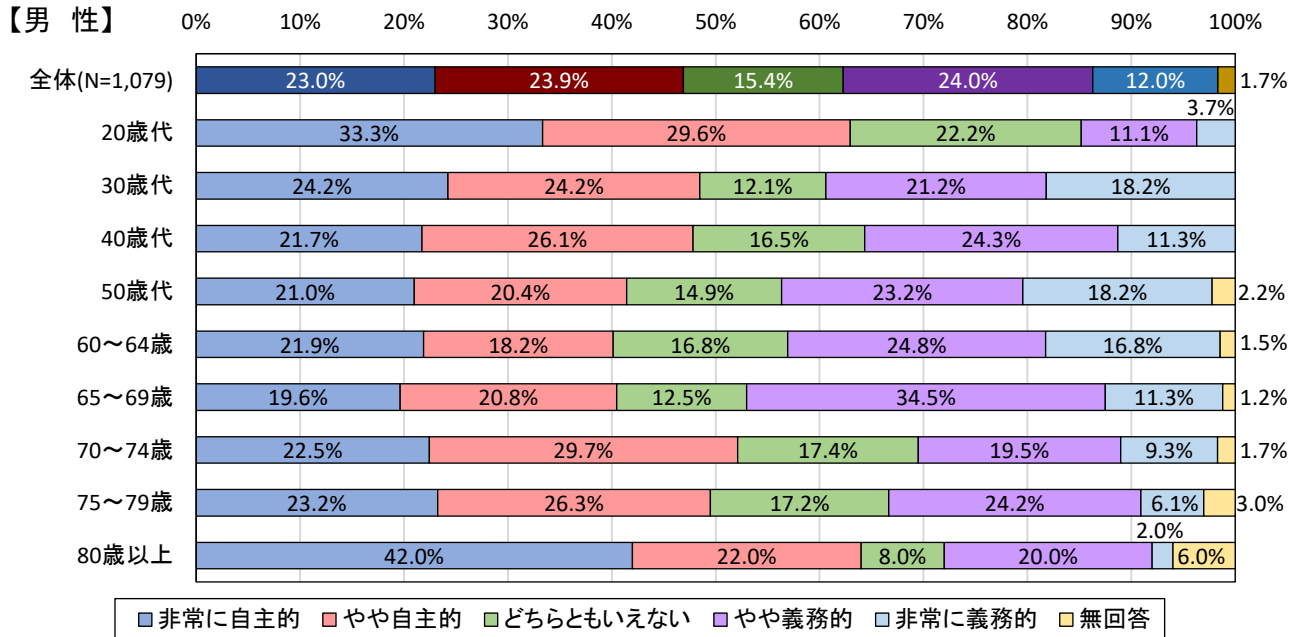
問25-3. これらの活動の出席頻度は、どれくらいですか。(SA)



○ 会や組織での活動への参加姿勢で「非常に自主的」と「やや自主的」を合計した割合は、男性が46.9%、女性が51.7%で、女性が高く、男性は20歳代および80歳以上、女性は70歳以上で6割台と高くなっている。一方、「非常に義務的」と「やや義務的」を合計した割合は、男性が36.0%、女性が31.4%で、男性が高く、男性は50～69歳、女性は30～50歳代で4割台と高くなっている。【図表6-6】

【図表6-6】 会や組織での活動への参加姿勢

問25-4. これらの活動への参加は自主的なものですか、それとも義務的なものですか。(SA)



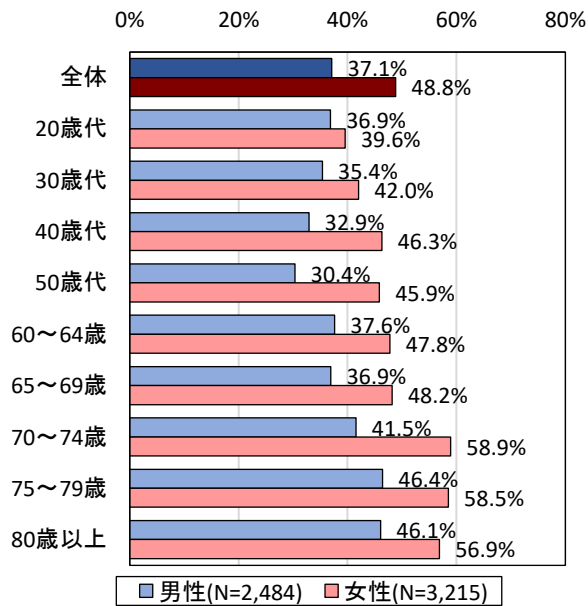
(2) つきあい・交流、信頼の状況

- 近所で信頼して相談できる人が「いる」人の割合は、男性が37.1%、女性が48.8%で、女性が高い。いずれの年代でも、女性が男性に比べて高く、40歳以上では、男女間で10ポイント以上の差がある。

【図表6-7】

【図表6-7】 近所で信頼して相談できる人が「いる」人の割合

問26. あなたは、近所で信頼して相談できる人がいますか。(SA)



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

- 近所で信頼して相談できる人が「いる」人の割合
…全体 : 43.7% < 目標値 : 55.0%

7 新型コロナ感染症流行の影響について

(1) 感染拡大前後の変化

- 感染拡大前は、全項目男女とも「8点」の割合が最も高く、「体調の満足度」が3割強、「仕事の満足度」が23.9%、「社会とのつながりの満足度」が2割台後半、「生活の楽しさ・おもしろさの満足度」「生活全体の満足度」が3割前後となっている。
- 感染影響下は、「体調の満足度」を除く4項目で男女とも「5点」の割合が最も高く、「仕事の満足度」が1割台後半、「社会とのつながりの満足度」が2割半ば、「生活の楽しさ・おもしろさの満足度」「生活全体の満足度」で2割強となっている。
- 男女とも感染拡大前より感染影響下の方が平均点が低い。
- 男女とも「コロナ以外の要因あり」の方が「コロナ以外の要因なし」と比較して平均点の低下が大きい。
- 全数の平均点の低下幅は、男女とも「生活の楽しさ・おもしろさの満足度」(男性:▲1.96、女性:▲2.45)、「社会とのつながりの満足度」(男性:▲1.82、女性:▲2.17)、「生活全体の満足度」(男性:▲1.61、女性:▲1.95)、「仕事の満足度」(男性:▲1.31、女性:▲1.29)、「体調の満足度」(男性:▲0.93、女性:▲1.13)の順で大きく、この順序は「コロナ以外の要因あり」「コロナ以外の要因なし」においても同様。
【図表7-1】

【図表7-1】感染拡大前後の得点

問1.「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、①新型コロナ感染症拡大前、②感染症の影響下、それぞれ何点くらいになると思いますか。(SA)

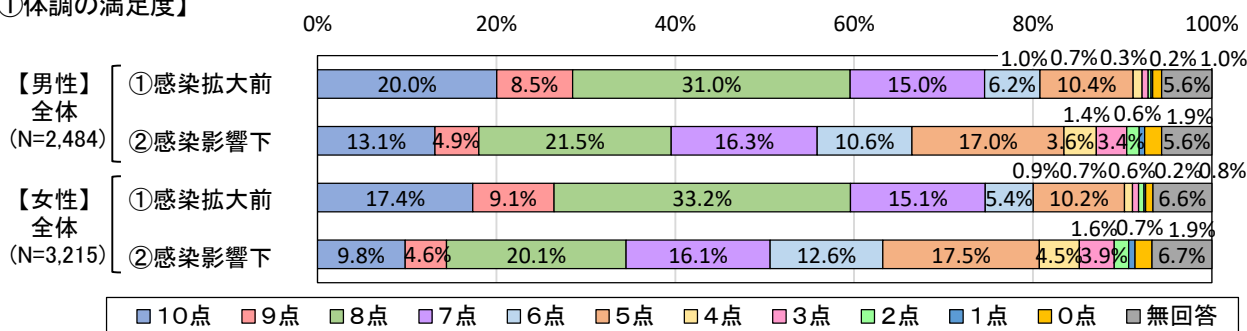
【各項目の平均点及び低下幅(全体)】

※差分の網掛けは、■は1以上2未満、■は2以上

項目	平均点 又は 低下幅		男性						女性									
			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし			全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし			
	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値
①体調の満足度	7.69	6.76	0.93	7.17	5.73	1.44	7.96	7.24	0.72	7.67	6.54	1.13	7.26	5.73	1.53	7.96	7.09	0.87
②仕事の満足度	7.24	5.93	1.31	6.96	5.15	1.81	7.42	6.38	1.04	7.24	5.95	1.29	6.83	5.16	1.67	7.44	6.34	1.10
③社会とのつながりの満足度	7.30	5.48	1.82	7.06	4.84	2.22	7.42	5.74	1.68	7.42	5.25	2.17	7.17	4.72	2.45	7.57	5.50	2.07
④生活の楽しさ・おもしろさの満足度	7.52	5.56	1.96	7.24	4.96	2.28	7.70	5.85	1.85	7.61	5.16	2.45	7.32	4.83	2.49	7.82	5.36	2.46
⑤生活全体の満足度	7.46	5.85	1.61	7.11	5.22	1.89	7.67	6.21	1.46	7.55	5.60	1.95	7.24	5.19	2.05	7.82	5.91	1.91

- 「体調の満足度」の平均点は、男性では、感染拡大前が7.69、感染影響下が6.76で、0.93ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.17と低いが、低下幅も1.44ポイントと大きく、特に70～74歳で1.77ポイントと最も大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.96と高く、低下幅も0.72ポイントと小さめで、年代別にみても、80歳以上を除いて低下幅はいずれも1ポイント未満。
- 女性では、感染拡大前が7.67、感染影響下が6.54で、1.13ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.26と低いが、低下幅が1.53ポイントと大きく、特に80歳以上で2.29ポイントと最も大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.96と高く、低下幅も0.87ポイントと小さめで、年代別にみても、65～69歳及び80歳以上を除いて低下幅はいずれも1ポイント未満。
- 全数の平均点は男性が0.93ポイント低下、女性が1.13ポイント低下と、女性の方が大きく低下している。コロナ以外の要因なしの層でも、男性が0.72ポイント低下、女性が0.87ポイント低下と女性の方が低下幅が大きい。
- 男女とも、感染拡大前から感染影響下の低下幅が、5項目の中で最も小さい。【図表7-1-①】

【①体調の満足度】

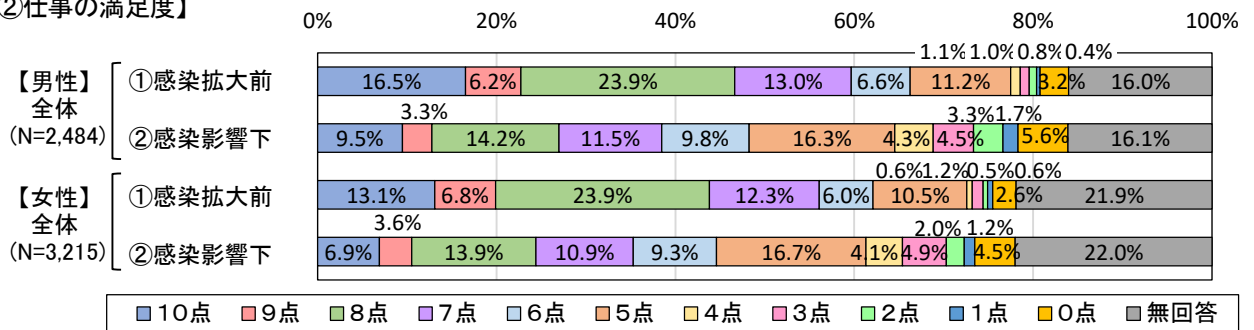


※差分の網掛けは、■は1以上2未満、■は2以上

平均点	男性									女性								
	全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし			全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし		
	①感染拡大前	②感染影響下	①-②の値	①感染拡大前	②感染影響下	①-②の値	①感染拡大前	②感染影響下	①-②の値	①感染拡大前	②感染影響下	①-②の値	①感染拡大前	②感染影響下	①-②の値	①感染拡大前	②感染影響下	①-②の値
全体	7.69	6.76	0.93	7.17	5.73	1.44	7.96	7.24	0.72	7.67	6.54	1.13	7.26	5.73	1.53	7.96	7.09	0.87
20歳代	8.18	7.69	0.49	7.45	6.42	1.03	8.42	8.09	0.33	8.00	7.02	0.98	7.14	5.54	1.60	8.45	7.73	0.72
30歳代	7.57	6.98	0.59	6.88	5.62	1.26	7.89	7.53	0.36	7.95	7.06	0.89	7.29	5.80	1.49	8.30	7.75	0.55
40歳代	7.67	6.75	0.92	7.11	5.43	1.68	7.90	7.29	0.61	7.62	6.70	0.92	7.16	5.85	1.31	7.88	7.18	0.70
50歳代	7.71	6.67	1.04	7.16	5.70	1.46	7.94	7.11	0.83	7.72	6.54	1.18	7.30	5.77	1.53	8.03	7.04	0.99
60～64歳	7.46	6.75	0.71	6.90	5.89	1.01	7.76	7.18	0.58	7.49	6.37	1.12	7.20	5.90	1.30	7.66	6.79	0.87
65～69歳	7.66	6.66	1.00	7.27	5.83	1.44	7.92	7.06	0.86	7.70	6.35	1.35	7.32	5.69	1.63	7.97	6.85	1.12
70～74歳	7.84	6.66	1.18	7.49	5.72	1.77	8.04	7.12	0.92	7.65	6.39	1.26	7.32	5.75	1.57	7.85	6.86	0.99
75～79歳	7.56	6.55	1.01	7.00	5.49	1.51	7.88	7.17	0.71	7.40	6.15	1.25	7.21	5.51	1.70	7.74	6.86	0.88
80歳以上	7.43	6.28	1.15	6.86	5.93	0.93	7.85	6.67	1.18	6.89	5.14	1.75	7.17	4.88	2.29	6.68	5.43	1.25

- 「仕事の満足度」の平均点は、男性では、感染拡大前が7.24、感染影響下が5.93で、1.31ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が6.96と低いが、低下幅も1.81ポイントと大きく、特に30歳代及び70歳代で2ポイントを超え大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.42と高く、低下幅は1.04ポイントと小さくなっている。年代別にみると、低下幅は50歳代で1.26と最も高い。
- 女性では、感染拡大前が7.24、感染影響下が5.95で、1.29ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が6.83と低いが、低下幅も1.67ポイントと大きく、50歳代で2.02ポイントと最も大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.44と高く、低下幅は1.10ポイントと小さめ。年代別にみると、低下幅は75～79歳で1.32ポイントと最も大きい。
- 全数の平均点は男性が1.31ポイント低下、女性が1.29ポイント低下と、男性の方が低下幅がわずかに大きい。コロナ以外の要因なしの層では、男性が1.04ポイント低下、女性が1.10ポイント低下と女性の方がやや低下幅が大きい。
- 全数の低下幅は、他の4項目では女性の方が大きい、この項目のみ男性の方が大きい。【図表7-1-②】

【②仕事の満足度】

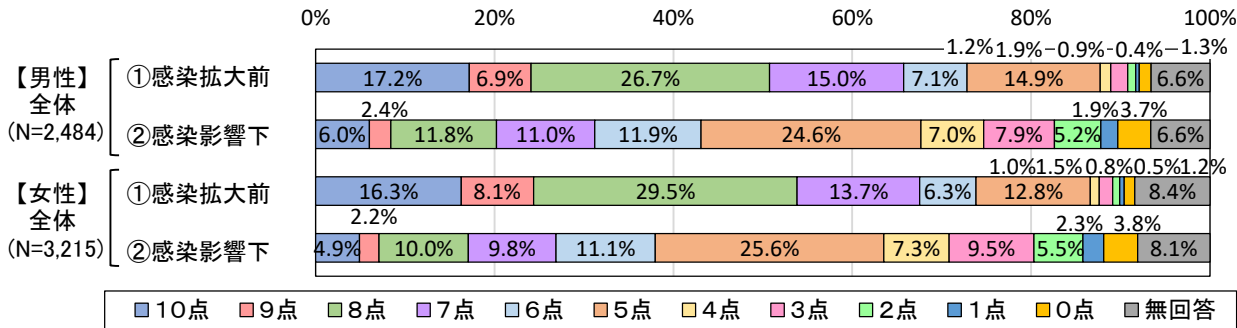


※差分の網掛けは、■は1以上2未満、■は2以上

平均点	男性									女性								
	全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし			全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし		
	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値
全体	7.24	5.93	1.31	6.96	5.15	1.81	7.42	6.38	1.04	7.24	5.95	1.29	6.83	5.16	1.67	7.44	6.34	1.10
20歳代	7.36	6.37	0.99	6.96	5.62	1.34	7.57	6.93	0.64	7.10	5.95	1.15	6.43	5.00	1.43	7.48	6.44	1.04
30歳代	7.01	5.92	1.09	6.57	4.54	2.03	7.38	6.83	0.55	7.02	5.92	1.10	6.36	4.98	1.38	7.33	6.42	0.91
40歳代	7.18	5.88	1.30	6.81	5.18	1.63	7.43	6.29	1.14	7.34	6.23	1.11	6.87	5.23	1.64	7.52	6.59	0.93
50歳代	7.36	5.81	1.55	7.02	5.06	1.96	7.61	6.35	1.26	7.38	5.85	1.53	7.09	5.07	2.02	7.57	6.31	1.26
60～64歳	7.18	5.94	1.24	6.45	5.00	1.45	7.50	6.39	1.11	7.51	6.15	1.36	7.22	5.63	1.59	7.63	6.42	1.21
65～69歳	7.20	6.07	1.13	7.20	5.60	1.60	7.28	6.31	0.97	7.28	5.84	1.44	6.97	5.09	1.88	7.38	6.21	1.17
70～74歳	7.53	6.06	1.47	7.48	5.21	2.27	7.60	6.48	1.12	7.12	5.89	1.23	6.70	5.31	1.39	7.34	6.15	1.19
75～79歳	6.85	5.59	1.26	7.00	4.88	2.12	6.73	5.72	1.01	7.30	6.09	1.21	6.70	5.30	1.40	7.70	6.38	1.32
80歳以上	6.67	5.15	1.52	7.00	5.11	1.89	6.28	5.11	1.17	5.61	4.65	0.96	6.32	4.68	1.64	4.79	4.48	0.31

- 「社会とのつながりの満足度」の平均点は、男性では、感染拡大前が7.30、感染影響下が5.48で、1.82ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.06と低いが、低下幅も2.22ポイントと大きい。最も低下幅が大きいのは70～74歳の2.64ポイントだが、全体的にみると50歳代以下で低下幅が大きい傾向である。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.42とやや高く、低下幅は1.68ポイントと小さめ。年代別にみると、低下幅は40歳代で1.82ポイントと最も高い。
- 女性では、感染拡大前が7.42、感染影響下が5.25で、2.17ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.17と低いが、低下幅も2.45ポイントと大きく、特に20歳代、30歳代、50歳代及び65～69歳で2.50ポイントを超え大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.57と高く、低下幅は2.07ポイントと小さめ。年代別にみると、低下幅は65～69歳及び75～79歳で2.28ポイントと最も大きい。
- 全数の平均点は男性が1.82ポイント低下、女性が2.17ポイント低下と、女性の方が大きく低下している。コロナ以外の要因なしの層でも、男性が1.68ポイント低下、女性が2.07ポイント低下と女性の方が低下幅が大きい。【図表7-1-③】

【③社会とのつながりの満足度】

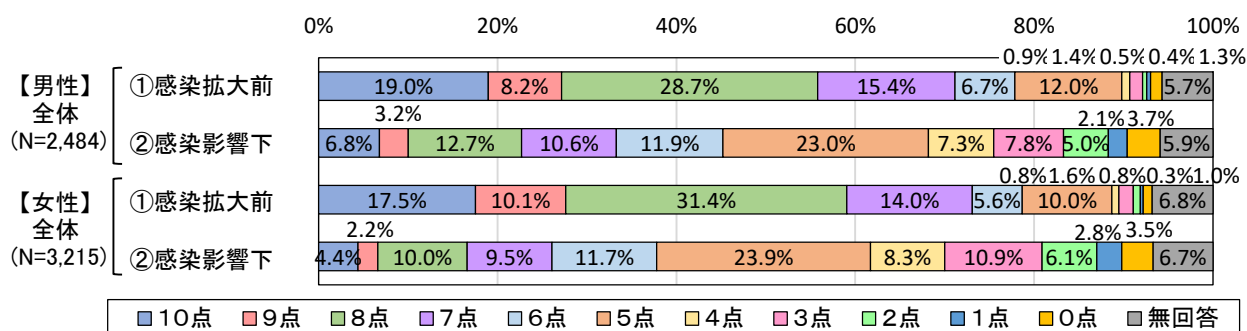


※差分の網掛けは、■は1以上2未満、■は2以上

平均点	男性									女性								
	全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし			全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし		
	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値
全体	7.30	5.48	1.82	7.06	4.84	2.22	7.42	5.74	1.68	7.42	5.25	2.17	7.17	4.72	2.45	7.57	5.50	2.07
20歳代	7.55	5.65	1.90	7.04	4.81	2.23	7.77	6.04	1.73	7.42	5.29	2.13	7.33	4.75	2.58	7.48	5.52	1.96
30歳代	7.11	5.34	1.77	7.00	4.68	2.32	7.24	5.62	1.62	7.48	5.21	2.27	7.03	4.44	2.59	7.67	5.54	2.13
40歳代	7.17	5.29	1.88	6.86	4.70	2.16	7.31	5.49	1.82	7.37	5.43	1.94	7.13	5.01	2.12	7.46	5.51	1.95
50歳代	7.38	5.49	1.89	7.28	4.80	2.48	7.43	5.83	1.60	7.55	5.40	2.15	7.30	4.72	2.58	7.76	5.75	2.01
60～64歳	7.19	5.59	1.60	6.63	4.74	1.89	7.50	6.08	1.42	7.48	5.31	2.17	7.30	5.06	2.24	7.59	5.42	2.17
65～69歳	7.16	5.48	1.68	6.93	5.15	1.78	7.26	5.54	1.72	7.41	4.87	2.54	7.36	4.56	2.80	7.38	5.10	2.28
70～74歳	7.54	5.56	1.98	7.57	4.93	2.64	7.53	5.76	1.77	7.38	5.10	2.28	6.99	4.52	2.47	7.61	5.48	2.13
75～79歳	7.35	5.54	1.81	7.12	5.17	1.95	7.49	5.77	1.72	7.38	5.27	2.11	7.09	4.82	2.27	7.77	5.49	2.28
80歳以上	6.95	5.19	1.76	6.22	4.27	1.95	7.20	5.56	1.64	6.51	4.93	1.58	6.54	4.35	2.19	6.44	5.37	1.07

- 「生活の楽しさ・おもしろさの満足度」の平均点は、男性では、感染拡大前が7.52、感染影響下が5.56で、1.96ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.24と低いが、低下幅も2.28ポイントと大きく、特に30歳代で2.88ポイントと大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.70とやや高く、低下幅は1.85ポイントと小さめ。年代別にみると、低下幅は50歳代で1.99ポイントと最も高い。
- 女性では、感染拡大前が7.61、感染影響下が5.16で、2.45ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.32と低いが、低下幅は2.49ポイントで全体とほぼ同じ。50～64歳及び80歳以上で2.50ポイントを超えている。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.82とやや高く、低下幅は2.46ポイントで全体とほぼ同じ。年代別にみると、80歳以上を除いて2.00ポイントを超えており、30歳代で2.74ポイントと最も高い。
- 全数の平均点は男性が1.96ポイント低下、女性が2.45ポイント低下と、女性の方が大きく低下している。低下幅の男女差が0.49ポイントと、5項目の中で最も大きい。コロナ以外の要因なしの層でも、男性が1.85ポイント低下、女性が2.46ポイント低下と女性の方が低下幅が大きい。
- 5項目の中で、感染拡大前から感染影響下の低下幅が最も大きくなっている。【図表7-1-④】

【④生活の楽しさ・おもしろさの満足度】

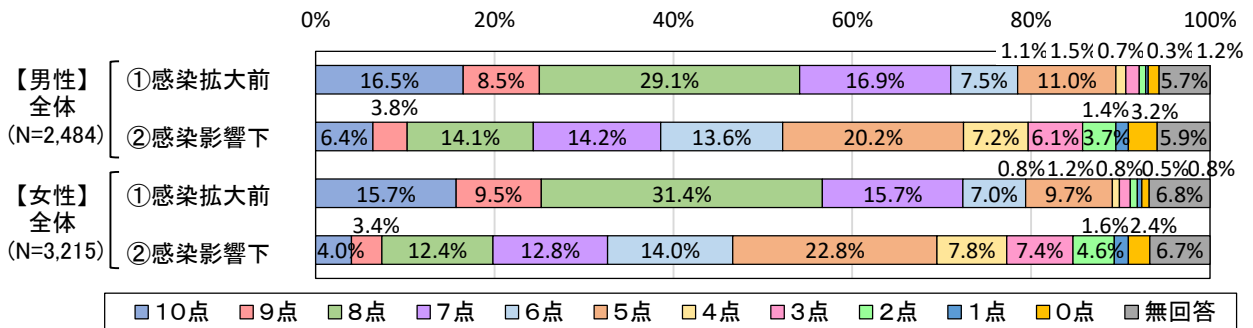


※差分の網掛けは、■は1以上2未満、■は2以上

平均点	男性									女性								
	全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし			全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし		
	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値
全体	7.52	5.56	1.96	7.24	4.96	2.28	7.70	5.85	1.85	7.61	5.16	2.45	7.32	4.83	2.49	7.82	5.36	2.46
20歳代	7.87	5.89	1.98	7.49	5.49	2.00	8.12	6.22	1.90	7.87	5.40	2.47	7.56	5.14	2.42	8.15	5.57	2.58
30歳代	7.66	5.55	2.11	7.61	4.73	2.88	7.73	5.82	1.91	7.85	5.23	2.62	7.30	5.05	2.25	8.15	5.41	2.74
40歳代	7.53	5.51	2.02	7.19	4.69	2.50	7.64	5.79	1.85	7.67	5.24	2.43	7.50	5.04	2.46	7.77	5.27	2.50
50歳代	7.53	5.38	2.15	7.34	5.09	2.25	7.67	5.68	1.99	7.66	5.10	2.56	7.45	4.70	2.75	7.84	5.35	2.49
60～64歳	7.20	5.44	1.76	6.55	4.84	1.71	7.51	5.77	1.74	7.51	5.03	2.48	7.27	4.64	2.63	7.71	5.27	2.44
65～69歳	7.39	5.60	1.79	6.89	4.96	1.93	7.61	5.81	1.80	7.48	4.91	2.57	7.22	4.75	2.47	7.67	5.07	2.60
70～74歳	7.73	5.67	2.06	7.67	4.97	2.70	7.84	5.98	1.86	7.55	5.17	2.38	7.20	4.75	2.45	7.76	5.51	2.25
75～79歳	7.34	5.73	1.61	7.27	5.27	2.00	7.51	5.92	1.59	7.32	5.40	1.92	6.76	4.94	1.82	7.89	5.70	2.19
80歳以上	7.30	5.41	1.89	6.70	4.38	2.32	7.74	5.95	1.79	6.89	5.03	1.86	6.96	4.08	2.88	6.83	5.41	1.42

- 「生活全体の満足度」の平均点は、男性では、感染拡大前が7.46、感染影響下が5.85で、1.61ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.11と低いが、低下幅も1.89ポイントと大きく、70～74歳で2.30ポイントと最も大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.67とやや高く、低下幅は1.46ポイントとやや小さい。年代別にみると、低下幅は80歳以上で1.65ポイントと最も大きい。
- 女性では、感染拡大前が7.55、感染影響下が5.60で、1.95ポイント低下。コロナ以外の要因ありの層では、感染拡大前の平均点が7.24と低いが、低下幅が2.05ポイントとやや大きく、65～69歳で2.19ポイントと最も大きい。コロナ以外の要因なしの層では、感染拡大前の平均点が7.82と高く、低下幅は1.91ポイントで全体とほぼ同じ。年代別にみると、低下幅は30歳代でのみ2.02ポイントと、2.00ポイントを超えている。
- 全数の平均点は男性が1.61ポイント低下、女性が1.95ポイント低下と、女性の方が大きく低下している。コロナ以外の要因なしの層でも、男性が1.46ポイント低下、女性が1.91ポイント低下と女性の方が低下幅が大きい。【図表7-1-⑤】

【⑤生活全体の満足度】



※差分の網掛けは、■は1以上2未満、■は2以上

平均点	男性									女性								
	全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし			全数			コロナ以外の要因あり			コロナ以外の要因なし		
	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値	① 感染 拡大 前	② 感染 影響 下	①-② の値
全体	7.46	5.85	1.61	7.11	5.22	1.89	7.67	6.21	1.46	7.55	5.60	1.95	7.24	5.19	2.05	7.82	5.91	1.91
20歳代	7.68	6.37	1.31	7.26	6.24	1.02	7.96	6.53	1.43	7.63	5.76	1.87	7.29	5.39	1.90	7.95	5.99	1.96
30歳代	7.43	6.00	1.43	7.22	5.22	2.00	7.59	6.35	1.24	7.77	5.81	1.96	7.28	5.50	1.78	8.08	6.06	2.02
40歳代	7.36	5.74	1.62	6.84	4.65	2.19	7.55	6.23	1.32	7.60	5.64	1.96	7.42	5.26	2.16	7.76	5.86	1.90
50歳代	7.41	5.60	1.81	7.16	5.11	2.05	7.60	6.04	1.56	7.57	5.55	2.02	7.24	5.10	2.14	7.91	5.93	1.98
60～64歳	7.25	5.70	1.55	6.71	5.08	1.63	7.56	6.13	1.43	7.48	5.50	1.98	7.20	5.17	2.03	7.73	5.79	1.94
65～69歳	7.38	5.95	1.43	6.79	5.30	1.49	7.70	6.24	1.46	7.51	5.41	2.10	7.22	5.03	2.19	7.71	5.73	1.98
70～74歳	7.70	5.90	1.80	7.70	5.40	2.30	7.76	6.17	1.59	7.53	5.60	1.93	7.15	5.13	2.02	7.81	6.00	1.81
75～79歳	7.42	6.00	1.42	7.09	5.33	1.76	7.68	6.28	1.40	7.32	5.64	1.68	7.14	5.18	1.96	7.73	5.97	1.76
80歳以上	7.43	5.58	1.85	6.90	4.70	2.20	8.00	6.35	1.65	6.82	5.42	1.40	6.83	4.73	2.10	6.88	5.97	0.91

なら健康長寿基礎調査 ご協力をお願い

平素より、奈良県行政に対しまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 さて、奈良県では、県民の皆様の健康づくりの意識や実態を把握し、健康推進施策の基礎資料を得ることを目的として、平成 22 年度から毎年度アンケート調査を実施しており、今年度も実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ アンケート調査について ■

1. 本調査の対象は、奈良県内にお住まいの 20 歳以上の方（令和 3 年 7 月 1 日現在）13,200 人で、各市町村の協力を得て、選挙人名簿から無作為に抽出しています。
2. この調査は、無記名方式で行いますので、回答にお名前前の記入欄はありません。
3. 調査票は 8 頁あり、記入するのに 10 分程度かかります。
4. 回答欄の該当番号に○をつけるか、数字を記入して下さい。特に説明がない限り、回答は 1 つだけです。
5. 調査結果は統計的に処理しますので、個人にご迷惑がかかることはありません。
6. 回答は、ご自身のことを、ご自身の判断でお答え下さい。（ご自身で記入できない場合は代理の方が記入していただいても結構です。）
7. 記入は、ボールペン、鉛筆のどちらを使っていただいても結構です。
8. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和 3 年 10 月 29 日（金）までに郵便ポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）
9. 1 週間後、調査対象者の方全員に、督促状兼お礼状のはがきを送付させていただきます。

○ 昨年度の調査結果の概要につきましては、奈良県 福祉医療部 医療政策局 健康推進課 のホームページに掲載してあります。

昨年度の調査結果の概要はこちら⇒

令和 2 年度なら健康長寿基礎調査

検索

本調査に関するお問い合わせ先

奈良県 福祉医療部 医療政策局 健康推進課 健康長寿係

所在地：奈良市登大路町 30 番地 電話：0742-27-8662 F A X：0742-22-5510

※今年度の本調査に関する業務は、奈良県が株式会社エム・アールビジネスに委託して実施しています。

新型コロナウイルス感染症流行の影響についておたずねします。

問1. 「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、①新型コロナウイルス感染症拡大前、②感染症の影響下、それぞれ何点くらいになるとお考えですか。

	①感染症拡大前 (令和元年10月)	②感染症影響下 (令和3年10月)	コロナ以外の要因 (どちらからか)
1. 休みの満足度	10点中 () 点	() 点	() 点
2. 仕事の満足度	10点中 () 点	() 点	() 点
3. 社会とのつながりの満足度	10点中 () 点	() 点	() 点
4. 生活の楽しさ・おもしろさの満足度	10点中 () 点	() 点	() 点
5. 生活全体の満足度	10点中 () 点	() 点	() 点

生活習慣についておたずねします。

問2. 主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べるのが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。

1. ほぼ毎日 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. ほとんどない

問3. あなたは、時間をかけてよく飲んで（ひと口20～30回）食べていますか。

1. 食べている 2. 食べていない 3. わからない

問4. 運動・スポーツについてお答えください。（ここでいう運動は、日常生活の中で意識して行う「散歩」、階段の利用、「徒歩・自転車運動」など身体を動かすこと全般を含みます）

①あなたは、1日合計30分以上の運動・スポーツをどれくらいの頻度でしていますか。

1. 毎日している 2. 毎日ではないが週2日以上している
3. 週1回している 4. ほとんどしていない

「1. 毎日している」～「3. 週1回している」と答えた方にお問します。

①-1. また、その内容はどのようなものですか。あてはまるものすべてをお答えください。

- ロードスポーツ（ウォーキング・ジョギング・サイクリング・散歩など）
- 屋外球技（野球・サッカー・テニスなど）
- 屋内球技（バスケットボール・バレーボールなど）
- フィットネス（エアロビクス等の体操・水泳・スポーツジムなど）
- 武道競技（柔道・剣道・弓道・空手など）
- 日常生活に付随する運動（通勤・農作業・買い物など）
- その他上記1～6以外の運動・スポーツ

②あなたは、1日平均何分くらい歩いていますか。

分くらい

問5. あなたは、アルコール類を飲みますか。

1. 週1日以上飲む 2. たま（週1日未満）に飲む 3. 飲まない

「1. 週1日以上飲む」と答えた方にお問します。

問5-1. 週のうち、アルコール類を飲む日は何日くらいですか。

週 日 程度

「1. 週1日以上飲む」または「2. たま（週1日未満）に飲む」と答えた方にお問します。

問5-2. お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。

清酒に換算し、あてはまる番号を1つ選んでください。

※清酒1合（180ml）の目安：ビール・発泡酒1本（500ml）、焼酎35度（80ml）、ウイスキーダブル1杯（80ml）、ワイン2杯（240ml）

1. 1合（180ml）未満 2. 1合以上～2合（360ml）未満
3. 2合以上～3合（540ml）未満 4. 3合以上～4合（720ml）未満
5. 4合以上～5合（900ml）未満 6. 5合（900ml）以上

「1. 週1日以上飲む」または「2. たま（週1日未満）に飲む」と答えた方にお問します。

問5-3. 飲酒量を減らさなければと感じたことはありますか。

1. ある 2. ない

「1. 週1日以上飲む」または「2. たま（週1日未満）に飲む」と答えた方にお問します。

問5-4. 家族や友人、医師が、あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことがありますか。

1. ある 2. ない

問6. あなたは、たばこを吸っていますか。

1. 現在吸っている 2. 以前は吸っていたが、現在は吸っていない
3. 以前から吸っていない

「1. 現在吸っている」と答えた方にお問します。

問6-1. あなたは、たばこをやめたいですか。

1. やめたい 2. やめたくない

問7. あなたは、過去1か月間に、自分以外の人が吸っていたタバコの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか、次の「ア」から「ケ」それぞれについてお答えください。
 ※学校、飲食店、遊技場などに勤務している、その職場で受動喫煙があった場合は、「イ 職場」欄に記入してください。

	1. ほぼ毎日	2. 週に数回	3. 週に1回	4. 月に1回	5. 全くなかった	6. 行ったことがない
ア 家庭	1	2	3	4	5	6
イ 職場	1	2	3	4	5	6
ウ 学校	1	2	3	4	5	6
エ 飲食店	1	2	3	4	5	6
オ 遊技場 (ゲームセンター、パチンコ、遊技場など)	1	2	3	4	5	6
カ 行政機関 (市役所、町役所、公民館など)	1	2	3	4	5	6
キ 医療機関	1	2	3	4	5	6
ク 公共交通機関 (鉄道、バス、駅ホームなど)	1	2	3	4	5	6
ケ 路上(公道)	1	2	3	4	5	6

問8. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) とは、どのような病気が知っていますか。
 1. 内容を知っている 2. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない
 3. 知らない (今回の調査で初めて聞いた場合を含む)

問9. あなたの歯は何本ありますか。
 本
 ※成人の歯は、親知らずを含めて32本が正常本数です。

問10. あなたは、1日に何回歯をみがきますか。
 回

問11. あなたの歯ぐきの状態についてお答えください。
 ①歯ぐきが腫れていますか。 1. はい 2. いいえ
 ②歯をみがいたときに血が出ますか。 1. はい 2. いいえ

問12. あなたは、定期的（1年に1回以上）に歯の検診を受けていますか。
 1. 受けている 2. 受けていない

問13. 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
 1. 何でもかんで食べることができる
 2. 歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある
 3. ほとんどかめない

問14. あなたの平日の睡眠時間は、平均何時間くらいですか。
 時間くらい

問15. ストレスについてお答えください。
 ①過去1ヶ月間にストレスを感じたことがありますか。
 1. よくある 2. 十二しある 3. 全然ない

「1.よくある」または「2.十二しある」と答えた方はお読みします。
 ①-1. ストレスを感じる内容はどれですか。あてはまるものすべてをお答えください。
 1. 職場の人間関係 2. 仕事の量(量・質・適性) 3. 健康面の問題
 4. 経済面の問題 5. 家族の問題 6. その他 ()

②ストレスがあったときの対処法は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをお答えください。
 1. 情緒的に問題の解決に取り組む 2. 体を動かして運動する
 3. 趣味を楽しんだりリラクゼーションする時間をとる 4. テレビを見たり、ラジオを聴く
 5. 家族や友人に悩みを聞いてもらう 6. 解決を諦めて放棄する
 7. 我慢して耐える 8. なんとかかなると楽観的に考えようと努める
 9. 相談やアドバイスを求める 10. 酒を飲む
 11. たばこを吸う 12. 食べる
 13. 特になし 14. その他 ()

問22. あなたは、過去1年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っているがん検診（人間ドックを含む）を受診しましたか。

1. 受診した
 2. 受診していない
- 【1. 受診したと答えた方はお問します】
- 問22-1. どんながん検診を受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。
1. 胃（バリウム検査や胃内視鏡検査など）
 2. 肺（肺のレントゲン検査やCT検査など）
 3. 大腸（検便など）
 4. 乳房（マンモグラフィ検査など）
 5. 子宮（頸がん検診など）
 6. その他（ ）

【1. 受診したと答えた方はお問します】

問22-2. 主にどのがん検診を受診しましたか。1つを選んでください。

1. 市町村の検診
2. 職場や健康関係団体の検診（費用助成を含む）
3. 病気の治療の一環
4. 自費で全く個人負担で受診

【2. 受診していないと答えた方はお問します】

問22-3. あなたが、がん検診を受けなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。

1. 健康診断・検診があることを知らなかったから
2. 受診方法（場所・時間など）が分からなかった
3. 病気で休職にかかっているから
4. 健康なので必要ないと思うから
5. 結果を信用していないから
6. 時間的な余裕がないから
7. 面倒だから
8. 費用がかかるから
9. 結果を知るのが怖いから
10. 職場で受けられないから
11. その他（ ）

【4. 他のお答えください】

問23. あなたは、過去2年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っている下記のがん検診（人間ドックを含む）を受けましたか。（1、2は複数回答可）

1. 乳房（マンモグラフィ検査など）
2. 子宮（頸がん検診など）
3. 1～2は受けていない

問24. あなたは、過去1年間に、市町村や職場などから、がん検診受診を勧める通知が届きましたか。

1. あった
2. なかった

問16. あなたの会社では、専門家によるストレスなどの相談が受けられますか。

1. 受けられる
2. 受けられない
3. わからない
4. 会社に動いていない

問17. あなたは、健康づくりのために、取り組んでいることがありますか。

1. ある
2. ない

【1. あると答えた方はお問します】

問17-1. 最も熱心に取り組んでいることの具体的な内容を記入してください。

医療と検診に関することについておたずねします。

問18. あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1. よい
2. まあよい
3. ぶつう
4. あまりよくない
5. よくない

問19. あなたは、現在健康上の問題で、日常生活に何か影響がありますか。

1. ある
2. ない

【1. あると答えた方はお問します】

問19-1. それほどのようなことに影響がありますか。あてはまるものすべてをお答えください。

1. 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）
2. 外出（時間や作業量などが制限される）
3. 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）
4. 運動（スポーツ含む）
5. その他（ ）

問20. あなたは、現在、医療機関（病院、診療所）にかかっていますか。（1、2は複数回答可）

1. 病状の医療機関で受診中
2. 病状以外（内科、整形外科など）の医療機関で受診中
3. かかっていない

問21. あなたは、過去1年間に、市町村、職場やかかりつけ医等で行っている内科的な健康診断（血液検査、尿検査、血圧測定を実施するもの・人間ドックを含む）を受診しましたか。

1. 受診した
2. 受診していない

【1. 受診したと答えた方はお問します】

問21-1. 専門家からの結果説明や生活習慣指導を受けましたか。

1. はい
2. いいえ

(参考) 市町村ごとの調査票の配付数及び有効回答数

市町村名	調査票配付件数	有効回答数 (データ数調整前)	有効回答数 (データ数調整後)
奈良市	3,079	1,607	1,607
大和高田市	548	253	253
大和郡山市	733	394	394
天理市	536	245	245
橿原市	1,044	523	523
桜井市	476	229	229
五條市	253	135	135
御所市	225	109	109
生駒市	972	462	462
香芝市	625	274	274
葛城市	309	146	146
宇陀市	254	131	131
山添村	133	68	15
平群町	161	78	78
三郷町	201	94	94
斑鳩町	233	119	119
安堵町	134	72	35
川西町	134	68	36
三宅町	134	52	23
田原本町	268	152	152
曾爾村	129	57	6
御杖村	130	68	8
高取町	134	68	31
明日香村	134	65	23
上牧町	184	80	80
王寺町	201	93	93
広陵町	279	144	144
河合町	152	92	92
吉野町	136	72	31
大淀町	148	82	82
下市町	134	75	25
黒滝村	120	53	2
天川村	127	71	6
野迫川村	112	46	1
十津川村	132	61	13
下北山村	123	56	3
上北山村	117	59	2
川上村	127	59	5
東吉野村	129	65	7
無回答	-	89	0
合計	13,200	6,666	5,714

令和3年度 なら健康長寿基礎調査 報告書

令和4年3月

奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課

〒630-8501 奈良市登大路町30番地

電話 0742-27-8662